

第2次豊田市教育行政計画

進捗報告書（様式1）

	頁
○ 進捗報告書(様式1).....	1
○ 進捗報告書(様式2).....	163

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	梶	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-1(1)1	(仮称)とよた大好きっ子カリキュラムの作成						
種別	新規	担当課	学校教育課・保育課			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	該当	4 学びのつながりを重視した教育の推進					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-1	確かな学力の育成					
	取組	(1)	学びのつながりを重視した教育の推進					
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の特性に応じた園小中連携や一貫教育などの仕組みづくりをするため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	市内小中学校、こども園						
	対象 (誰に)	市内小中学生、教員						
	方法 (何を)	①とよた大好きっ子カリキュラムモデルプランを参考にした各中学校区での推進、②新しくわくいききプランの作成と周知						
③ 設定目標	現状	わくわくいききプランを基に、園小中連携を実施						
	目標	カリキュラム作成し、3校でモデル実施						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子推進委員会を設立 とよた大好きっ子カリキュラム素案作成 モデル校・地域の決定 	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子推進委員会開催(3回) とよた大好きっ子カリキュラム12分野素案検討 モデル校・地域の実践(9校・3地区) 	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子推進委員会開催(3回) とよた大好きっ子カリキュラム12分野第1次案検討、第2次案完成 モデル校・地域の実践(9校・3地区) 	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子推進委員会開催(全体3回)各地区での検討と調整 各中学校区で小中が連携した「とよた大好きっ子カリキュラム」への取組 新しくわくいききプラン作成と周知 	<ul style="list-style-type: none"> コミュニティスクール推進委員会の開催(4回) 研究発表会の開催 新たな重点推進地区での小中連携の推進 教務主任者会との連携による全中学校区での小中連携の推進 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子推進委員会を設立 とよた大好きっ子推進委員会開催(3回) とよた大好きっ子カリキュラム12分野素案完成 モデル校・地域の決定(9校・3地区) 	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子推進委員会を増員して設立 とよた大好きっ子推進委員会と事務局学習会を開催(3回) とよた大好きっ子カリキュラム第1次案の検討・修正 モデル校実践継続(9校・3地区) 	<ul style="list-style-type: none"> 推進委員会3回開催(6・9・1月) とよた大好きっ子カリキュラム12分野第1次案の修正、第2次案完成、学校にデータ配信 モデル校実践継続(9校、3地区) 園小モデル校(3園・3校)実践 	<ul style="list-style-type: none"> 推進委員会3回開催(6・9・1月) とよた大好きっ子カリキュラム12分野をもとに3地区で重点的に展開 新しくわくいききプランを作成・公表 	<ul style="list-style-type: none"> 推進委員会4回開催(6・7・11・2月) とよた大好きっ子カリキュラムモデルプランをもとに4中学校区がプランを作成・実施・公表 教務主任者会と連携して全中学校区で小中連携を推進し、9年間の学びをつなげるカリキュラム案を作成・公表 		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	63千円	230千円	302千円	262千円	200千円		
	決算額	21千円	131千円	91千円	262千円	200千円		
	事務量(正規)	21人日	34人日	30人日	30人日	30人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	梶	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-1(1)2	小中一貫教育の調査・研究及び推進						
種別	新規	担当課	学校教育課・学校づくり推進課		国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	4 学びのつながりを重視した教育の推進					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-1	確かな学力の育成					
	取組	(1)	学びのつながりを重視した教育の推進					
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の特性に応じた園小中連携や一貫教育などの仕組みづくりをするため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	市内小中学校						
	対象 (誰に)	市内小中学生、教員						
	方法 (何を)	小中一貫教育の調査・研究を行い、モデル校、モデル地域の取組を通じて園小中連携の推進を図る アンケート実施(年1回)						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	小中一貫教育の方針決定・方針に沿った取組の実施						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 「わくわく・いきいきプラン」の活用と園小中連携の強化の啓発 園小中連携教育に関するアンケートの実施 先進地視察 	<ul style="list-style-type: none"> 小中一貫教育の方針決定 「わくわく・いきいきプラン」の活用と園小中連携の強化の啓発 園小中連携教育に関するアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 園小合築をふまえた「わくわく・いきいきプラン改訂版作成 園小中連携教育に関するアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新わくわく・いきいきプランの作成と小学校、こども園への周知 中学校区単位で園小中連携への取組を実施 園小中連携教育に関するアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新わくわく・いきいきプランに沿った取組の推進 コミュニティスクール推進委員会の開催(4回) 重点推進地区での連携の推進 教務主任者会との連携による全中学校区での小中連携の推進 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 「わくわく・いきいきプラン」の活用と園小中連携の強化の啓発 園小中連携教育に関するアンケートの実施 先進地視察(東京都・京都府) 	<ul style="list-style-type: none"> 「とよた大好きっカリキュラム」を生かす推進方針の確認 「わくわく・いきいきプラン」の活用と園小中連携の強化の啓発 園小中連携教育に関するアンケートの実施 先進地視察(奈良市) 	<ul style="list-style-type: none"> 園小連携のモデル地区による取組の実施 小中連携の方向性と取組内容を中学校ごとに検討 園小中連携教育に関するアンケートの実施 	<ul style="list-style-type: none"> 新わくわく・いきいきプランの作成・公表 3地区で重点的に連携事業を展開 教務主任研修会で連携の方向性と取組内容について情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> 新わくわく・いきいきプランに沿った取組の推進 推進委員会4回開催 とよた大好きっカリキュラムモデルプランをもとに4中学校区でプランを作成・実施・公表 教務主任者会と連携して全中学校区で小中連携を推進し9年間の学びをつなげるカリキュラム案の作成・公表 		
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	67千円	9千円	9千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	2人日	2人日	15人日	15人日	15人日	15人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	佐藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-1(2)1	少人数学級の拡大と少人数指導の研究					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-1	確かな学力の育成				
	取組	(2)	きめ細かな指導のための教員配置と学級編制の推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	子どもたちへのきめ細かな指導を行うことができる環境をつくるため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内小中学校					
	対象(誰に)	市内小中学校					
	方法(何を)	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学級編制の該当校に准教員を配置 少人数学級編制の該当校に非常勤講師を配置 推進委員会において指導方法の研究 少人数学級の効果検証 					
③ 設定目標	現状	小1:32人学級、小3・中2・中3:35人学級を実施(小2・中1は県で35人学級を実施)					
	目標	少人数学級・少人数指導の拡大					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 少人数指導の有効性を検証 効果的な少人数指導方法の研究 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な少人数指導方法の研究 少人数学級編制の弾力的運用等の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 効果的な少人数指導方法の普及 少人数学級編制の弾力的運用についての検討 	<ul style="list-style-type: none"> これまでの少人数学級に加えて、小4~6年生の35人を超える学級にベテラン非常勤講師を配置 豊田市独自のきめ細かな指導方式の成果の検証 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学級の推進 小4~6年生の35人を超える学級にベテラン非常勤講師を配置 豊田市独自のきめ細かな指導方式の成果の検証 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 小1:32人学級、小3・中2・中3:35人学級を実施(小2・中1は県で35人学級を実施) 少人数学級ガイドブックを作成・配付 	<ul style="list-style-type: none"> 小1:32人学級、小3・中2・中3:35人学級を実施(小2・中1は県で35人学級を実施) 少人数学級の拡大、弾力的運用についての検討 リーフレットを作成し、POTETOに掲載 	<ul style="list-style-type: none"> 小1:32人学級、小3・中2・中3:35人学級を実施(小2・中1は県で35人学級を実施) 少人数学級だけでは解決できない課題への対応についての検討 総合教育会議で、豊田市独自きめ細かな指導方式について協議 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学級(小1:32人学級、小3・中2・中3:35人学級)を実施(小2・中1は県で35人学級を実施) 小4~6年生の35人を超える学級にベテラン非常勤講師を配置 豊田市独自のきめ細かな指導方式を総合教育会議で協議 	<ul style="list-style-type: none"> 少人数学級(小1:32人学級、小3・中2・中3:35人学級)を実施(小2・中1は県で35人学級を実施) 小4~6年生の35人を超える学級にベテラン非常勤講師を配置 豊田市独自のきめ細かな指導方式を総合教育会議で協議 	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	387,032千円	387,061千円	360,467千円	515,030千円	481,400千円	
	決算額	322,513千円	387,061千円	339,018千円	494,775千円	481,400千円	
	事務量(正規)	15人日	27人日	27人日	40人日	40人日	
	事務量(臨時)	27人日	27人日	27人日	40人日	40人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	石川	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-1(2)2	学校はつつ支援事業の推進					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-1	確かな学力の育成				
	取組	(2)	きめ細かな指導のための教員配置と学級編制の推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	校長裁量による特色ある学校づくりを推進し、教育活動における水準の向上を図るため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内小中学校					
	対象(誰に)	市内小中学校					
	方法(何を)	学校裁量により選択できる補助員(8種類)を配置する					
③ 設定目標	現状	全小中学校で実施					
	目標	全小中学校で実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・補助員の配置により学校の組織マネジメントと教育水準の向上について、事業の調査において検証	・はつつ支援事業、チャレンジ&ドリーム、都市と山間等、校長裁量権拡大によるモデル校実施5校	・モデル実施の成果と課題 ・モデル実施の拡大	特色ある学校づくり推進事業として統合されたはつつ事業の全校展開と改善	・特色ある学校づくり推進事業の全小中学校での展開 ・今後の事業方針の検討	
	実績(成果)	・体力向上補助指導員19人18校、ICT支援員56人56校、心の相談員65人62校、学校図書館司書16校16人 ・学級運営補助員63人54校、校内整備員68人67校、養護教諭補助員14人14校	・体力向上補助指導員8人16校、ICT支援員7人46校、心の相談員59人57校、学校図書館司書17人、16校、学級運営補助員69人61校、校内整備員57人67校、養護教諭補助員12人14校 ・モデル校実施5校	・体力向上補助指導員7人15校、ICT支援員7人51校、心の相談員52人49校、学校図書館司書16人、17校、学級運営補助員74人60校、校内整備員58人65校、養護教諭補助員22人26校 ・「チャレンジ&ドリーム事業」との統合のための見直しと整備	・体力向上補助指導員25人15校、ICT支援員58校、心の相談員61校、学校図書館司書28校、校内整備員77校、養護教諭補助員22校 ・特色ある学校づくり推進事業との統合による補助員配置	・体力向上補助指導員25人15校、ICT支援員56校、心の相談員68校、学校図書館司書24校、校内整備員89校、養護教諭補助員25校を配置	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	99,872千円	98,846千円	98,401千円	86,244千円	88,240千円	
	決算額	98,424千円	98,000千円	98,152千円	73,547千円	87,732千円	
	事務量(正規)	12人日	12人日	12人日	12人日	12人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-1(3)1	ICT(デジタル教科書等)を活用した授業の展開					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	2 学校教育の更なる充実				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-1	確かな学力の育成				
	取組	(3)	新しい学びのスタイルの推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	楽しくわかりやすい授業を展開するとともに、自らの考えをまとめて発表する機会を充実させるため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内小中学校					
	対象(誰に)	市内小中学生、教員					
	方法(何を)	ICT機器の配備を完了し、ICTを活用した授業を展開する					
③ 設定目標	現状	ICT機器の配備中、デジタル教科書利用授業1 学級当たり月8時間					
	目標	ICT機器の配備完了、デジタル教科書の利用授業1学級当たり月20時間					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・ICT機器有効活用検証のためのモデル実施	・ICT機器の配備計画策定 ・デジタル教科書の利用授業1学級当たり月10時間	・豊田市学校教育情報化プランの策定 ・ICT機器の配備一部実施 ・デジタル教科書の利用授業1学級当たり月11時間	・ICT機器の配備一部実施 ・デジタル教科書の利用授業1学級当たり月15時間	・ICT機器の配備完了 ・デジタル教科書の利用時間1学級当たり月20時間	
	実績(成果)	・豊田市情報教育カリキュラム、デジタル教科書等モデル指導案の作成と配布 ・POTETOの運用開始 ・中学校モデル校では、1学級あたりデジタル教科書を月20時間以上使用	・デジタル教科書の利用授業1学級当たり月9時間 ・デジタル教科書等モデル指導案の作成・配付、及びICT研修の実施 ・POTETOによるICTを活用した授業動画の配信	・豊田市学校教育情報化プランの策定 ・ICTカート288台を更新(8月) ・デジタル教科書の利用授業1学級当たり月12時間	・ICTカート100台追加整備(8月) ・デジタル教科書の利用授業1学級当たり月15時間(4~12月) ・ICT機器の利用授業1学級当たり月17.5時間(4~12月)	・ICTカート400台追加整備(11月) ・デジタル教科書の利用時間16.5時間(4~12月) ・ICT機器の利用授業1学級あたり月20.6時間(4~12月)	
	進捗状況	A 予定通り	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入		・ICT機器配備計画の未策定 ・ICT機器の配備不足に伴い、1学級当たりのデジタル教科書活用時間が月10時間に満たなかったため。				
⑤ コスト	予算額	32,000千円	28,560千円	127,842千円	70,229千円	53,796千円	
	決算額	15,000千円	15,120千円	111,651千円	64,534千円	50,683千円	
	事務量(正規)	40人日	50人日	50人日	50人日	50人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考	POTETO: 動画や資料などの教材のデータベース					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-1(4)1	理数教育の充実						
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-1	確かな学力の育成					
	取組	(4)	教科指導の充実					
② 取組の概要	目的(何のために)	小・中学校教員の理数教育における指導力向上を図り、次代の科学技術を担う人材の育成を推進するため						
	時期(いつ)	通年(4~3月)						
	場所(どこで)	市内小中学校						
	対象(誰に)	市内小中学校教員						
	方法(何を)	CST資格を持った教員による理科の教材開発や指導方法に対する研修会等の実施						
③ 設定目標	現状	CST事業(理数系教員養成拠点構築事業)の実施						
	目標	CST資格を持った理数系教科指導員による研修の実施、学習施設との連携・活用						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 理科自主研修会の講師 教員免許更新講習における講師 理科研修会(市教研とタイアップ)における講師 	<ul style="list-style-type: none"> 理科研修会等講師 CST在籍校を拠点とする近隣学校への理科学習環境に対する管理・運営指導 	<ul style="list-style-type: none"> 理科研修会等講師 CST在籍校を拠点とする近隣学校への理科学習環境に対する管理・運営指導 校務システムを活用した理科指導の情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 理科研修会等講師 近隣学校への理科学習環境に対する管理・運営指導 校務システムによる情報提供 関連施設の活用方法に対する研修 	<ul style="list-style-type: none"> 理科研修会等講師 近隣学校への理科学習環境に対する管理・運営指導 校務システムによる情報提供 関連施設の活用方法に対する研修 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 理科自主研修会の講師(6月) 教員免許更新講習における講師(8月) 理科研修会(市教研とタイアップ)における講師(1月) 	<ul style="list-style-type: none"> 教員免許更新講習における講師(8月) 市教研理科実技研修会における講師(8月) 小学校理科実技研修会の実施(市内13小学校で実施・8月中) 	<ul style="list-style-type: none"> 「CSTによる小学校理科室・理科準備室整備研修会」の実施(市内13小学校で実施・研修会には市内全小学校の教員が参加、7・8月) 教員免許更新講習講師(8月) 理科研修集会(市教研とタイアップ)講師(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「CSTによる理科室・理科準備室整備研修会」の実施(市内20小学校1中学校で実施。研修会には各小中学校1名以上の教員が参加7・8月) 理科実験観察研修(市教研とタイアップ)講師(8月) 	<ul style="list-style-type: none"> 「CSTによる理科室・理科準備室整備研修会」の実施(市内12小学校1中学校で実施。研修会には各小中学校1名以上の教員が参加7・8月) 理科実験観察研修(市教研とタイアップ)(8月) 		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	556千円	371千円	252千円	192千円		
	決算額	0千円	120千円	11千円	12千円	4千円		
	事務量(正規)	6人日	6人日	7人日	7人日	7人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考	CST: コア・サイエンス・ティーチャー						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	近藤	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-1(4)2	教科領域等指導員の研修の実施						
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助		無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-1	確かな学力の育成					
	取組	(4)	教科指導の充実					
② 取組の概要	目的 (何のために)	小・中学校での教科領域別指導訪問での指導を充実するため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	教職員会館・市内小中学校						
	対象 (誰に)	教科領域等指導員						
	方法 (何を)	授業研究の講義や合同研修・自主研修を通して、指導員としての力量を高め、指導・助言の効果的な方策を学ぶ。						
③ 設定目標	現状	年3回の研修会、教科領域ごとの合同研修会、個別指導の実施						
	目標	年3回の研修会、教科領域ごとの合同研修会、個別指導の実施						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の研修会 教科領域ごとの合同研修会 個別指導の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の研修会 教科領域ごとの合同研修会 自主研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の研修会 教科領域ごとの合同研修会 自主研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の研修会 教科領域ごとの合同研修会 自主研修の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 年3回の研修会 教科領域ごとの合同研修会 自主研修の実施 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 第1回(4月) 第2回(8月) 第3回(2月) 合同研修(5~7月) 個別研修(5~11月) 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回(4月) 第2回(8月) 第3回(2月) 合同研修(5~9月) 指導員全員が自主研修についてレポートを作成し、研修会にて報告 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回(4月) 第2回(8月) 合同研修(6~9月) 指導員全員が自主研修についてレポートを作成し、報告 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回(4月) 第2回(8月) 第3回(12月) 合同研修(6~9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 第1回(4月) 第2回(8月) 第3回(12月) 合同研修(6~9月) 		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	1,480千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円		
	決算額	1,480千円	1,460千円	1,460千円	1,460千円	1,300千円		
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-2(1)1	道徳指導員による指導訪問の実施					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-2	豊かな心の育成				
	取組	(1)	道徳教育の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	教員の道徳の授業力向上を図るため					
	時期 (いつ)	6～11月					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校教員					
	方法 (何を)	指導員を招いて道徳の授業研究を行い、協議会で指導・助言を受ける					
③ 設定目標	現状	年28校実施					
	目標	年28校実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・小学校18校、中学校10校の28校実施 (内訳:指導訪問で22校、要請訪問で6校)	・小学校18校、中学校10校の28校実施 (内訳:指導訪問で23校、要請訪問で5校)	・小学校18校、中学校10校の28校実施 (内訳:指導訪問で24校、要請訪問で4校) ・道徳の教科化に関する研究	・年間、小学校15校、中学校11校の26校実施 (内訳:指導訪問で22校、要請訪問で4校)	・小学校19校、中学校7校の26校実施 ・指導員を1名増員し、指導訪問で26校、その他の要請があれば訪問	
	実績(成果)	・小学校15校、中学校10校で実施(5～11月)	・小学校17校、中学校6校で実施(5～11月)	・小学校18校、中学校6校で実施(5～11月) ・教科化をふまえた協議題の設定や指導・助言の実施	・小学校11校、中学11校で実施(5～11月) ・教科化をふまえた協議題の設定や指導・助言の実施	・指導訪問で小学校19校、中学校7校の26校実施 ・要請訪問で、小学校4校、中学校1校実施	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	6人日	6人日	6人日	6人日	7人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岩本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-2(1)2	道徳教育講座の開催					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助		無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-2	豊かな心の育成				
	取組	(1)	道徳教育の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	「特別の教科 道徳」を意識した新しい道徳教育推進のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	教職員会館・市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校教員					
	方法 (何を)	道徳科推進研修、教育課程作成委員会の立ち上げ					
③ 設定目標	現状	年1回実施(51校対象)					
	目標	年1回実施(51校対象)					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・学校番号奇数校から50名の教員を対象に実施	・学校番号偶数校の小学校38名、中学校13名、昨年度から持越しの小・中学校各1名の合計53名の教員を対象に実施	・奇数校の小学校37名、中学校14名のまだ参加しなかったことがない51名の教員を対象に実施	・偶数校の小学校38名、中学校14名の参加したことがない52名の教員を対象に実施	・全104校参加の道徳科推進研修を実施 ・小学校教育課程の作成 ・道徳教育推進モデル校(研究校)として、若林西小学校を指定	
	実績(成果)	・6月21日実施 ・48校出席 ・小学校教員35名、中学校教員13名が参加	・6月20日実施 ・52校出席 ・小学校教員39名、中学校教員13名が参加	・6月19日実施 ・47校出席 ・小学校教員35名、中学校教員12名が参加	・道徳科推進研修の実施:6月28日・56名出席(小学校40名・中学校16名参加)	・全104校参加の道徳科推進研修を実施 ・小学校教育課程の作成 ・道徳教育推進モデル校(研究校)として、若林西小学校を指定	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	22千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	33千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	清水	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-2(2)1	都市と山間の交流事業の拡大					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-2	豊かな心の育成				
	取組	(2)	豊かな体験活動の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	自分の住む地域の良さを理解し、誇りをもつ児童生徒の育成のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	市内小中学生					
	方法 (何を)	都市と山間部の学校間での交流を行う					
③ 設定目標	現状	年28校で実施					
	目標	年30校で実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・該当学校の活発な交流	・交流事業の継続、参加校の継続 ・チャレンジ&ドリーム校推進事業に統合して、希望校で実施	・交流事業の継続、参加校の継続 ・チャレンジ&ドリーム校推進事業に統合して、希望校で実施	・交流事業の継続、参加校の継続	・交流事業の継続、参加校の継続	
	実績(成果)	・26校(13組)参加(小学校19校、中学校7校) ・互いの地域の良さの紹介、自然体験活動等	・22校(10組)参加(小学校16校、中学校6校) ・互いの地域の良さの紹介、自然体験活動等	・22校(10組)参加(小学校16校、中学校6校) ・互いの地域の良さの紹介、自然体験活動等	・22校(10組)参加(小学校16校、中学校6校) ・互いの地域の良さの紹介、自然体験活動等	・26校(10組)参加(小学校21校、中学校5校) ・互いの地域のよさの紹介、自然体験活動等 ・合唱(山の音楽会)開催	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	4,777千円	4,800千円	4,800千円	2,865千円	2,865千円	
	決算額	4,213千円	2,002千円	2,654千円	2,865千円	2,896千円	
	事務量(正規)	15人日	12人日	12人日	12人日	12人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	石川	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-2(2)2	特色ある学校づくり推進事業「チャレンジ&ドリーム校」の推進						
種別	継続	担当課	学校教育課			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-2	豊かな心の育成					
	取組	(2)	豊かな体験活動の推進					
② 取組の概要	目的 (何のために)	校長裁量による特色ある学校づくりの推進により教育活動における水準の向上を図るため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	市内小中学校						
	対象 (誰に)	市内小中学校						
	方法 (何を)	特色ある学校づくりを進めるために、事業計画に基づき予算的支援を行う						
③ 設定目標	現状	全小中学校で実施						
	目標	全小中学校で実施						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・全小中学校で実施するとともに成果の検証を行う	・全小中学校で実施 ・校長の裁量権拡大によるはつらつ支援事業との統合に向け、5校でモデル実施 ・都市と山間の交流事業を統合	・全小中学校で実施 ・校長の裁量権による拡大については、実施モデル校の成果検証	・はつらつ支援事業との統合による全校実施	・特色ある学校づくり推進事業として全小中学校で実施 ・各学校のホームページに活力ある取り組みを掲載		
	実績(成果)	・全小中学校(小74校・中27校)で実施 ・オプションによる防災教育の実施(9校) ・オプションによる体力向上実施(9校)	・全小中学校で実施 ・校長の裁量権による拡大については、実施モデル校の成果検証(5校) ・モデル校数拡大(15校)	・全小中学校で実施 ・校長の裁量権による拡大実施モデル校(15校)の成果検証 ・チャレンジ&ドリーム推進事業とはつらつ支援事業が統合される来年度の全校実施に向け、事業計画書と予算書を作成	・特色ある学校づくり推進事業として全小中学校で実施 ・円滑な実施のため説明会を実施(4月・7月)	・特色ある学校づくり推進事業として全小中学校で実施 ・教員の多忙解消のため、事務処理の簡素化を図り、説明会を年1回で開催(7月) ・各学校のホームページに活力ある取組を定期的に掲載		
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	43,639千円	43,620千円	43,480千円	126,737千円	127,075千円		
	決算額	43,055千円	39,521千円	41,350千円	126,737千円	125,414千円		
	事務量(正規)	24人日	27人日	27人日	27人日	27人日		
	事務量(臨時)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	朱山	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-2(2)3	能楽鑑賞教室、心に残る記念事業の実施						
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-2	豊かな心の育成					
	取組	(2)	豊かな体験活動の推進					
② 取組の概要	目的(何のために)	中学生に一流の文化・芸術に触れる機会を与え、豊かな心を育む						
	時期(いつ)	7~8月(能楽 6日間(11公演)) 8月(コンサート 3日間(5公演))						
	場所(どこで)	能楽堂、コンサートホール						
	対象(誰に)	能楽 中学1年生 コンサート 中学3年生						
	方法(何を)	公益社団法人 能楽協会名古屋支部 名古屋フィルハーモニー交響楽団 による公演						
③ 設定目標	現状	能楽鑑賞教室: 中学1年対象に年1回実施、心に残る記念事業: 中学3年を対象に年1回実施						
	目標	能楽鑑賞教室: 中学1年対象に年1回実施、心に残る記念事業: 中学3年を対象に年1回実施						
	目標(変更)	心に残る記念事業: 中学3年を対象に年1回実施					平成27年度	
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・能楽鑑賞教室 全中学校1年生が参加 ・コンサート 全中学校中学3年生が参加	・能楽鑑賞教室 全中学校1年生が参加 ・コンサート 全中学校中学3年生が参加実施方法の改善	・能楽鑑賞教室 全中学校1年生が参加 ・コンサート 全中学校中学3年生が参加実施方法の改善	・コンサート 全中学校中学3年生が参加実施方法の改善(能楽鑑賞教室はH28より実施せず)	・コンサートの実施(全中学校中学3年生が参加実施方法の改善)		
	実績(成果)	・能楽鑑賞教室 7/30~8/2、「狂言を理解できた」81.3%、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート 8/20~22、「楽しく参加できた」97.3%、「クラシックコンサートに興味を持てた」93.2%	・能楽鑑賞教室 7/30~8/1、「狂言を理解できた」82.7%、名古屋フィルハーモニー交響楽団コンサート 8/19~21、「楽しく参加できた」98.3%、「クラシックコンサートに興味を持てた」93.5% ・美術館見学ができるよう改善	・能楽鑑賞教室 7/30~8/7、「能を理解できた」35.0%、コンサート 8/18~20、「楽しく参加できた」97.4%、「クラシックコンサートに興味を持てた」93.7% ・内容や出演者を見直し、新しいプログラムを作成した。	・心に残るコンサート実施 8月23日~25日 コンサート「クラシックコンサートに興味を持てた」96%、「とても楽しかった、楽しかった」98% ・WE LOVE とよたをテーマに内容を一新して実施・美術館見学をコンサートと合わせて5校が実施	・心に残るコンサート実施 8月22日~24日 コンサート「クラシックコンサートに興味を持てた」96.9%、「とても楽しかった、楽しかった」98% ・テーマ「WE LOVE とよた」を意識したソリスト・プログラムで実施		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	36,255千円	38,025千円	42,950千円	23,116千円	22,771千円		
	決算額	35,310千円	41,227千円	40,745千円	23,116千円	20,605千円		
	事務量(正規)	15人日	15人日	15人日	15人日	15人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	清水	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-3(1)1	体力向上1校1実践運動の展開					
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	11 市民のスポーツ活動への支援				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-3	健やかな体の育成				
	取組	(1)	運動を通じた体力の育成				
② 取組の概要	目的 (何のために)	自校の児童生徒の体力を分析し、学校の特色を生かした体力向上に努めるため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校					
	方法 (何を)	体力の実態を把握・分析し、自校の特色を生かした「1校1実践」を行う					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	全小中学校で実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 先進的実践校である若園小学校の視察 若園小学校のなわとびの実践をモデル案として紹介・情報発信 	<ul style="list-style-type: none"> 全小中学校への「1校1実践」の展開 	<ul style="list-style-type: none"> 先進的「1校1実践」の展開と内容の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上プログラムにおける10の取組について、取組状況を把握するとともに、より一層取り組むための方策を練る 	<ul style="list-style-type: none"> 子どもの体力向上プログラム(10の取組)の取組状況の把握と取組拡大のための方策検討 「1校1実践」の成果の検証と課題の抽出 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 若園小学校の実践結果をモデル案として紹介 	<ul style="list-style-type: none"> 大蔵小、猿投中の実践結果をモデル案として紹介 全小中学校の「1校1実践」の内容を集約 各校の取組をまとめた「パンフレット集」を作成し、全小中学校に配布 	<ul style="list-style-type: none"> 体育担当者会議において、豊田市オリジナルダンス講習会実施 自校の子どもの苦手種目の分析を踏まえた、1校1実践の内容の見直し 	<ul style="list-style-type: none"> 体育担当者会議において、ブロック別に1校1実践に関する情報交換会の実施 体力向上プログラムを効果的に活用した学校の実践発表の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 自校の子どもの苦手種目の分析を踏まえた、1校1実践の内容の見直し 体育担当者会議において、ブロック別に1校1実践に関する情報交換会の実施 体力向上年間スケジュールを示し、体力向上プログラムの効果的な活用を促進 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	300千円	150千円	150千円	150千円	80千円	
	決算額	300千円	150千円	150千円	150千円	80千円	
	事務量(正規)	12人日	12人日	12人日	12人日	12人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岸本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-3(1)2	体力向上補助指導員の配置拡大					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	11 市民のスポーツ活動への支援				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-3	健やかな体の育成				
	取組	(1)	運動を通じた体力の育成				
② 取組の概要	目的 (何のために)	体育の指導方法の見直しや改善を行い、子どもの体力向上を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小学校(はつらつ支援事業による配置希望校)					
	対象 (誰に)	市内小学校(はつらつ支援事業による配置希望校)					
	方法 (何を)	体力向上補助指導員を活用し、体育的活動・体育授業を支援する					
③ 設定目標	現状	19校20人配置					
	目標	35校35人配置					
	目標(変更)	25校25人配置					平成28年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・はつらつ支援事業による配置 ・文科省受託事業による配置 ・大学との連携による配置	・はつらつ支援事業による配置、文科省受託事業による配置、大学との連携による配置(35校35人配置)	・体力向上補助指導員配置における成果と課題(35校35人配置)	・体力向上補助指導員の配置における成果と課題(35校35人配置)	・体力向上補助指導員の配置(25校25人配置) ・成果の検証	
	実績(成果)	・37校37人配置(はつらつ支援事業:18校19人、文科省受託事業:小学校13校13人、大学生:6校6人)	・31校32人配置(はつらつ支援事業:14校17人、文科省受託事業:11校11人、大学生:6校6人)	・27校28人(はつらつ支援事業:15校16人、文部省委託事業:10校10人、ジュニアアスリート事業:2校2人)	・24校15人(特色ある学校づくり推進事業)配置 ※文部科学省委託事業は平成27年度末で終了	・25校11人(特色ある学校づくり推進事業)配置 ・児童の運動に対しての意欲向上に寄与	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	4,608千円	4,544千円	4,928千円	8,576千円	8,704千円	
	決算額	4,608千円	4,698千円	5,184千円	8,123千円	8,550千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	朱山	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-3(2)1	養護教諭の支援の充実					
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-3	健やかな体の育成				
	取組	(2)	健康教育の推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	経験の浅い養護教諭の指導力向上のため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内小中学校					
	対象(誰に)	養護教諭(経験1~5年程度)					
	方法(何を)	主任養護教諭による保健室訪問、学校保健にかかわる実務の相談活動					
③ 設定目標	現状	主任養護教諭による訪問・指導					
	目標	養護教諭アドバイザーの設置					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・訪問希望者全員に対応	・保健室相談訪問の周知 ・保健室相談訪問希望者の拡大 ・養護教諭アドバイザー設置条件の検討	・養護教諭アドバイザーの配置にかかわる課題の抽出	・養護教諭アドバイザー配置のための検討・準備	・養護教諭アドバイザー配置	
	実績(成果)	・訪問を希望した11人の養護教諭の学校に行き、指導の方法や危機管理などについてアドバイスをした。 ・年間22回の訪問	・訪問を希望した10人のうち9人の養護教諭の学校に行き、指導の方法や危機管理などについてアドバイスをした。(1名は、指導主事が担当) ・年間18回の訪問 ・担当者レベルでの意見交換会実施	・訪問を希望した12人の養護教諭の学校に行き、指導の方法や危機管理などについて助言(1名は、指導主事が担当) ・年間24回の訪問 ・他地区の実施状況に関する情報収集 ・課題の抽出	・訪問を希望した15人の養護教諭の学校に行き、指導の方法や危機管理などについて助言 ・年間26回の訪問 ・他地区の実施状況に関する情報収集 ・課題の抽出	・養護教諭アドバイザーを配置し、保健室訪問を希望した17人の養護教諭の小中学校に行き、指導の方法や危機管理などについて助言 ・年間34回の訪問 ・他地区の実施状況に関する情報収集 ・課題の抽出	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	48千円	48千円	48千円	48千円	60千円	
	決算額	44千円	36千円	44千円	44千円	57千円	
	事務量(正規)	10人日	9人日	11人日	14人日	17人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB02	所属名	保健給食課	担当者	横山	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-3(2)2	児童生徒の生活習慣病予防対策の推進					
種別	継続	担当課	保健給食課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-3	健やかな体の育成				
	取組	(2)	健康教育の推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	子どもたちが自分自身の健康状態を知り、自己管理できる能力を身につけられるようにするため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	小中学校、豊田地域医療センター					
	対象(誰に)	①腹囲測定(全児童生徒)②血圧検査(小4以上で①の基準値超過者)③血液検査(②の基準値を超過し、かつ保護者の同意がある児童生徒)					
	方法(何を)	小児メタボリック症候群予備軍者への血液検査受診と外部管理栄養士による栄養指導を実施する。					
③ 設定目標	現状	中学校1年生を対象とした血液検査の実施(年1回)及び事後指導					
	目標	小中学生を対象にした腹囲測定及び事後指導の実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・小児メタボリック症候群予備軍者への受診勧奨(血液検査)と保健指導 ・中1希望者への血圧血液検査	・小4以上の小児メタボリック症候群予備軍者への受診勧奨(血液検査)と外部管理栄養士による個別栄養相談実施	・小4以上の小児メタボリック症候群予備軍者への受診勧奨(血液検査)と外部管理栄養士による個別栄養相談実施	・小4以上の小児メタボリック症候群予備軍者への受診勧奨(血液検査)と外部管理栄養士による個別栄養相談実施	・小4以上の小児メタボリック症候群予備軍者への受診勧奨(血液検査)と外部管理栄養士による個別栄養相談実施	
	実績(成果)	・メタボ予備軍者血液検査受診率:小学生47.1%、中学生26.0%(7~12月) ・保健指導実施率:小学生63.8%、中学生20.3%(7~3月) ・中1血液検査受診率:88.0%(4~6月)	・メタボ予備軍者血液検査受診率:小学生80.8%、中学生66.8%(7~9月) ・保健指導実施率:小学生25.8%、中学生13.3%(7~3月) ・個別栄養相談受講者(非メタボの肥満者含む):小学生162人、中学生56人	・メタボ予備軍者血液検査受診率:小学生85.5%、中学生81.6%(7~9月) ・保健指導実施率:小学生27.3%、中学生20.5%(7~3月) ・個別栄養相談受講者(非メタボの肥満者含む):小学生299人、中学生85人	・メタボ予備軍者血液検査受診率:小学生79.1%、中学生82.3%(7~9月) ・保健指導実施率:小学生25.3%、中学生21.4%(7~3月) ・個別栄養相談受講者(非メタボの肥満者含む):小学生273人、中学生77人	・メタボ予備軍者血液検査受診率:小学生75.7%、中学生70.4%(7~9月) ・保健指導実施率:小学生37.1%、中学生12.5%(7~3月) ・個別栄養相談受講者(非メタボの肥満者含む):小学生285人、中学生63人	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	16,128千円	11,047千円	7,548千円	8,400千円	7,974千円	
	決算額	14,398千円	3,979千円	7,442千円	7,024千円	7,091千円	
	事務量(正規)	25人日	85人日	80人日	80人日	80人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB02	所属名	保健給食課	担当者	加藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-3(2)3	給食を通じた食育推進事業の推進					
種別	継続	担当課	保健給食課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-3	健やかな体の育成				
	取組	(2)	健康教育の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	豊田産食材を利用し、給食内容の充実を図るとともに、栄養教諭などを中心とした食に関する指導を推進するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	小・中・特別支援学校					
	対象 (誰に)	児童生徒及び保護者					
	方法 (何を)	豊田産食材を献立に取り入れ、地産地食の理解を深め、栄養教諭等が給食時間や授業で指導を行う					
③ 設定目標	現状	豊田産食材の使用(米粉パン月1回、スライスパン月1回、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会など					
	目標	豊田産食材の使用(米粉パン月1回、スライスパン月1回、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会など					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、保護者試食会	
	実績 (成果)	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年7回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、献立コンクール、保護者試食会	・豊田産食材の使用(米粉パン・スライスパン、ロールパン月1回、麺年8回)、保護者試食会	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	42,690千円	42,551千円	46,804千円	46,667千円	44,741千円	
	決算額	34,432千円	31,298千円	44,234千円	40,173千円	39,570千円	
	事務量(正規)	48人日	28人日	22人日	22人日	22人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	佐伯	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-4(1)1	特別支援教育コーディネーターの力量向上					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助		国	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-4	共に生きる教育の充実				
	取組	(1)	特別支援教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	校内の教育支援体制整備、保護者や関係機関との円滑で効果的な連携を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中特別支援学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校教員					
	方法 (何を)	コーディネーターの力量向上をねらった研修会の実施、校内支援体制充実を図るための訪問支援					
③ 設定目標	現状	研修会年2回実施					
	目標	特別支援教育アドバイザーの設置					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育コーディネーター研修会年2回実施 適切な対応促進にむけ、主にコーディネーターを指導支援する「特別支援教育訪問」を実施 	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーター研修会実施(4・10月) モデル実践継続 アドバイザー活動の試案構想(スクールソーシャルワーカー・指導主事) 	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の研修会とブロックごとの研修会 「ブロックコーディネーター(BCO)」の育成及びブロックサポート体制の構築 支援プランの構築 	<ul style="list-style-type: none"> BCO設置校をモデルに、インクルーシブ教育推進 ブロックサポート体制の充実 特別支援教育推進委員会との連携による支援体制の構築 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックサポート体制の定着 特別支援教育推進委員会と連携した支援の充実 特別支援教育アドバイザーによる訪問支援 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 重点支援校:小学校2校、月1~2回の割合で訪問支援 学校や保護者からの要請による訪問支援:小学校11校、中学校7校 特別支援教育コーディネーター研修会(4月)※2月は積雪のため中止 	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーター研修会(全体会:4・10月、ブロック別6~11月で1回、Bブロック2回) 重点支援校:小学校3校、月1~2回の訪問支援、ケース会議の実施 訪問支援:小学校9校、中学校5校 	<ul style="list-style-type: none"> コーディネーター研修会(全体会:4・10月)、ブロック別研修会(6~9月各1回) モデルBCOへ特別支援学校等からの指導助言4回 モデルブロックでのブロックサポート体制構築について研究発表(1月) 支援プランの構築 	<ul style="list-style-type: none"> BCO設置校をモデルに、インクルーシブ教育推進 ブロックサポート体制を全ブロックへ拡大 特別支援教育推進委員会を4回実施し、人材育成と支援体制の構築の推進 	<ul style="list-style-type: none"> ブロックサポート体制の定着 特別支援教育推進委員会委員長が研修会で講話を実施するなど、連携した支援が充実 特別支援教育アドバイザーによる学校訪問支援98件、園訪問支援34件 	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	22千円	22千円	22千円	22千円	22千円	
	決算額	0千円	22千円	0円	0円	0千円	
	事務量(正規)	60人日	60人日	60人日	60人日	60人日	
	事務量(臨時)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	山本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-4(1)2	学級運営補助指導員の配置拡大					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-4	共に生きる教育の充実				
	取組	(1)	特別支援教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	きめ細かな学級運営・学級経営の補助をするため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校に在籍する個別の支援が必要な児童生徒					
	方法 (何を)	学級運営補助指導員を配置する					
③ 設定目標	現状	約150人の学級運営補助指導員を配置					
	目標	はつらつ配置を含んで150人以上の学級運営補助指導員を適正配置					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初149名配置 年度途中8名配置 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初170名配置 年度途中6名配置 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初171名配置 年度途中5名配置 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初131名配置 年度途中4名配置 はつらつ支援配置を廃止、パルク配置に一本化 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初135名配置 年度途中配置の調整 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 4月配置91名はつらつ支援事業配置58名計149名 5月以降順次配置し最終157名配置 学級運営補助指導員研修会(4・7月)「指導の記録」(年5回提出) 	<ul style="list-style-type: none"> 4月配置101名はつらつ支援事業配置69名計170名 5月以降順次配置し最終178名配置 学級運営補助指導員研修会(4・7月)「指導の記録」(年5回提出) 	<ul style="list-style-type: none"> 4月配置100名はつらつ支援事業配置69名計169名 5月以降順次配置し最終177名配置 学級運営補助指導員研修会(4・7月)「指導の記録」(年5回提出) 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初131名配置 9月配置校の変更5名、新規1名途中配置 10月1名、11月3名、2月1名の途中配置 はつらつ支援配置を廃止、パルク配置に一本化 	<ul style="list-style-type: none"> 年度当初135名配置 9月配置校の変更1名、新規5名途中配置、10月1名途中配置、12月勤務時間数を1名増加し、最終141名配置 学級運営補助指導員研修会(4・7月)「指導の記録」(年5回提出) 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	66,216千円	74,796千円	74,796千円	89,974千円	96,720千円	
	決算額	66,161千円	74,734千円	74,330千円	89,544千円	96,546千円	
	事務量(正規)	70人日	70人日	70人日	70人日	70人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	原田	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-4(2)1	いじめ・不登校対策推進委員会の充実						
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助		無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	2 学校教育の更なる充実					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-4	共に生きる教育の充実					
	取組	(2)	いじめ・不登校対策の充実					
② 取組の概要	目的 (何のために)	いじめや不登校の現状を把握し解決に向けた支援を行うため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	市内小中学校、青少年相談センター						
	対象 (誰に)	市内小中学校						
	方法 (何を)	市内小中学校のいじめ・不登校に関する調査研究、広報活動、体験活動等						
③ 設定目標	現状	いじめ解消率小学校98.1%、中学校94.5% 不登校児童生徒数の割合小学校0.3%、中学校2.6%						
	目標	いじめ解消率小学校100%、中学校100% 不登校児童生徒数の割合小学校0.1%以下、中学校1%以下						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	いじめ解消率及び不登校児童生徒の割合調査(4月)	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市いじめ防止対策組織としての教育委員会附属機関を設置 広報部会 体験活動部会 いじめ問題対策部会 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題対策部会と不登校対策部会の2部会に再編 新設の附属機関「いじめ防止対策委員会」と連携し、いじめの未然防止について調査研究等を実施 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題対策部会と不登校対策部会の2部会で活動 「いじめ防止対策委員会」と連携していじめの未然防止について調査研究を実施 	<ul style="list-style-type: none"> いじめ問題対策部会では、いじめ防止対策委員会と連携して、教師向けいじめ対応マニュアル(24年度策定)を改訂 不登校問題対策部会では、広報誌の発行や体験活動の実施 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の推進委員会 広報部会年7回 広報紙2回発行 体験活動部会9回 体験活動事業3回 いじめ解消率 小学校97.0% 中学校96.6% 不登校児童生徒の割合 小学校0.3% 中学校2.7%	<ul style="list-style-type: none"> 全体会1回、広報部会7回、体験活動部会4回、体験活動事業3回 いじめ問題対策部会5回 いじめ解消率 小学校98.3% 中学校100% 不登校児童生徒の割合 小学校0.4% 中学校3.0%	<ul style="list-style-type: none"> 全体会2回、不登校対策部会5回、体験活動事業2回、いじめ問題対策部会6回、啓発資料発行、モデルアンケート作成 いじめ解消率 小学校96.3%、中学校98.9% 不登校児童生徒の割合 小学校0.3% 中学校2.7%	<ul style="list-style-type: none"> 全体会2回、不登校対策部会9回、体験活動事業2回、いじめ問題対策部会6回、アンケートモデル配布、「いじめ解消の目安」策定、いじめ防止のキャッチコピー募集 いじめの解消率: 小学校96.5%、中学校96.1% 不登校児童生徒の割合: 小学校0.5%、中学校3.0% 	<ul style="list-style-type: none"> 全体会2回、不登校対策部会5回、体験活動事業2回、啓発資料発行。いじめ問題対策部会6回、教師向けいじめ対応マニュアル全面改訂、いじめ防止のキャッチコピー・ポスター募集 いじめの年度末収束率: 小96.4%、中97.3% 不登校児童生徒の割合: 小0.56%、中3.07% 		
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	548千円	671千円	325千円	432千円	373千円		
	決算額	473千円	470千円	255千円	247千円	253千円		
	事務量(正規)	68人日	113人日	77人日	79人日	95人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	藤田	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-4(2)2	市スクールカウンセラーの増員					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-4	共に生きる教育の充実				
	取組	(2)	いじめ・不登校対策の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	いじめ、不登校等の問題の未然防止及び解消をはかる					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	豊田市内小学校					
	対象 (誰に)	小学生とその保護者、教員					
	方法 (何を)	小学校にスクールカウンセラーを配置し、定期的に(2週に1回程度)学校を訪問し、相談活動を行う					
③ 設定目標	現状	市スクールカウンセラー3人					
	目標	市スクールカウンセラー5人					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・小学校へスクールカウンセラー1名増員 4名配置	・小学校へスクールカウンセラー4名継続配置	・小学校へスクールカウンセラー5名を配置(増員)	・小学校へスクールカウンセラー5名を配置(増員)	・小学校へスクールカウンセラー5名を配置	
	実績(成果)	・スクールカウンセラー1名増員(4月) ・訪問校数32校 ・相談件数5,617件 子ども、保護者、学校に適切な助言を行うことができた。	・スクールカウンセラー4名継続配置 ・訪問校数32校 ・相談件数4,514件 子ども、保護者、学校に適切な助言を行うことができ、学校や保護者との信頼関係も深まった。	・スクールカウンセラー4名継続配置 ・訪問校数32校 ・相談件数4,021件 継続的な面接相談もあり、学校・保護者との信頼は深まっている。教員への助言の機会も増えた。	・スクールカウンセラー4名継続配置 ・訪問校数32校 ・相談件数4,970件 学校・保護者との信頼は深まっている。心身の問題についての相談が多く、WISC検査も増加している。	・スクールカウンセラー1名増員(4月)により5名配置 ・訪問校数36校 ・相談件数6,065件(1月末現在) WISC検査を基に、学校、保護者へ子どもの対応方法、支援方法を適切に助言することができた。	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	17,401千円	17,401千円	20,388千円	20,388千円	20,617千円	
	決算額	12,560千円	12,560千円	12,560千円	16,184千円	20,038千円	
	事務量(正規)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	976人日	976人日	976人日	976人日	1,220人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	WISC検査: 児童向け知能検査					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	北島	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-4(3)1	プレスクールの実施						
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助		無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-4	共に生きる教育の充実					
	取組	(3)	外国人児童生徒への支援の充実					
② 取組の概要	目的(何のために)	小学校入学直前の外国人幼児が日本の学校にスムーズに適応できるようにするため						
	時期(いつ)	11~3月						
	場所(どこで)	西保見小学校						
	対象(誰に)	小学校入学前の外国人幼児						
	方法(何を)	簡単な日本語と学校生活のルールなどを教える(NPO法人に委託)						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	1か所実施						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 西保見小内1か所設置 15人程度の参加 	<ul style="list-style-type: none"> 効果の検証(4~8月)・実施方法の改善・参加者への啓発・募集方法改善 	<ul style="list-style-type: none"> 効果の検証(4~8月)・実施方法の改善・参加者への啓発・募集方法改善 	<ul style="list-style-type: none"> 効果の検証(4月~9月) 実施方法の改善 参加への啓発及び募集方法改善 他地域への拡大検討 	<ul style="list-style-type: none"> 効果の検証(4月~9月) 実施方法の改善 参加への啓発及び募集方法改善 他地域への拡大検討 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> NPO法人トルシーダに委託(11~3月、26回実施、20人参加) 	<ul style="list-style-type: none"> 成果と課題の分析・改善 NPO法人トルシーダに委託(11~3月、26回実施、15人参加) 日本語指導に体育指導も加えるなど全体指導の改善 	<ul style="list-style-type: none"> 成果と課題の分析と改善に向けての協議(9月) NPO法人トルシーダに委託(11~3月、25回実施、15人参加) 全体指導の充実のため、学校日本語指導員を配置 	<ul style="list-style-type: none"> 取組の紹介(県多文化共生推進室「普及に向けた説明会」にて) 成果と課題の分析、改善に向けての協議(8月) NPO法人トルシーダに委託(11月~3月、25回21人参加) 西保見小学校内に加え、産業文化センターでも実施 	<ul style="list-style-type: none"> 成果と課題の分析、改善に向けての協議(8月) NPO法人トルシーダに委託(11月~3月、25回30人参加) 西保見小学校内、産業文化センター(TIA)の2か所にて実施 集住地区の小学校との参加就学児の情報交換(3月) 		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円		
	決算額	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円	1,900千円		
	事務量(正規)	30人日	20人日	20人日	20人日	20人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	北島	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-4(3)2	ことばの教室の開設					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-4	共に生きる教育の充実				
	取組	(3)	外国人児童生徒への支援の充実				
② 取組の概要	目的(何のために)	日本語の話せない児童生徒が日本の学校へスムーズに入れるようにするため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内小学校					
	対象(誰に)	日本語の話せない児童生徒					
	方法(何を)	日本語指導員が簡単な日本語と学校生活の適応指導を行う					
③ 設定目標	現状	2か所実施					
	目標	3か所実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・2か所設置(西保見・野見) ・1か所増室高嶺教室	・3か所設置(西保見・野見・高嶺) ・カリキュラムの検討	・3か所設置(西保見・野見・高嶺) ・ことばの教室に通えない場合の指導カリキュラムの検討	・3か所設置(西保見・野見・大林) ・日本語初期指導+教科指導カリキュラム(JSLカリキュラム)の検討 ・指導員の力量向上	・3か所設置(西保見・野見・大林) ・日本語指導+教科指導の教材の充実 ・指導員の力量向上	
	実績(成果)	・高嶺教室6月開室 ・参加児童生徒数:西保見教室31人、野見教室28人、高嶺教室12人	・参加児童生徒数:西保見教室25人、野見教室25人、高嶺教室5人 ・カリキュラムの作成	・参加児童生徒数:西保見25人、野見27人、高嶺2人(計54人) ・在籍校復帰時の支援開始 ・マニュアル、カリキュラムの見直し(3月) ・高嶺教室を大林小内へ移設予定	・参加児童生徒数:西保見38人、野見27人、大林36人(計101人) ・在籍校復帰時の支援(小学生10~12時間程度・中学生14~16時間程度) ・マニュアル、カリキュラムの見直し(3月) ・公開授業研究年3回	・参加児童生徒数:西保見52人、野見22人、大林44人(計118人) ・在籍校復帰時の支援(小学生10~12時間程度・中学生14~16時間程度) ・受入マニュアル、カリキュラムの見直し(改訂版作成・3月) ・公開授業研究年3回	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	33,403千円	32,436千円	32,130千円	32,790千円	33,464千円	
	決算額	28,151千円	27,329千円	32,130千円	30,815千円	36,295千円	
	事務量(正規)	60人日	50人日	50人日	50人日	50人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	10人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	梶	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(1)1	防災教育推進委員会の設立					
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	5 環境・防災の教育と機能強化の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(1)	防災教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	実効性の高い防災教育による「支え合い、自ら考えて行動できる子」の育成のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小学校、教員、地域住民					
	方法 (何を)	防災教育プログラムを作成するとともに、地域と連携した防災教育を推進する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	防災教育プログラムの作成・実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・防災教育プログラム初版発刊 ・モデル地区支援	・防災教育ヒント集初版の実践収集 ・防災教育ヒント集二版に向けての調査・研究 ・避難訓練等へのアドバイザー派遣	・防災教育ヒント集の実践収集 ・防災教育ヒント集二版(小学校)の作成・提示 ・市内小中学校の防災教育への支援	・防災教育ヒント集の実践収集 ・防災教育ヒント集二版(中学校)の作成・提示 ・市内小中学校の防災教育への支援	平成28年度末で完了	
	実績 (成果)	・防災教育プログラム(防災教育ヒント集)初版発刊(2月) ・モデル地区支援(6月地域・学校防災会議、7月先進地視察(徳島県)、8月復興支援ボランティア、9月避難訓練、12月防災教室)	・防災教育ヒント集初版の実践収集(ミニ実践集) ・防災教育ヒント集二版(小学校版)に向けての調査・研究 ・避難訓練等へのアドバイザー派遣(1校)	・防災教育ヒント集の実践収集 ・防災教育ヒント集二版(小学校版)の作成 ・市内小中学校の防災教育への支援	・防災教育ヒント集の実践収集 ・防災教育ヒント集二版(中学校版)の作成 ・市内小中学校の防災教育への支援	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	2,005千円	454千円	166千円	166千円	0千円	
	決算額	1,638千円	126千円	123千円	56千円	0千円	
	事務量(正規)	26人日	18人日	17人日	10人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	清水	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(2)1	へき地・小規模校活性化補助事業の実施					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	県		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(2)	へき地・小規模校教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	へき地の子どもたちが様々な体験をすることができるよう機会の充実を推進する					
	時期 (いつ)	5~1月					
	場所 (どこで)	へき地・小規模の小学校					
	対象 (誰に)	へき地・小規模校の小学生					
	方法 (何を)	都市体験学習、芸術鑑賞会、集合学習の実施					
③ 設定目標	現状	都市体験学習、芸術鑑賞会、集合学習の実施					
	目標	都市体験学習、芸術鑑賞会、集合学習の実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・都市体験 9校 ・芸術鑑賞 21校 ・集合学習 3校	・都市体験 9校 ・芸術鑑賞 21校 ・集合学習 4校	・都市体験 9校 ・芸術鑑賞 23校 ・集合学習 4校	・都市体験 11校 ・芸術鑑賞 23校 ・集合学習 4校	・都市体験 11校 ・芸術鑑賞 23校 ・集合学習 4校	
	実績 (成果)	・都市体験 9校 ・芸術鑑賞 21校 ・集合学習 3校	・都市体験 9校 ・芸術鑑賞 21校 ・集合学習 4校	・都市体験 9校 ・芸術鑑賞 23校 ・集合学習 4校	・都市体験 11校 ・芸術鑑賞 23校 ・集合学習 4校	・都市体験 11校 ・芸術鑑賞 23校 ・集合学習 4校	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	2,718千円	3,098千円	3,761千円	3,701千円	3,611千円	
	決算額	1,731千円	2,786千円	2,525千円	2,549千円	2,116千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	梶	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(3)1	小学校でのキャリア教育プログラムの作成					
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	2 学校教育の更なる充実				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(3)	キャリア教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちの発達段階に応じたキャリア教育を推進するため					
	時期 (いつ)	平成29年度までに					
	場所 (どこで)	市内小学校					
	対象 (誰に)	市内小学生					
	方法 (何を)	キャリア教育プログラムに基づいた授業を行う					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	プログラム完成・実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・小学校でキャリア教育プログラムの作成	・各校において、全体計画の作成 ・とよた大好き子カリキュラムのキャリア教育分野のモデル実施	・キャリア教育全体計画の実施 ・とよた大好き子カリキュラムへの位置づけと他校での実施	・学年別教育プログラムの作成・実施	・全小学校で実施 ・とよた大好き子カリキュラムでの継続したモデル実施の拡大に伴う、カリキュラムマネジメントの実施(教務主任者会との連携)	
	実績(成果)	・全小学校でキャリア教育プログラムの構想決定	・全小学校でキャリア教育全体計画の作成 ・とよた大好き子カリキュラムの猿投地区でのモデル実施(小学校2校、中学校1校)	・全小学校でキャリア教育の全体計画の見直し ・とよた大好き子カリキュラムでの継続したモデル実施(稲武地区、猿投地区、豊南地区)	・全小学校でキャリア教育の全体計画の見直し ・とよた大好き子カリキュラムでの継続したモデル実施の拡大 ・「地域に学び・語り継ぐ キャリア教育」事業の実施	・全小学校でキャリア教育全体計画を立て、それをもとにキャリア教育の実施 ・平和小学校における実践について他校へ伝達	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	1人日	1人日	1人日	3人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0千円	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	松本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(3)2	職場体験活動の充実					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助		県	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(3)	キャリア教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちに自らの職業観を深め、生き方や進路選択、社会貢献などについて考える機会を提供するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	職場体験活動受入れ場所					
	対象 (誰に)	中学2年生					
	方法 (何を)	職場体験活動を実施する					
③ 設定目標	現状	全中学校で実施					
	目標	全中学校で実施、受入先のデータベースの拡大・活用					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・全27中学校で実施 ・体験受け入れ先のデータベースの拡大・活用	・全27中学校で実施 ・体験受け入れ先のデータベースの拡大・活用	・全27中学校で実施 ・体験受け入れ先のデータベースの拡大・活用	・体験受け入れ先のデータベースの拡大・活用	・体験受け入れ先のデータベースの拡大・活用	
	実績 (成果)	・全中学校で実施(3日間4校、4日間9校、5日間10校、6日間4校) ・「働いている人の苦労や働くことの大切さなどわかったと思う。(アンケート)」 ・381事業所(地域別・事業所別)DB登録	・全中学校で実施(3日間4校、4日間8校、5日間12校、6日間3校) ・「働くことの意義や大切さを体感することができた。(アンケート)」 ・398事業所(地域別・事業所別)DB登録	・全中学校で実施(3日間:2校、4日間:15校、5日間:6校、6日間:2校) ・「働いている人の苦労や働くことの意義や大切さを感じる事ができた。(アンケート)」 ・405事業所(地域別・業種別)DB登録	・全中学校で実施(3,931名 2日間:1校 3日間:15校、4日間:7校、5日間:4校、6日間:1校) ・学びを他学年に伝えるプレゼン活動が増加 ・405事業所(地域別・業種別)がDB登録	・全中学校で実施(4,073名 2日間:1校 3日間:5校、4日間:16校、5日間:4校、6日間:2校) ・地域学校共働本部を活用した体験活動の拡大 ・405事業所(地域別・業種別)がDB登録	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,000千円	1,950千円	1,202千円	1,300千円	1,203千円	
	決算額	1,547千円	1,073千円	1,202千円	1,069千円	925千円	
	事務量(正規)	1人日	1人日	1人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-5(4)1 児童生徒の情報機器の活用力の向上							
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進					
	取組	(4)	情報教育の推進					
② 取組の概要	目的 (何のために)	加速する情報化社会に伴い、子どもたちの情報活用能力を育成するため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	市内小中学校						
	対象 (誰に)	市内小中学生						
	方法 (何を)	情報機器を有効に活用した授業を実施する						
③ 設定目標	現状	全小中学校で情報機器を活用したプレゼンテーション作成の実施						
	目標	全小中学校で情報機器を活用したプレゼンテーション作成技能の向上						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・全小中学校で情報機器を活用したプレゼンテーション作成の実施	・情報活用能力を育成する情報教育の推進 ・情報機器の危険を見極める力を育成する情報モラル教育の充実	・情報活用能力を育成する情報教育の推進 ・情報機器の危険を見極める力を育成する情報モラル教育の充実	・情報活用能力を育成する情報教育の推進 ・情報機器の危険を見極める力を育成する情報モラル教育の充実	・全小中学校で情報機器を活用したプレゼンテーション作成技能の向上		
	実績(成果)	・小学校の情報教育に関する学習内容を、豊田市独自のカリキュラムとして作成 ・カリキュラムを市内各小・中学校に配付	・教職員向けセキュリティハンドブックの作成、配布 ・ICT機器活用研修会の実施 ・児童生徒が、ICT機器を適切に活用できるためのモデル指導案の作成、配布 ・POTETOのデジタル教材の充実	・ICT機器活用研修会の実施 ・デジタル教科書を活用したモデル指導案の作成 ・情報セキュリティ、情報モラル教育に関する研修の実施	・ICT研修ではプレゼンテーション研修を実施(7月) ・デジタル教科書の効果的な活用方法を示したモデル指導案の提示(8月) ・2年経験者研修では、情報モラル授業の実践報告会を実施(8月)	・ICT研修ではプレゼンテーション研修を実施(7月) ・初任者研修において、ICTを活用した授業実践の協議会を実施(8月) ・2年経験者研修では、情報モラル授業の実践報告会を実施(8月)		
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
	⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事務量(正規)	7人日	7人日	7人日	7人日	7人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0千円	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考	POTETO (教材データベース)						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	加藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(5)1	中学生の海外派遣の実施					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(5)	国際理解教育の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	外国の人々との共生に必要な資質を身につけ、国際理解の気持ちを育むため。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	派遣先:イギリス、マレーシア、アメリカ 事前研修場所:市内各所(主として学校、教職員会館研修室)					
	対象 (誰に)	市内中学生(各中学校3名の海外派遣生徒が中心)					
	方法 (何を)	派遣生徒に事前研修を実施し、現地でホームステイ等を体験させる。また、帰国後に各校において報告会を実施する。					
③ 設定目標	現状	3方面(イギリス、アジア、アメリカ)へそれぞれ各校1人の中学生を派遣					
	目標	継続実施、イギリスのダービーシャーとの姉妹都市提携15周年記念事業を実施(平成25年度)					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・3方面(イギリス・アジア・アメリカ)へそれぞれ各校1名の中学生を派遣	・3方面への派遣の継続および派遣生徒拡大に向けて調査開始	・3方面への派遣の継続および派遣生徒拡大に向けて継続調査	・3方面への派遣の継続および派遣生徒拡大に向けて継続調査 ・アメリカ団訪問地の変更に向けた調査・検討	・3方面への派遣の継続に向けての検証 ・アメリカ団訪問地の変更	
	実績(成果)	・3方面への派遣実施 ・ダービーシャーとの姉妹都市提携15周年を記念して、豊田・ダービーシャー子ども会議の実施	・3方面への派遣実施 ・第2回豊田・ダービーシャー子ども会議の実施 ・イギリス・アメリカでのホームステイ受入数増加について現地担当者と調整	・3方面への派遣実施 ・第3回豊田・ダービーシャー子ども会議の実施 ・アジア団の日程変更と有事に備え危機管理意識の向上、クアラルンプール日本人学校への訪問	・3方面への派遣実施 ・第4回豊田・ダービーシャー子ども会議の実施 ・バンド市への最後の訪問に向けた取組の実施。 (29年度は派遣市をバンド市からデトロイト・アナーバー市へ変更)	・3方面への派遣実施 ・アメリカ団訪問地の変更	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	29,917千円	29,917千円	28,400千円	29,395千円	30,920千円	
	決算額	25,131千円	26,658千円	26,309千円	29,395千円	26,499千円	
	事務量(正規)	80人日	80人日	80人日	80人日	80人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	加藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(5)2	海外からの短期留学生の受入れ					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(5)	国際理解教育の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	外国の人々との共生に必要な資質を身につけ、国際理解の気持ちを育むため。					
	時期 (いつ)	4～12月					
	場所 (どこで)	市内中学校					
	対象 (誰に)	市内中学生					
	方法 (何を)	ホストファミリーとして留学生を受け入れ、ともに学校生活を体験させる					
③ 設定目標	現状	イギリス、インドネシアからの短期留学生を年30人程度受入れ					
	目標	イギリス、インドネシアからの短期留学生を年30人程度受入れ					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	イギリスからの短期留学生を20人程度受入れ	イギリス、インドネシアからの短期留学生を年30人程度受入れ イギリスからの短期留学生来日に合わせて、豊田・ダービーシャー子ども会議の開催	イギリス、インドネシアからの短期留学生を年30人程度受入れ イギリスからの短期留学生来日に合わせて、豊田・ダービーシャー子ども会議の開催	イギリスからの短期留学生を年30人程度受入れ イギリスからの短期留学生来日に合わせて、豊田・ダービーシャー子ども会議の開催	イギリス短期留学生の受け入れ中止(イギリス側の都合に基づく) 今後の短期留学生受入計画の立案(イギリスとアメリカの受け入れ調整)	
	実績(成果)	イギリスからの短期留学生26名の受入れ 来日に合わせて豊田・ダービーシャー子ども会議を開催	イギリスからの短期留学生26名と引率教師4名の受入れ 来日に合わせて第2回豊田・ダービーシャー子ども会議を開催	イギリスからの短期留学生30名と引率教師4名の受入れ 来日に合わせて第3回豊田・ダービーシャー子ども会議を開催	イギリスからの短期留学生28名と引率教師3名の受入れ 来日に合わせて第4回豊田・ダービーシャー子ども会議を開催	イギリスからの短期留学生は来日中止となり、今後訪問計画について現地担当者と打合せ 本年度から新たに訪問を開始したアメリカ(アナーバー市)からの短期留学生の受け入れ計画について現地担当者と打合せ	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入					イギリス側の都合による来日の中止	
⑤ コスト	予算額	1,820千円	1,820千円	1,200千円	1,200千円	1,200千円	
	決算額	1,261千円	1,100千円	1,041千円	1,146千円	0千円	
	事務量(正規)	40人日	40人日	40人日	40人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	松本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(6)1	校舎を活用した環境学習プログラムの展開					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課・学校教育課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	5 環境・防災の教育と機能強化の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(6)	環境教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちが地球環境や身近な環境について学び、環境にやさしい生活の実践力を身につけるため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学生					
	方法 (何を)	環境に配慮した校舎を活用した環境学習プログラムを実践する					
③ 設定目標	現状	モデル校での結果の検証・分析					
	目標	保全改修実施校(39校)及び新設校(3校)で実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・環境学習教材の作成準備	・環境学習教材の作成 ・保全改修校(7校)、新設校(1校)への教材提供及びプログラムの展開	・保全改修校(7校)への教材提供及びプログラムの展開	・環境学習教材の作成 ・保全改修校、新設校(1校)への教材提供及びプログラムの展開	・全保全改修校への教材提供及びプログラムの展開	
	実績 (成果)	・環境学習教材の作成準備 ・次年度改修する3校のトイレを題材とした環境学習を実施	・環境学習教材の作成 ・保全改修校へプログラム展開できるよう、授業指導案を作成	・環境学習教材(DVD)の活用推進 ・各種研修での事例紹介、土橋小学校での職員研修	・環境学習教材(DVD)の活用 ・各種研修での事例紹介 ・土橋小学校での授業参観	・全保全改修校への環境学習教材提供(校務支援システムPOTETOで配信) ・環境教材を使ったプログラムの展開 ・土橋小学校での授業参観	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,100千円	2,500千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	2,940千円	1,944千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	22人日	22人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	加藤と	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(6)2	省エネ活動推進事業の実施					
種別	継続	担当課	学校づくり推進課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-5	社会の変化に対応する教育の推進				
	取組	(6)	環境教育の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	環境モデル都市の推進を目指して環境への意識向上を図るとともに、自治体の経費削減を図る					
	時期 (いつ)	平成24年度から平成26年度まで					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒、教職員					
	方法 (何を)	各学校の光熱水費の削減額の半額を学校裁量予算として還元する(過去3年同月平均値との比較)					
③ 設定目標	現状	全校で事業実施					
	目標	平成26年度まで事業継続実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・全校で省エネ活動を実施し削減額の半額を還元	・全校で省エネ活動を実施し削減額の半額を還元 ・26年度で事業を完了、完了後の展開検討	—	—	—	
	実績 (成果)	・削減額25,019千円 ・還元金額13,200千円	・削減額13,847千円 ・還元金額8,221千円(努力校還元金含む) ・27年度の取組内容の方向性を決定(啓発、情報提供を予定) ・省エネポスター原稿の完成	事業完了	事業完了	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	13,838千円	8,846千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	13,025千円	8,179千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	84人日	84人日	0人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岩本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(1)1	教員対象研修見直し・一覧の作成(経年者、役職者を対象とした研修の体系化)					
種別	継続	担当課	学校教育課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(1)	教員の指導力向上を図る体制整備				
② 取組の概要	目的(何のために)	教員の教育体制、研修体制の充実を図るため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内全小・中・特別支援学校、教育センター等					
	対象(誰に)	市内小中学校教員					
	方法(何を)	教員対象研修見直し、一覧の作成					
③ 設定目標	現状	研修参加者の満足度3.7点(4点満点)					
	目標	研修参加者の満足度3.8点以上					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・経年者、役職者を対象とした研修の体系化	・教員対象研修の見直し ・人材育成プランとの関係の整理 ・研修の満足度3.7点以上 ・研修一覧表の改訂	・人材育成プランに沿った教員対象研修の見直し ・研修の満足度3.7点以上(4点満点) ・研修一覧表の改訂 ・OJTの支援	・人材育成プランに沿った研修の見直し及び再構築 ・研修の満足度3.8点以上(4点満点) ・研修一覧表の改訂 ・校内OJTと研修の連携	・人材育成プランに沿った研修の確立 ・研修の満足度3.8点以上(4点満点) ・研修一覧表の改訂 ・OJT支援の充実	
	実績(成果)	・研修一覧表の作成 ・研修の体系化 ・研修の満足度3.77 ・人材育成プランのOJTについて基本案検討	・人材育成プランで求められていく資質や能力に合った研修講座の設定 ・人材育成プランにおけるOJTの目標と方法の明確化 ・研修一覧表の改訂 ・研修の満足度3.82(4点満点)	・人材育成プランに沿った教員対象研修の実施(要項や研修内容の改善) ・研修の満足度3.79(4点満点) ・研修の再構築に基づく研修一覧表の改訂 ・OJT支援窓口設置と各学校への支援の実施	・人材育成プランに沿った教員対象研修の実施(派遣依頼等の改善) ・研修の満足度3.81(4点満点) ・研修の一覧表の運用 ・TTネット通信等によるOJT支援及び主事等による要請訪問の実施	・人材育成プランに沿った教員対象研修の実施 ・研修の満足度3.78(4点満点) ・研修一覧表の運用、研修履歴の構築 ・TTネット通信等によるOJT支援及び主事等による要請訪問の実施(31件)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	松本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(2)1	中堅教員パワーアップ研修の実施					
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助		無	
① 施策体系	重点テーマ	該当	2 学校教育の更なる充実				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(2)	研修の充実				
② 取組の概要	目的(何のために)	中堅教員の指導力のさらなる向上を図るため					
	時期(いつ)	年3回					
	場所(どこで)	豊田市教職員会館・浄水北小学校					
	対象(誰に)	市内中堅教員					
	方法(何を)	校外研修会を開催するとともに、受講者の代表者が先進地視察を行う					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	年1回実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年3回) 受講代表者による先進地視察(2名) 研修会で学んだことを自校で実践する 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年3回) 受講代表者による先進地視察(4名) 研修会で学んだことを生かし、テーマを決めて自校で実践する 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年3回) 受講代表者による先進地視察(2名) 最新の教育テーマをふまえた実践を自校で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年2回) 受講代表者による先進地視察(2名) 最新の教育テーマをふまえた実践を自校で行う。 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年2回) 受講代表者による先進地視察(2名) 最新の教育テーマをふまえた実践を自校で実施 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年3回) 受講代表者(2名)による先進地視察及び報告(宇治市、久御山町、世田谷区、三鷹市) 研修会で学んだことを自校で実践し、第3回研修会で発表 「役立ち度」4点、満足度3.94点(4点満点) 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年3回) 受講代表者3名による県外研修及び報告(つくば市) 自己テーマに沿って自校で実践し、第3回研修会で発表 役立ち度3.93点、満足度3.89点(4点満点) 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年3回) 受講代表者2名による先進地視察(小金井市、つくば市、久留米市) 研修会で学んだことを生かした実践、最新の教育テーマをふまえた実践を自校で行う。 役立ち度4.0点、満足度3.98点(4点満点) 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年2回) 受講代表者2名による先進地視察(鎌倉市、大阪市) 研修会で学んだことや最新の教育テーマをふまえた実践を自校で実施 役立ち度:3.93点、満足度:3.87点(4点満点) 	<ul style="list-style-type: none"> 校外研修会開催(年2回) 受講代表者2名による先進地視察(東京都、静岡県沼津市)を行い、第2回研修会で発表。 最新の教育テーマをふまえた実践を自校で実施し、第2回研修会で発表。 役立ち度:3.90点、満足度:3.90点(4点満点) 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	129千円	139千円	80千円	80千円	
	決算額	67千円	124千円	115千円	80千円	70千円	
	事務量(正規)	38人日	38人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(2)2	校務システムを活用した教員研修の実施					
種別	新規	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(2)	研修の充実				
② 取組の概要	目的(何のために)	学校の通常業務を行いながら、負担なく必要かつ適切な研修を受けることができるようにするため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	教育センター					
	対象(誰に)	市内小中学校教員					
	方法(何を)	教育センターでの研修に加え、校務システムを活用した研修を実施する					
③ 設定目標	現状	教育センターでの各種研修の実施					
	目標	教育センターでの研修に加え、校務システムを活用した研修の実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 教材データベース上に研修を動画配信し、5つを動画研修する。 	<ul style="list-style-type: none"> 10の研修を動画研修に切り替え 動画閲覧数の伸びで効果を把握 アンケートを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの研修を動画配信に変更 授業動画配信の仕組みの構築 eラーニング研修の実施(2講座) 	<ul style="list-style-type: none"> 4つの研修を動画配信に変更 各校1授業実践の動画配信化 eラーニング研修の実施(4講座) 	<ul style="list-style-type: none"> 6つの研修を動画配信に変更 動画研修の恒常化 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 6研修を動画配信することができ、延べ200名の研修を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 11の研修を教材データベースの動画として配信 年度更新研修を動画研修として実施 教材データベースPOTETOの閲覧アクセス数 50,000アクセス 	<ul style="list-style-type: none"> 2つの研修(年度更新、初任研)を動画配信で実施 研修を撮影し動画配信 eラーニング研修の実施(5講座) 教材データベースPOTETOの閲覧アクセス数 70,000件 	<ul style="list-style-type: none"> 研修の内容を振り返られるよう動画配信を実施 eラーニング研修の実施(8講座) 教材データベースPOTETOの閲覧アクセス数100,000件(授業系・校務系の合算)(4~12月) 	<ul style="list-style-type: none"> eラーニング研修は年度当初の計画通り8つを実施 市教研に関するものを新たに1つ加え動画配信 教材データベースPOTETOの閲覧アクセス数は、校務系70,872件、授業系103,241件(3月末まで) 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	9,760千円	19,411千円	2,877千円	200千円	200千円	
	決算額	9,700千円	10,017千円	0千円	200千円	188千円	
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(2)3 校内現職教育を中心とした教員研修(教科領域等指導員、指導主事、授業アドバイザーの派遣)						
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(2)	研修の充実				
② 取組の概要	目的(何のために)	教員の指導力向上を図るため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内小中学校					
	対象(誰に)	市内小中学校教員					
	方法(何を)	校内現職教育を充実する(教科領域等指導員の派遣、指導主事の派遣、授業アドバイザーの派遣)					
③ 設定目標	現状	各学校の計画により実施					
	目標	各学校の計画により実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・教科領域等指導員の派遣 ・指導主事の派遣 ・授業アドバイザーの派遣	・教科領域等指導員の派遣 ・指導主事の派遣 ・授業アドバイザーの派遣 ・OJTのねらいと方法について基本計画の作成	・教科領域等指導員の派遣 ・指導主事の派遣 ・授業アドバイザーの派遣	・教科領域等指導員の派遣 ・指導主事の派遣 ・授業アドバイザーの派遣	・教科領域等指導員の派遣 ・指導主事の派遣 ・授業アドバイザーの派遣	
	実績(成果)	・教科領域等指導員の派遣(74人) ・指導主事が要請により授業の参観・指導 ・6人の授業アドバイザーによる若手教員・講師の訪問指導(65校、184人)	・教科領域等指導員の派遣(73人延べ245回) ・指導主事の派遣(19人) ・授業アドバイザーの派遣(7人) ・OJTのねらいと方法を人材育成プランに位置付け	・教科領域等指導員の派遣(72人延べ250回) ・指導主事の派遣(19人) ・授業アドバイザーの派遣(7人) ・OJTのねらいと方法を人材育成プランに位置付け	・教科領域等指導員の派遣(72人延べ251回) ・指導主事の派遣(19人) ・授業アドバイザーの派遣(7人) ・OJTのねらいと方法を研修会等でPR	・教科領域等指導員の派遣(66人延べ235回) ・指導主事の派遣(19人) ・授業アドバイザーの派遣(7人) ・OJTのねらいと方法を研修会等でPR	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	10,950千円	12,979千円	13,013千円	13,013千円	14,607千円	
	決算額	11,196千円	12,979千円	13,013千円	13,169千円	14,343千円	
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	星野	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(3)1	校長対象の研修会の充実					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	3 学校経営力の向上				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(3)	校長のマネジメント力の向上				
② 取組の概要	目的 (何のために)	組織的に学校を運営し、特色ある教育活動を推進できる学校経営力を高めるため。					
	時期 (いつ)	6・7・8・11月					
	場所 (どこで)	教育センター、コンサートホール、市民文化会館等					
	対象 (誰に)	市内小中学校長					
	方法 (何を)	校長対象の研修会の充実					
③ 設定目標	現状	新任校長研修会年2回、校長研修会年1回実施					
	目標	新任校長研修会年2回、校長研修会年1回実施、研修プログラム作成					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・研修プログラムの作成	・新任校長研修会2回、校長研修会1回 ・校長イブニングセミナー2回 ・研修プログラムとの研修内容の関連付け	・新任校長研修会2回、校長研修会1回、管理職(校長・教頭)セミナー2回 ・研修プログラムに沿った研修の実施	・新任校長研修会2回、校長研修会1回、管理職セミナー3回実施 ・研修プログラムの見直しと改訂	・新任校長研修会2回、校長研修会1回、管理職セミナー2回実施 ・研修プログラムに沿った研修の実施	
	実績(成果)	・新任校長研修会2回、校長研修会1回 ・研修プログラムの作成(人材育成プラン) ・校長イブニングセミナー1回実施 ・研修満足度(4点満点) 新任校長研修3.88 校長研修3.78	・新任校長研修会2回、校長研修会1回、校長イブニングセミナー2回 ・研修満足度(4点満点) 新任校長研修3.97 校長研修3.69 校長イブニングセミナー3.89	・新任校長研修会2回、校長研修会1回、管理職セミナー3回 ・研修満足度(4点満点) 新任校長研修 3.7 校長研修 3.9 管理職セミナー 3.8	・新任校長研修と新任教頭研修の一部を分断し、研修効果を向上 ・新任校長研修会2回、校長研修会1回、管理職セミナー3回 ・研修満足度(4点満点) 新任校長研修3.83 校長研修3.85 管理職セミナー3.90	・新任校長と新任教頭に職務に応じたマネジメント研修を実施 ・新任校長研修会2回、校長研修会1回、管理職セミナー3回 ・研修満足度(4点満点) 新任校長研修3.94 校長研修3.92 管理職セミナー3.84	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	40千円	40千円	160千円	340千円	340千円	
	決算額	40千円	25千円	156千円	191千円	51千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	35人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	2人日	2人日	2人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	石川	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(3)2	校長裁量による特色ある学校づくり事業の見直し・改善					
種別	改善	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	3 学校経営力の向上				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(3)	校長のマネジメント力の向上				
② 取組の概要	目的 (何のために)	校長裁量による特色ある学校づくりを打ち出し、効果的な教育活動につなげるため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校長					
	方法 (何を)	事業内容・予算について校長の裁量権の拡大を図る (チャレンジ&ドリーム推進事業、都市と山間の教育交流事業、学校はつらつ支援事業を統合した形での全校展開)					
③ 設定目標	現状	事業実施中					
	目標	事業の見直し・改善完了					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・チャレドリと都市と山間交流事業の統合 ・はつらつ支援事業との統合についてモデル実施計画づくり	・チャレドリとはつらつ支援事業の統合モデル実施(5校) ・少人数学級の校長裁量権による弾力的な運用について検討	・チャレドリとはつらつ支援事業の統合モデル実施(15校)	・旧チャレドリと旧はつらつ支援事業の統合全校実施	・特色ある学校づくり推進事業のより円滑な実施 ・今後の事業のあり方を検討	
	実績(成果)	・チャレドリと都市と山間教育交流事業の統合完了 ・はつらつ支援事業との統合モデル校決定	・チャレドリとはつらつ支援事業の統合モデル校(5校)の成果検証・報告書の作成 ・はつらつ支援事業との統合モデル校拡大校選定(15校) ・少人数学級の校長裁量権による弾力的な運用について実施方法を検討	・全校に、チャレドリとはつらつ支援事業の統合モデル校(5校)の成果を報告 ・統合モデルの効果検証実施(15校) ・全校への周知と計画書・予算書の作成	・市内全校において、学校裁量で各種補助員を選択・配置 ・予算執行に関する学校への指導 ・平成29年度の計画書・予算書作成のための説明会の実施	・市内全校において、学校裁量で各種補助員を選択・配置 ・適切な予算執行のための説明会開催と学校への指導助言 ・ICTの整備や教員への研修に対応できるように、ICT支援員の配置時間を変更	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	5人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	野間	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-6(4)1	学校問題解決支援窓口(SAT)の対応の機能強化						
種別	拡充	担当課	学校教育課			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	該当	3 学校経営力の向上					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成					
	取組	(4)	困難な学校諸問題への対応					
② 取組の概要	目的 (何のために)	教員が子どもたちに向き合える時間を確保するため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	市内小中学校、特別支援学校						
	対象 (誰に)	市内小中学校教員						
	方法 (何を)	学校問題解決支援窓口(SAT)の対応機能を強化し、学校諸問題の解決に向けた適切な支援を行う						
③ 設定目標	現状	問題解消率90%						
	目標	問題解消率100%						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 課内マニュアル作成 学校用マニュアル作成 	<ul style="list-style-type: none"> 随時適切な対応 事例の蓄積 各校においてマニュアルの活用、研修での利用を検討 	<ul style="list-style-type: none"> 随時適切な対応 事例の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> 随時適切な対応 事例の蓄積 	<ul style="list-style-type: none"> 随時適切な対応 事例の蓄積 		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 学校用マニュアル配布と校長イブニングセミナーにて研修の実施 課内対応マニュアル作成 問題解消率83%(10件/相談12件:残り2件継続対応) 	<ul style="list-style-type: none"> 随時対応及び記録、事例の蓄積 問題解消率92%(12件/相談13件:残り2件継続対応) 初期対応の在り方についてマニュアルを活用 	<ul style="list-style-type: none"> 随時対応及び記録、事例の蓄積 問題解消率83%(10件/相談12件:残り2件継続対応) 教頭研修会開催(法務課と連携し、過去の事例をもとに実施) 	<ul style="list-style-type: none"> 随時対応及び記録、事例の蓄積 問題解消率89%(8件/相談9件) 	<ul style="list-style-type: none"> 随時対応及び記録、事例の蓄積 リスクマネジメント研修の実施(新任校長研修・教頭研修) 問題の解消率89%(8件/相談9件) 		
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円		
	事務量(正規)	6人日	8人日	8人日	8人日	7人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	藤田	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(4)2	パークとよたの相談活動の充実					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	該当	6 家庭教育力の向上				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-6	高い指導力のある教員の育成				
	取組	(4)	困難な学校諸問題への対応				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちの健全育成を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	青少年相談センター、市内小中学校、特別支援学校					
	対象 (誰に)	小学生から19歳までの青少年とその保護者					
	方法 (何を)	子どもを取り巻く諸問題について来所相談、訪問支援、電話相談等により相談・助言を行う					
③ 設定目標	現状	SSW3人					
	目標	SSW4人					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・スクールソーシャルワーカー(SSWr)に関するアンケート実施、分析	・啓発資料の作成 ・スクールソーシャルワーカー(SSWr)3名配置 ・効果検証	・啓発資料の作成 ・スクールソーシャルワーカー(SSWr)1名増員	・スクールソーシャルワーカー(SSWr)4名継続配置	・スクールソーシャルワーカー(SSWr)4名継続配置	
	実績(成果)	・教職員、関係機関等とのケース会議実施回数160回(前年度比10.7倍) ・SSWの訪問支援訪問回数552回(前年度比148%)	・はあとラインとよたの啓発資料を学校等に配布 ・学校支援件数(電話・来所・訪問の合計):H23年度189件、H24年度328件、H25年度360件、H26年度360件(3人体制での回数としては、上限に近い)	・はあとラインとよたの啓発資料を学校等に配布 ・学校支援件数(電話・来所・訪問の合計):H23年度189件、H24年度328件、H25年度360件、H26年度360件、H27年度503件	はあとラインとよたの啓発資料を学校等に配布 ・学校支援件数(電話・来所・訪問の合計):H23年度189件、H24年度328件、H25年度360件、H26年度360件、H27年度503件、H28年度528件	・学校支援件数(電話・来所・訪問の合計):H23年度189件、H24年度328件、H25年度360件、H26年度360件、H27年度503件、H28年度528件、H29年度601件(1月末現在) ・学校への訪問を積極的にを行い、学校との連携を強くした。	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	13,690千円	13,690千円	17,030千円	17,030千円	16,494千円	
	決算額	11,161千円	12,897千円	16,383千円	15,770千円	16,234千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	732人日	732人日	732人日	732人日	976人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(1)1	地域教育懇談会の再考・再編					
種別	改善	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	3 学校経営力の向上				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(1)	地域の学校運営への参画				
② 取組の概要	目的 (何のために)	保護者や地域住民の学校運営への参画を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内中学校区					
	対象 (誰に)	地域住民					
	方法 (何を)	地域教育懇談会の内容の充実と地域連携の強化を図る					
③ 設定目標	現状	中学校区ごとに開催					
	目標	情報連携から行動連携へと発展させていく方策の実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・成果と課題の抽出	・(仮)第2梅坪台中学校区でモデル実施する豊田市版コミュニティスクールについて検討	・豊田市版コミュニティスクール実施に伴う新組織立ち上げと、現行組織の見直し	・浄水地区(浄水中・浄水小・浄水北小)において豊田市版コミュニティスクールのモデル実施 ・現行組織の見直しの検討	・浄水地区において豊田市版コミュニティスクールのモデル実施 ・モデル校以外への豊田市版コミュニティスクールの拡大について検討 ・豊田市版コミュニティスクールの指定を受けた中学校区から、地域教育懇談会を廃止してコミュニティスクール連絡会議を設置	
	実績(成果)	・全中学校区において、地域教育懇談会の実施(約2回) ・「地域教育懇談会に関する調査」を実施(3月)	・全中学校区において、地域教育懇談会の実施(約2回) ・豊田市版コミュニティスクールの制度内容との調整を図り、庁内会議で移行スケジュール等を提案	・全中学校区において、地域教育懇談会の実施(約2回) ・豊田市版コミュニティスクールの制度内容との調整を図り、庁内会議でスケジュール等を提案	・浄水中学校区を除く全中学校区において、地域教育懇談会の実施(約2回) ・豊田市版コミュニティスクールの指定に伴い、浄水中学校区でコミュニティスクール連絡会議を開催(4回)	・浄水地区、益富地区で、コミュニティスクール連絡会議をモデル実施 ・新たに保見地区をコミュニティスクールに指定し、コミュニティスクール連絡会議を設置 ・上記を除く中学校区において、地域教育懇談会の実施(約2回)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	270千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	208千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	5人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	朱山	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(2)1	学校自己評価の実施					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(2)	学校評価の充実・活用と学校教育の「見える化」				
② 取組の概要	目的(何のために)	学校自己評価を充実させ、学校教育の「見える化」と学校運営の向上を図る					
	時期(いつ)	10・2月 →1月(新学校評価ガイドライン実施に伴う変更)					
	場所(どこで)	市内小中学校					
	対象(誰に)	市内小中学校教員、保護者					
	方法(何を)	年2回の学校自己評価 →年1回(新学校評価ガイドライン実施に伴う変更) 年1回の保護者アンケートを実施、年5回の学校評価推進委員会の実施					
③ 設定目標	現状	年2回実施					
	目標	年2回実施					
	目標(変更)	年1回実施					平成28年度
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施 保護者アンケート実施 市内全校の評価結果を集約し、市全体の傾向をとらえ、全校に通知 	<ul style="list-style-type: none"> 人材育成プランとの関係整理、評価項目の精選 市内全校の評価結果を集約し、全校に通知 通信・HP等による情報発信の充実 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施 保護者アンケート実施 市内全校の評価結果を集約し、全校に通知 推進委員会を設置し、評価項目の見直し、検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施 保護者アンケート実施 市内全校の評価結果を集約し、全校に通知 評価項目の見直し、検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施 保護者アンケート実施 市内全校の評価結果を集約し、全校に通知 評価項目の見直し 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施(10、2月) 保護者アンケート実施(11月) 市内全校の評価結果を集約、全校への通知(11月、3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施(10、2月) 保護者アンケート実施(11月) 市内全校の評価結果を集約、全校への通知(11、3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校自己評価実施(10・2月) 保護者アンケート実施(11月) 市内全校の評価結果を集約、全校への通知(11・3月) 学校評価推進委員会の実施(計5回) 	<ul style="list-style-type: none"> 新ガイドラインに基づいた学校自己評価実施(1月) 新ガイドラインに基づいた保護者アンケート実施(11月) 市内全校の評価結果を集約、全校への通知(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者アンケート実施(11月) 学校自己評価実施(1月) 市内全校の評価結果を集約、全校への通知(2月) 評価項目の見直し(3月) 	
	進捗状況	A 予定通り		A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	92千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	50千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	15人日	15人日	24人日	15人日	15人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	朱山	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(2)2	学校アドバイザー会議の実施					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(2)	学校評価の充実・活用と学校教育の「見せる化」				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の教育力を生かし、地域に開かれた特色ある教育を推進する学校経営実践のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学校					
	方法 (何を)	校長推薦による学校アドバイザー(各校2~6名)が学校や校長を支援する					
③ 設定目標	現状	学校の実情に合わせ年2~3回実施					
	目標	学校の実情に合わせ年2~3回実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールの計画との調整検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールのモデル校での計画との調整検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールのモデル校での実施と他校への展開について検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールのモデル校での実施と他校への展開を実施 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催(年2~3回) 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催(年2~3回) 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールの計画との調整検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催(年2~3回) 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールのモデル校での計画と調整検討 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催(年2~3回) 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールのモデル校での実施(教育協議会にて) 	<ul style="list-style-type: none"> 学校アドバイザー会議の開催(年2~3回) 学校自己評価をもとにした学校経営改善への助言 豊田市版コミュニティ・スクールの教育協議会での実施 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	553千円	62千円	25千円	25千円	25千円	
	決算額	553千円	24千円	24千円	17千円	17千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(2)3	ホームページや学校通信・学年通信による情報発信					
種別	継続	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(2)	学校評価の充実・活用と学校教育の「見せる化」				
② 取組の概要	目的 (何のために)	学校教育の状況を家庭・地域に広く周知していく「見せる化」を推進するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	保護者・地域住民					
	方法 (何を)	ホームページや学校通信・学年通信を使った情報発信を充実する					
③ 設定目標	現状	全校で実施					
	目標	全校で実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・全小中学校で実施	・スマートフォンでも閲覧できるようシステム修正し、家庭・地域へ広く周知	・ホームページ運用計画をもとに、計画的かつバランスよく発信できるようにする。	・学校からの情報発信は、紙面のほか、ホームページでも合わせて実施する。	・ホームページや学校通信・学年通信による学校からの情報発信の実施	
	実績 (成果)	・全校のホームページ更新回数:39,532件(昨年度比約2倍) ・ホームページ閲覧回数:360万回(昨年度比1.5倍)	・スマートフォンでも閲覧できるようシステム修正 ・アクセス統計管理など学校管理体制の強化 ・全校のホームページ更新回数:32,067件 ・ホームページ閲覧回数371万回	・アクセス統計管理など学校管理体制の強化 ・全校のホームページ更新回数:29,677件 ・ホームページ閲覧回数:450万回	・ICTホームページ研修(全校1名参加)の実施(8月) ・全校のホームページ更新回数:38,000件 ・ホームページ閲覧回数:520万回	・ICT研修(ホームページ)の実施(8月) ・全校のホームページ更新回数48,261件 ・ホームページ閲覧回数:708万回	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,244千円	3,244千円	3,337千円	3,402千円	3,402千円	
	決算額	3,244千円	3,337千円	3,337千円	3,402千円	3,402千円	
	事務量(正規)	1人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(3)1	学校支援地域本部の設置					
種別	新規	担当課	学校づくり推進課・学校教育課			国県補助	国
① 施策体系	重点テーマ	該当	1 地域力を生かした学校支援の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(3)	地域力を生かした学校支援の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	学校を拠点とした「子どもの教育の充実」、「地域力の充実」、「地域の活性化」を図るため					
	時期 (いつ)	平成26年度から					
	場所 (どこで)	浄水地区(モデル)					
	対象 (誰に)	地域住民					
	方法 (何を)	学校支援地域本部を設置し、支援体制を組織化する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	小学校3校、中学校1校に設置					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・浄水北小学校での設置に向け、規約などの準備	・浄水北小学校に設置 ・浄水小学校、市内中学校1校に設置準備 ・効果検証 ・全校展開に向けた情報発信	・浄水小学校、市内中学校1校に設置 ・(仮)第2梅坪台中学校、寺部小学校に設置準備 ・効果検証 ・全校展開に向けた情報発信	・(仮)第2梅坪台中学校及び寺部小学校に設置 ・他校へ整備準備 ・効果検証 ・全校展開に向けた情報発信	・設置の準備が整った学校30校程度へ新規設置 ・効果検証 ・全校展開に向けた情報発信	
	実績(成果)	・浄水北小学校での設置準備完了	・浄水北小学校に設置(5月) ・設置推進に向けた校長会への情報発信(9月) ・市内小中学校9校に設置準備 ・浄水北小学校の保護者・ボランティアへのアンケート・ヒアリング実施(1月)	・矢並小ほか9校に本部新設置 ・本部未設置校へ巡回説明及びヒアリング実施 ・本部関係者にヒアリング実施(1月) ・浄水中学校、寺部小学校に本部設置準備	・市内小学校20校に設置完了 ・市内中学校5校に設置完了 ・効果検証 ・全校展開に向けた情報発信	・市内小学校23校に新規設置完了 ・市内中学校5校に新規設置完了 ・効果検証 ・全校展開に向けた情報発信	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	200千円	5,860千円	17,404千円	26,559千円	43,357千円	
	決算額	77千円	8,731千円	10,895千円	18,089千円	24,629千円	
	事務量(正規)	90人日	90人日	270人日	100人日	100人日	
	事務量(臨時)	0人日	30人日	180人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考	学校支援から地域と共働の活動へと発展させ、大人と関わる機会や多様な社会経験を積む機会を増やすことを目指し、平成29年度から名称を「学校支援地域本部」から「地域学校共働本部」に変更					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(3)2	土曜・放課後学習の実施					
種別	新規	担当課	学校づくり推進課・学校教育課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	1 地域力を生かした学校支援の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(3)	地域力を生かした学校支援の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちに授業以外で様々な学習機会を提供するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	浄水地区(モデル実施)					
	対象 (誰に)	市内小中学生					
	方法 (何を)	地域のボランティアの協力を得て、土曜・放課後学習の機会を充実する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	5か所でモデル実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・モデル地区の検討	・浄水北小学校でモデル実施 ・効果検証	・他校への展開準備 ・効果検証	・浄水北小学校で継続実施(体力づくり・自主学習・各種講座) ・他校へ展開(浄水小・浄水中) ・効果検証	・浄水北小学校、浄水小学校、浄水中学校で継続実施(体力づくり・自主学習・各種講座) ・他校へ展開(寺部小・平井小・市木小・土橋小・美山小他) ・効果検証	
	実績(成果)	・浄水北小学校で実施準備完了	・浄水北小学校でモデル実施(体力づくり・自主学習・各種講座) ・アンケート等による効果検証の実施 →(児童)楽しく活動できた 86% →(保護者)子どもが楽しく参加できた 89%	・浄水北小学校で継続実施(体力づくり・自主学習・各種講座) ・浄水小学校で実施(各種講座) →(参加児童)大変よかった・よかった 99%	・浄水北小学校で継続実施(体力づくり・自主学習・各種講座) ・浄水小学校、寺部小学校、浄水中学校で実施(各種講座) →(参加児童)大変よかった・よかった 90%	・浄水北小学校、浄水小学校、浄水中学校で継続実施(体力づくり・自主学習・各種講座) ・他校へ展開(寺部小・平井小・市木小・土橋小・美山小他) ・効果検証	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	清水	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(3)3	市民力を生かした文化系部活動の充実					
種別	新規	担当課	学校教育課・学校づくり推進課・生涯学習課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	1 地域力を生かした学校支援の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(3)	地域力を生かした学校支援の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の力を生かした教育を推進するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	市内小中学生					
	方法 (何を)	交流館や地域人材、学校支援地域本部と連携して文化系部活動を充実する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	5か所でモデル実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の文化系部活動の実態調査 豊田市生涯学習審議会との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> 浄水北小学校の「学校地域支援本部」の設置による文化系部活動と交流館との連携モデル実施 ものづくり講座(生涯学習課)と中学校との連携による取組(2校) 	<ul style="list-style-type: none"> (仮)第2梅坪台中学校の「学校地域支援本部」の設置に向けた準備 交流館等と連携した文化系部活動のモデル実施 	<ul style="list-style-type: none"> 浄水中学校の「学校地域支援本部」をモデル校として追加 平成27年度の取組を中学校や交流館に情報提供 	<ul style="list-style-type: none"> 交流館等と連携した文化系部活動の継続 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 市内小中学校の文化系部活動の実態調査 豊田市生涯学習審議会との情報交換 	<ul style="list-style-type: none"> 浄水北小学校の文化系部活動と交流館との連携について検討 ものづくり講座と中学校との連携による取組(4校) 	<ul style="list-style-type: none"> 第2梅坪台中学校の「学校地域支援本部」の設置に向けた準備 中学校の文化部と地域との連携を受け、交流館と中学校文化部の連携事業を実施(8校) 	<ul style="list-style-type: none"> 交流館等と中学校文化部の連携事業を実施(6校) 	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり講座と中学校との連携による取組(2校) 交流館等と中学校文化部の連携事業を実施(5校) 	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	1人日	1人日	1人日	1人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	井上	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-7(3)4	住民ワークショップの開催					
種別	継続	担当課	学校づくり推進課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-7	地域と共に歩む学校づくりの推進				
	取組	(3)	地域力を生かした学校支援の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域住民の意見を学校づくりに反映させるため					
	時期 (いつ)	平成27年度まで					
	場所 (どこで)	浄水北小学校、浄水中学校、寺部小学校					
	対象 (誰に)	地域住民					
	方法 (何を)	公募等によるワークショップを開催し、開校後も学校に愛着を持ち、学校を支援してくれる人材を育成する。					
③ 設定目標	現状	学校建築設計時に実施					
	目標	学校建築設計時に実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・浄水北小学校、(仮)第2梅坪台中学校、寺部小学校で実施	・(仮)第2梅坪台中学校及び寺部小学校で実施	・(仮)第2梅坪台中学校及び寺部小学校で実施	事業完了	-	
	実績 (成果)	・浄水北小学校で3回、(仮)第2梅坪台中学校で15回、寺部小学校で6回実施	・(仮)第2梅坪台中学校で開設準備委員会を3回開催、寺部小学校で建設委員会1回、ワークショップ1回実施	・浄水中学校で開設準備委員会を3回、建設現場見学を2回開催、出前授業1回 ・寺部小学校で建設現場見学会2回開催、ワークショップ4回実施	事業完了	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	200千円	6,000千円	6,000千円	0千円	0千円	
	決算額	77千円	0千円	4,675千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	50人日	50人日	120人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	加藤と	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(1)1	子どもたちの学習環境改善委員会の設置					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(1)	学習環境から見た学校規模適正化の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちにより良い学習環境を実現するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小学校のうち適正規模に満たない学校					
	対象 (誰に)	児童、地域住民					
	方法 (何を)	学習環境検討会を設置し、解決策を協議する					
③ 設定目標	現状	学習環境改善委員会の設置に向けて協議					
	目標	適正規模外の学校がある全学区に学習環境改善委員会を設置					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・足助地区での検討会の設置に向けた協議 ・石野・松平地区の現状把握	・適正規模以外の学校のある学区に学習環境検討会の設置	・(仮)おいでんさんそんビジョンに組み入れる新運用による地域の情報収集と対応	・地域の情報収集と対応	・地域の情報収集と対応	
	実績 (成果)	・足助地区校長会説明及び意見交換、足助地区区長会(4役会)との意見交換、石野地区・松平地区の情報収集	・足助地区:区長会へ住民説明会(H24年度実施)の意見を報告(4月) ・石野・松平地区の情報収集	・「地域ぐるみの定住対策への取り組みを前提とした小学校の存続」をおいでんさんそんビジョンに組み入れた(3月)	・地域の情報収集 ・関係部署の情報収集	・地域の情報収集 ・関係部署の情報収集	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	地域住民の合意形成に時間を要しているため	H27年度策定の(仮)おいでんさんそんビジョンへ位置付けする方向で整理するため				
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	事務量(正規)	30人日	30人日	1人日	1人日	1人日	1人日
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	和出	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(1)2	大規模校解消のための新設校の建設					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(1)	学習環境から見た学校規模適正化の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	過大規模校を解消し、子どもたちの学習の場を確保するため					
	時期 (いつ)	平成25年度から平成27年度まで					
	場所 (どこで)	浄水北小学校、浄水中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	人口動向等を見極めながら学校建設事業を実施する					
③ 設定目標	現状	(仮称)第2浄水小学校の建設実施設計完了					
	目標	(仮称)第2浄水小学校開校(平成26年度)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・浄水北小学校建設工事	・(仮)第2梅坪台中学校の建設着手	・(仮)第2梅坪台中学校の建設完了	・開校 ・事業完了	—	
	実績 (成果)	・浄水北小学校建設工事完了	・(仮)第2梅坪台中学校の建設着手	・浄水中学校の建設完了	・開校 ・事業完了	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	2,105,820千円	1,238,417千円	2,608,013千円	0千円	0千円	
	決算額	3,203,036千円	489,998千円	2,547,666千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	50人日	50人日	50人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	渡邊	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(1)3	県立三好養護学校の過大解消に向けた方針の検討と取組の推進					
種別	継続	担当課	教育政策課・学校づくり推進課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(1)	学習環境から見た学校規模適正化の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	知的障がい等により、特別な支援が必要な市内の児童生徒の教育環境を改善する。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	県内、市内					
	対象 (誰に)	県					
	方法 (何を)	県への働きかけや市として可能な対策の検討を行う。					
③ 設定目標	現状	検討中					
	目標	方針決定とその方針に基づく取組の実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 年3回以上県と協議 県・市懇談会への議題提出 県特別教育推進計画に対する意見提出 	<ul style="list-style-type: none"> 県への働きかけ年3回以上 市としての対応策の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 県への働きかけ年3回以上 市としての方針について継続協議 	<ul style="list-style-type: none"> 市としての方針について継続協議 	<ul style="list-style-type: none"> 方針決定とその方針に基づく取組の実施 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 県・市懇談会への議題提出(7月) 県知事への要望提出(8月) 県教委への質問書提出(1月) 県との協議(8回) 	<ul style="list-style-type: none"> 県教委との意見交換(4月・7月・12月・2月) 三好特別支援学校との意見交換(5月・10月) 豊橋市教委の市立特支学校の状況把握(7月)市内特別支援学級児童生徒の状況把握(8月)次年度の方針決定(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援学校視察(7月:名古屋市・瀬戸市) 本市特別支援教育のあり方について教育長を中心に教育行政・学校教育両部で協議(6~11月:6回うち県との協議2回) 	<ul style="list-style-type: none"> 県知事への要望提出(6月) 県との協議(4回) 市内候補地の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 県との協議(4回) 特別支援学校の校区及びブロックサポート体制連携の検討 	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	福岡	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(2)1	環境に配慮した校舎整備の展開					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	該当	5 環境・防災の教育と機能強化の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(2)	快適で豊かな学校施設整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	児童生徒の快適な学習環境を確保するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内全小中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	新設校や保全改修実施校において環境に配慮した校舎整備を展開する					
③ 設定目標	現状	モデル校の効果検証					
	目標	保全改修実施校(50校)及び新設校(3校)で実施					
	目標(変更)	保全改修実施校(40校)及び新設校(3校)で実施					平成28年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・保全改修実施校7校及び新設校1校で整備実施	・保全改修実施校11校で整備実施	・保全改修実施校7校及び新設校2校で整備実施	・保全改修実施校7校で整備実施	・保全改修実施校10校で整備実施	
	実績(成果)	・保全改修実施校7校及び新設校1校で整備完了	・保全改修実施校11校で整備完了	・保全改修実施校6校及び新設校2校で整備完了	・保全改修実施校6校で整備実施	・保全改修実施校10校で整備実施	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	1,230,186千円	2,586,710千円	1,330,239千円	2,850,188千円	51,117千円	
	決算額	1,230,191千円	1,778,732千円	864,348千円	720,601千円	1,531,455千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	50人日	50人日	50人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○(現状どおり)					
	備考	国の補正予算で補助金が採択されたため、平成29年度事業を前倒しして平成28年度補正予算(繰越し)で実施。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	和出	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(2)2	学校と公共施設の複合化					
種別	新規	担当課	学校づくり推進課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(2)	快適で豊かな学校施設整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域と学校の連携をより強化するため					
	時期 (いつ)	平成27年度までに					
	場所 (どこで)	浄水中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒、地域住民					
	方法 (何を)	新設する中学校と交流館の効果的な複合施設化を図る					
③ 設定目標	現状	新設中学校と交流館の建設設計					
	目標	新設中学校と交流館の建築					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・(仮)第2梅坪台中学校と交流館の複合化設計の実施	・(仮)第2梅坪台中学校・交流館の建設着手	・(仮)第2梅坪台中学校・交流館の複合化整備完了	・事業完了	-	
	実績(成果)	・(仮)第2梅坪台中学校と交流館の複合化設計完了	・(仮)第2梅坪台中学校・交流館の複合化建設着手	・浄水中学校・交流館の複合化整備完了	・事業完了	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	98,000千円	1,238,417千円	2,608,013千円	0千円	0千円	
	決算額	95,700千円	489,998千円	2,547,666千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	50人日	50人日	50人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	和出	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(2)3	教室への扇風機設置					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(2)	快適で豊かな学校施設整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	児童生徒の快適な学習環境を確保するため					
	時期 (いつ)	平成26年度まで(以降随時)					
	場所 (どこで)	市内全小中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	夏の暑さ対策として教室に扇風機を設置する					
③ 設定目標	現状	全小中学校の普通教室に扇風機設置(約5,600台)					
	目標	全小中学校の特別教室に扇風機設置(約4,500台)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・全小中学校の利用頻度の高い特別教室に扇風機設置	・既存の壁付扇風機等を移設(657台) ・普通教室が増加した学校へ新規設置(84台)	事業完了	-	-	
	実績(成果)	・全小中学校の利用頻度の高い特別教室に扇風機設置完了(2,758台)	・既存の壁付扇風機等を学校の状況に合わせて移設完了(574台) ・普通教室が増加した学校へ新規設置完了(84台)	事業完了	事業完了	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	82,057千円	15,246千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	82,057千円	10,049千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	0人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	清水	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(2)4	通学路整備の推進					
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(2)	快適で豊かな学校施設整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	児童生徒の安全な登下校のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小学校通学路					
	対象 (誰に)	—					
	方法 (何を)	通学路整備要望の受付、通学路整備推進会議の開催、みどり線の設置により通学路整備を進める					
③ 設定目標	現状	安全のみどり線を全要望箇所に設置					
	目標	安全のみどり線を全要望箇所に設置、補修工事の実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・安全のみどり線の設置と補修工事の実施	・推進校1校、重点校2校の実施	・通学路整備推進会議の実施と要望箇所の整備	・通学路整備推進会議の実施と要望箇所の整備	・通学路整備推進会議の実施と要望箇所の整備	
	実績(成果)	・みどり線の設置(合計:16,075m)	・大沼小(推進校)、前山小、岩倉小(重点校)にて合同点検、整備を実施 ・推進校:1,927.5m、重点校4,146m ・みどり線の設置(合計:15,548m)	・寺部小にて合同点検、整備を実施 ・みどり線の設置(合計:8,886m)	・若園小・井上小・中山小・飯野小にて合同点検、整備を実施 ・みどり線の設置(合計:6,170m)	・猿投中・伊保小にて合同点検を実施 ・みどり線の設置(合計:8,999m)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	46,097千円	59,766千円	34,937千円	31,249千円	27,353千円	
	決算額	27,553千円	29,856千円	20,572千円	16,040千円	25,953千円	
	事務量(正規)	36人日	40人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	大原	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(2)5	理科備品の充実					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国庫補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(2)	快適で豊かな学校施設整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	新学習指導要領の本格実施に伴い、理科の実験や観察などに必要な重点備品の充実を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	国庫補助を活用した理科、算数・数学備品の更新・補充を行う					
③ 設定目標	現状	重点備品の充足率小学校55%、中学校77%					
	目標	重点備品の充足率小学校78%、中学校88%					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・電子てんびんはじめ12品目の重点備品を中心に整備	・直流電流計はじめ17品目の重点備品を中心に整備 ・小学校67.3%、中学校84.2%	・重点備品を中心に整備 ・小学校70.9%、中学校88.0%	・重点備品を中心に整備 ・小学校74.5%、中学校93.0%	・重点備品を中心に整備 ・小学校87.0%、中学校100%	
	実績 (成果)	・小学校29品目 63.7% ・中学校33品目 82.9%	・小学校28品目 68.4% ・中学校32品目 87.0%	・小学校28品目 74.3% ・中学校37品目 91.9%	・小学校29品目 80.7% ・中学校49品目 98.3%	小学校30品目86.4% 中学校43品目 102.7%	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	53,800千円	32,405千円	43,210千円	50,672千円	50,672千円	
	決算額	53,887千円	32,463千円	43,236千円	50,865千円	50,674千円	
	事務量(正規)	60人日	60人日	60人日	56人日	56人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	4人日	4人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	平成29年度の進捗状況は、当該年度のみ判断ではなく、第2次豊田市教育行政計画の最終年のため、設定目標の数値を基準に判定。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-8(3)1	職員用情報通信端末・ネットワークの整備(校務系)						
種別	拡充	担当課	学校教育課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実					
	取組	(3)	学校施設における情報環境の整備					
② 取組の概要	目的(何のために)	情報教育、教職員の校務の効率化のため						
	時期(いつ)	通年(4~3月)						
	場所(どこで)	市内小中学校						
	対象(誰に)	市内小中学校教員						
	方法(何を)	学校におけるネットワーク環境や情報通信端末の整備を推進する						
③ 設定目標	現状	校務システム第二次稼働の円滑な推進						
	目標	校務システム第三次稼働(名簿連携・備品管理など)に向けた計画の立案・実施						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・校務システムの第3次稼働に向けた計画の立案 ・パソコン教室の機器更新と整備	・校務システムの第3次稼働の計画 ・校務用パソコンの機器更新	・校務システムの第3次稼働のカスタマイズ	・校務システムの第3次稼働を行い、それに伴う研修の実施 ・校務用パソコン等の機器更新	・今後の校務システムの計画立案 ・校務用パソコン等の機器更新		
	実績(成果)	・校務パソコン31台の整備	・校務用パソコンの機器更新(1,795台) ・第3次稼働として、体力テストシステムと給食システムの統合	・校務システム用サーバの更新 ・保健システム統合へのシステム準備	・校務システムの運用に関する研修の開催(9回) ・保健システムの校務システムへの統合	・校務用パソコン等の機器更新(1,156台) ・教職員データベース機能の運用開始 ・小学校通知表様式変更の準備		
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	4,474千円	88,649千円	93,581千円	93,285千円	102,181千円		
	決算額	2,234千円	69,863千円	93,285千円	92,526千円	97,681千円		
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	大村	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-8(3)2	校内LAN系ネットワーク・コンピュータ教室整備(授業系)						
種別	継続	担当課	学校教育課			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実					
	取組	(3)	学校施設における情報環境の整備					
② 取組の概要	目的(何のために)	情報教育、教職員の校務の効率化のため						
	時期(いつ)	通年(4~3月)						
	場所(どこで)	市内小中学校						
	対象(誰に)	市内小中学生						
	方法(何を)	パソコン教室の機器更新・ネットワーク整備を行う						
③ 設定目標	現状	パソコン教室の機器更新・ネットワーク整備						
	目標	パソコン教室の機器更新・ネットワーク整備						
	目標(変更)							
	対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・パソコン教室の機器更新・ネットワーク整備	・浄水北小学校の校内LANネットワーク整備実施 ・授業用パソコンの更新	・(仮)第2梅坪台中学校及び寺部小学校へのパソコン整備 ・パソコン教室の機器更新に伴うタブレット型PCの導入(モデル校2校)	・パソコン教室の機器の維持管理 ・タブレット型PCの活用に伴う効果検証の実施	・次期パソコン教室の設計		
	実績(成果)	・パソコン教室の機器更新(3,115台)	・浄水北小学校の校内LANネットワーク整備実施 ・授業用パソコンの更新(295台)	・浄水中学校及び寺部小学校、飯野小学校、旭中学校のコンピュータ室の更新(3月予定) ・パソコン教室のタブレット型パソコンの導入(上記4校:131台)	・タブレットパソコン活用に関する研修の実施(4校3・4月) ・意識調査の実施(6・2月) ・1校1授業研究会の実施(10~1月) ・授業実践記録集の作成(3月)	・タブレット一体型パソコン導入のモデル校にて授業研究会(7月) ・意識調査の実施(7月) ・授業実践記録集を校務システム(POTETO)に公開準備(3月)		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	140,000千円	96,865千円	94,286千円	99,239千円	98,546千円		
	決算額	70,000千円	93,051千円	93,827千円	99,237千円	98,545千円		
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	福岡	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(4)1	施設保全改修工事の実施					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(4)	計画的な保全改修の実施				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちの学習環境の改善を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内全小中学校、特別支援学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	老朽化した施設・設備を計画的に改修する					
③ 設定目標	現状	19.5% (17校/対象87校)					
	目標	82.8% (72校/対象87校)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・小中7校で保全改修工事を実施 ・小中11校で保全改修設計を実施 (29/87校・33.3%)	・小中11校で保全改修を実施 ・小中養護11校で保全改修設計を実施 (40/87校・46.0%)	・小中7校で保全改修を実施 (47/87校・54.0%) ・小中5校で保全改修設計を実施	・小中6校で保全改修を実施 (52/87校・59.8%) ・小中7校で保全改修設計を実施	・小中10校で保全改修を実施 (62/87校・71.3%) ・小中7校で保全改修設計を実施	
	実績 (成果)	・小中10校で保全改修を完了 ・小中11校で保全改修設計完了	・小中11校で保全改修を完了 ・小中養護10校で保全改修設計完了	・小中6校で保全改修を完了 (46/87校・52.9%) ・小中5校で保全改修設計完了	・小中6校で保全改修を実施 (52/87校・59.8%) ・小中8校で保全改修設計を実施	・小中10校で保全改修を実施 (62/87校・71.3%) ・小中7校で保全改修設計を実施	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入			1校は、国庫補助金不採択のため、平成28年実施に先送り			
⑤ コスト	予算額	1,383,618千円	2,586,710千円	1,330,239千円	2,850,188千円	51,117千円	
	決算額	1,230,191千円	1,778,732千円	864,348千円	720,601千円	1,531,455千円	
	事務量(正規)	15人日	15人日	15人日	15人日	15人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	①国の補正予算で補助金が採択されたため、平成29年度事業を前倒して平成28年度補正予算(繰越し)で実施。 ②平成29年度の進捗状況は、当該年度のみ判断ではなく、第2次豊田市教育行政計画の最終年のため、設定目標の数値を基準に判定。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	福岡	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(4)2	トイレ再整備工事の実施					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(4)	計画的な保全改修の実施				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちの学習環境の改善を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内全小中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	老朽化したトイレを早期・計画的に改修する					
③ 設定目標	現状	12.6%(97か所/対象768か所)					
	目標	34.2%(263か所/対象768か所)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・小中17校・53か所のトイレ再整備を実施(167/767、21.8%) ・トイレ悪臭対策を14校で実施	・小中17校・61か所のトイレ再整備を実施(228/767、29.7%) ・トイレ悪臭対策を20校で実施	・小中15校・45か所のトイレ再整備を実施(273/767、35.6%) ・トイレ悪臭対策を実施	・小中16校・48か所のトイレ再整備を実施(321/767、41.9%) ・トイレ悪臭対策を実施	・小中22校・75か所のトイレ再整備を実施(379/767、49.4%) ・トイレ悪臭対策を8校で実施	
	実績(成果)	・小中17校・54か所のトイレ再整備を完了(172/767、22.4%) ・トイレ悪臭対策を14校で完了	・小中17校・62か所のトイレ再整備を完了(234/767、30.5%) ・トイレ悪臭対策を11校完了	・小中15校・54か所のトイレ再整備を完了(288/767、37.5%) ・トイレ悪臭対策を11校(小8、中3)完了	・小中11校・31か所のトイレ再整備を実施(319/767、41.6%) ・トイレ悪臭対策を4校(小3、中1)完了	・小中22校・77か所のトイレ再整備を実施(396/767、51.6%) ・トイレ悪臭対策を8校(小6、中2)完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	214,414千円	630,625千円	634,945千円	1,095,727千円	30,281千円	
	決算額	197,027千円	646,586千円	457,018千円	298,920千円	602,356千円	
	事務量(正規)	35人日	35人日	35人日	35人日	35人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価		○			○	
	備考	国の補正予算で補助金が採択されたため、平成29年度事業を前倒しして平成28年度補正予算(繰越し)で実施。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	鈴木	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(5)1	自立型太陽光発電システムの設置					
種別	新規	担当課	学校づくり推進課			国県補助	国
① 施策体系	重点テーマ	該当	5 環境・防災の教育と機能強化の推進				
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(5)	学校の防災・防犯機能の向上				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の防災拠点の役割を見据え、学校施設の防災力向上を図るため					
	時期 (いつ)	平成25年度から平成28年度まで					
	場所 (どこで)	浄水北小学校、(仮)第2梅坪台中学校、寺部小学校					
	対象 (誰に)	児童生徒、地域住民					
	方法 (何を)	自立型太陽光発電システムを整備する(新規設置の場合)					
③ 設定目標	現状	—(通常の太陽光発電設備は小学校7校、中学校6校に設置済み)					
	目標	小学校2校、中学校1校に新設					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・新設する浄水北小学校に整備着手	・新設する(仮)第2梅坪台中学校、寺部小学校に整備着手	・(仮)第2梅坪台中学校整備実施 ・寺部小学校整備実施 ・童子山小学校に整備実施	・巴ヶ丘小学校整備実施 ・山之手小学校整備実施 ・猿投中学校に整備着手	・猿投中学校整備実施	
	実績 (成果)	・浄水北小学校に整備完了(90kw) ・民間事業者により、小学校2校で自立型太陽光発電設置の協定を締結	・(仮)第2梅坪台中学校に整備着手(6月) ・寺部小学校に整備着手(10月)	・浄水中学校に整備完了(147kw) ・寺部小学校に整備完了(60kw) ・童子山小学校に整備完了(20kw) ・山之手小学校に整備着手(20kw)(10月)	・巴ヶ丘小学校整備実施(20kW) ・山之手小学校整備実施(30kW) ・猿投中学校に整備着手(20kW)(3月)	・猿投中学校整備実施(20kW)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	63,840千円	59,100千円	145,358千円	73,501千円	12,636千円	
	決算額	63,840千円	0千円	165,709千円	77,436千円	12,636千円	
	事務量(正規)	5人日	1人日	1人日	1人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	和出	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-8(5)2	非構造部材の耐震化						
種別	新規	担当課	学校づくり推進課			国県補助	国	
① 施策体系	重点テーマ	該当	5 環境・防災の教育と機能強化の推進					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現					
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実					
	取組	(5)	学校の防災・防犯機能の向上					
② 取組の概要	目的 (何のために)	学校施設の防災機能を強化し、子どもたちの安全を確保するため						
	時期 (いつ)	平成26年度までに						
	場所 (どこで)	市内全小中学校、特別支援学校						
	対象 (誰に)	児童生徒						
	方法 (何を)	天井・照明器具などの非構造部材を総点検し、必要な耐震対策を実施する						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	全校で耐震化実施						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 全校の対象ヶ所(137棟)の総点検実施 軽微な修繕実施 大規模な対策が必要な施設は改修設計を実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な対策が必要な5校・5棟の改修設計実施 大規模な対策実施(18校・23棟) バスケットゴール等(1,274か所)の対策実施 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な対策実施(3校・4棟) 飛散防止フィルムの貼り替え修繕対策実施(97校) 	事業完了	—		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 総点検完了(9月) 軽微な修繕完了(2,915か所) 大規模な対策が必要な13校・18棟の設計完了 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な対策が必要な5校・5棟の改修設計 大規模な対策完了(15校19棟) 吊り型バスケットゴール、舞台照明等(1,176か所)対策完了 飛散防止フィルムの劣化状況調査97校点検 	<ul style="list-style-type: none"> 大規模な対策完了(3校・4棟) 飛散防止フィルムの貼り替え修繕対策完了(97校) 	事業完了	事業完了		
	進捗状況	B 概ね予定通り	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入		工事の入札不調のため					
⑤ コスト	予算額	95,901千円	587,958千円	101,004千円	0千円	0千円		
	決算額	49,142千円	400,354千円	81,428千円	0千円	0千円		
	事務量(正規)	60人日	60人日	60人日	0人日	0人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	山田	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(5)3	インターホンの設置					
種別	拡充	担当課	学校づくり推進課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(5)	学校の防災・防犯機能の向上				
② 取組の概要	目的 (何のために)	学校施設の防犯機能を強化し、子どもたちの安全を確保するため					
	時期 (いつ)	平成27年度までに					
	場所 (どこで)	市内全中学校					
	対象 (誰に)	生徒					
	方法 (何を)	早期・計画的に改修する					
③ 設定目標	現状	中学校17校設置					
	目標	全中学校に設置					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・インターホンを10校に設置	・インターホンを2校に設置	・インターホンを4校に設置	・インターホン6校の設計を実施	・インターホンを6校に設置	
	実績 (成果)	・インターホンを2校に設置完了	未実施	・インターホンを4校に設置	未実施	・インターホンを7校に設置	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	予算査定による事業費減額のため	緊急対応する必要があった樹木伐採事業への予算流用が必要となったため	予算査定による事業費減額のため	予算査定による事業費減額のため		
⑤ コスト	予算額	8,994千円	6,000千円	20,012千円	2,724千円	15,800千円	
	決算額	5,780千円	0千円	13,284千円	0千円	17,345千円	
	事務量(正規)	5人日	1人日	5人日	1人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	平成29年度で、全校の設置完了					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB02	所属名	保健給食課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(6)1	北部給食センターの改築整備					
種別	新規	担当課	保健給食課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(6)	給食調理環境の整備と施設延命化の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	質の高い学校給食の提供と衛生管理の向上を図るため					
	時期 (いつ)	平成33年度までに					
	場所 (どこで)	新北部給食センター事業用地(亀首町)					
	対象 (誰に)	北部給食センター管轄の児童生徒					
	方法 (何を)	北部及び藤岡給食センターを統廃合し、運営の効率化を図る (給食センター再配置計画を策定後、新北部給食センターの事業手法を決定し、同センターを建設する)					
③ 設定目標	現状	統廃合計画及び事業手法の検討					
	目標	事業手法の決定(平成27年度)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・直営、学校給食協会及び東部給食センターのPFI事業手法による運営状況の検証	・再配置計画及び事業方式の定性定量比較調書作成	・再配置計画及び事業方式の決定 ・後期実践計画中間見直しへの反映	・決定した事業手法に基づく事業計画の推進	・事業契約の締結 ・基本設計	
	実績 (成果)	・事業手法別の定性・定量比較(案)の作成	・再配置方式の絞込み(5月～3月) ・事業方式の定性定量比較に関する情報収集(10月～3月)	・北部給食センターの改築計画及び事業方式の決定 ・後期実践計画中間見直しへの反映	・北部給食センター改築整備運営事業実施方針公表(2月)	・事業者選定委員会(4月～) ・入札公告(5月) ・事業者選定(10月) ・契約締結(議決12月) ・基本設計完了(3月)	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	H18年度に策定した再配置計画の見直し、アレルギー対応給食の全市拡大方法及び直営施設の将来計画とあわせて検討する必要がある。	H18年度に策定した再配置計画の見直し、アレルギー対応給食の全市拡大方法及び直営施設の将来計画とあわせて検討する必要がある。				
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	34,182千円	10,184千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	23,127千円	4,215千円	
	事務量(正規)	40人日	44人日	27人日	27人日	27人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB02	所属名	保健給食課	担当者	加藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(6)2	アレルギー対応食の提供					
種別	拡充	担当課	保健給食課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(6)	給食調理環境の整備と施設延命化の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	児童生徒の心身の健全な発達のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	全給食センター、旭地区小中学校、豊田特別支援学校					
	対象 (誰に)	市内の全児童生徒					
	方法 (何を)	市内の全給食センターでアレルギー対応食を提供するため実施計画を作成する					
③ 設定目標	現状	東部給食センターの所管校へ提供					
	目標	アレルギー対応食全市実施計画の策定完了					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・アレルギー対応給食の全市拡大方法の検討	・アレルギー対応給食実施方針の見直し ・全市拡大に向けた具体的な実施計画の作成	・アレルギー対応給食実施方針の見直し ・アレルギー対応給食実施地区拡大準備	・アレルギー対応給食実施方針の見直し ・アレルギー対応給食実施地区拡大準備	・アレルギー対応給食実施方針の見直し ・アレルギー対応給食における実施計画の策定完了	
	実績 (成果)	・民間業者へのヒアリングの実施(5~6・8月) ・先進地視察(10月) 山形県寒河江市 栃木県足利市 ・他市調査(9・1月)	・食物アレルギー対応検討委員会・部会(7~2月) ・先進地視察(7・12月) 豊橋市、田原市	・食物アレルギー対応検討委員会・部会(7~2月)	・食物アレルギー対応検討委員会(6~12月) ・アレルギー対応給食帳票見直し(8月)及び実施方針の検討(9~1月)	・食物アレルギー対応検討委員会、部会(4月~3月) ・特例的対応の実施(1月~)	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	H19年度に策定したアレルギー対応給食に関する基本方針を見直し、全市拡大方法を具体化する必要がある。	文部科学省がH27年3月に発表した指針を踏まえ、対応方針を見直す必要がある。	愛知県教育委員会がH28年2月に発行した「食物アレルギー対応手引」を踏まえ、対応方針を見直す必要がある。	安全性の確保を最優先に考え、実施方針の見直しをしたため、市内全域への展開が困難になった。実施計画はH30年度に引き続き検討していく。		
⑤ コスト	予算額	57千円	151千円	2,711千円	2,501千円	225千円	
	決算額	57千円	76千円	75千円	330千円	210千円	
	事務量(正規)	30人日	32人日	22人日	22人日	59人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB02	所属名	保健給食課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(6)3	給食施設の計画的修繕の実施					
種別	継続	担当課	保健給食課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	1	学校教育分野/「生き抜く力」を育む学校教育の実現				
	施策	1-8	学習環境と学校施設・空間の充実				
	取組	(6)	給食調理環境の整備と施設延命化の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	児童生徒へ安全・安心な給食を安定的に提供するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	全給食センター、旭地区小中学校、豊田特別支援学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	給食施設の定期点検を行い、長期的な修繕計画を作成及び修正し、計画的に修繕を実施する					
③ 設定目標	現状	施設の点検状況に基づいた修繕計画の修正と修繕の実施					
	目標	施設の点検状況に基づいた修繕計画の修正と修繕の実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・施設の定期点検の実施 ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施	・施設の定期点検の実施 ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施	・施設の定期点検の実施 ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施	・施設の定期点検の実施 ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施	・施設の定期点検の実施 ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施	・施設の定期点検の実施 ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施
	実績 (成果)	・施設の定期点検の実施 ・長期修繕計画の修正及び修繕の実施(平和給食センター汚水処理施設及び排気ファン等)	・施設の定期点検の実施(7~8月) ・長期修繕計画の修正(9月) ・修繕実施(平和給食センター自動焼き物機コンベア修繕等)(通年)	・施設の定期点検の実施(7~8月) ・長期計画に基づいた修繕の実施(中部給食センター床修繕、平和給食センターほか調理釜修繕)	・施設の定期点検の実施(7~8月) ・長期計画に基づいた修繕の実施(平和給食センター防火シャッター修繕等)	・施設の定期点検の実施(7~8月) ・長期的な修繕計画に基づいた確実な修繕の実施(平和給食センター蒸気ボイラ修繕等)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	48,579千円	58,346千円	56,179千円	121,863千円	87,442千円	
	決算額	48,579千円	79,207千円	63,830千円	22,149千円	63,314千円	
	事務量(正規)	134人日	142人日	166人日	166人日	166人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	小林	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(1)1	交流館の整備					
種別	拡充	担当課	市民活躍支援課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(1)	交流館の運営・整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	住民の教養の向上、健康の増進、情操の純化を図り、生活文化の振興、社会福祉の増進に寄与するため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	(仮)第2梅坪台交流館、前林交流館					
	対象 (誰に)	—					
	方法 (何を)	地域の特徴を生かした交流館を整備する					
③ 設定目標	現状	整備が必要な交流館2館					
	目標	2館整備完了					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・(仮)第2梅坪台交流館実施設計完了(3月) ・前林交流館基本設計(案)完了(3月)	・(仮)第2梅坪台交流館建設工事 ・前林交流館実施設計完了 ・前林交流館建設工事	・(仮)第2梅坪台交流館建設工事完了 ・前林交流館建設工事完了	・2館開館 ・既設前林交流館解体工事	—	
	実績 (成果)	・(仮)第2梅坪台交流館実施設計完了(3月) ・前林交流館基本設計(案)完了(3月)	・(仮)第2梅坪台交流館建設工事(6月) ・前林交流館実施設計完了(10月) ・前林交流館建設工事(12月)	浄水交流館建設工事完了(2月) 前林交流館建設工事完了(3月)	・既設前林交流館解体工事完了(11月)	事業完了	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	15,488千円	316,671千円	1,349,401千円	70,260千円	-	
	決算額	141,103千円	80,481千円	1,142,962千円	73,335千円	0千円	
	事務量(正規)	60人日	80人日	150人日	80人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	伊達	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(1)2	交流館運営体制の見直し					
種別	改善	担当課	市民活躍支援課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(1)	交流館の運営・整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の特色を生かした交流館運営を進めるため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内交流館(3館)					
	対象 (誰に)	交流館職員、夜間管理シルバー人材センター会員					
	方法 (何を)	管理運営にあたる人員体制を見直す					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	3館で運営体制の見直し					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・地域運営の課題の把握	・対応策の検討	・導入に向けての調整	・交流館運営体制の見直し ・利用ルールの見直し	・条例改正	
	実績 (成果)	・交流館指定管理者((公財)豊田市文化振興財団)と地域運営の手法等について協議(7回、6～8月) ・生涯学習審議会で、交流館の役割と見直しについて協議(5回、8～3月) ・館長職の処遇見直し	・生涯学習審議会での協議、答申(4～9月) ・27年度交流館運営基本方針の提示(11月) ・27年度の取組に向けたモデル交流館2館を指定(1月) ・館長協議会での協議(3月)	・モデル交流館2館のうち1館において事業実施(4月～2月) ・交流館ごとの地域カルテづくり(通年) ・今後の交流館のあり方の検討(9月～3月) ・モデル交流館:松平・猿投台	・交流館のあり方及び利用ルールの見直し(通年) ・生涯学習審議会での協議(4回、8月～3月) ・指定管理者との協議(通年) ・議会への説明(2月)	・生涯学習審議会での協議(3回、6月～10月) ・交流館運営委員会での意見聴取(5～6月) ・パブリックコメントの実施(8月～9月) ・総合教育会議での報告(11月) ・条例改正(12月) ・指定管理者との協議(通年)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	竹内	作成年月	平成30年5月	
実施内容	2-1(2)1	市民企画講座の開催						
種別	拡充	担当課	市民活躍支援課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり					
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援					
	取組	(2)	地域人材の育成と地域参画の促進					
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民の自主自立した生涯学習を支援するため						
	時期 (いつ)	通年(4～3月)						
	場所 (どこで)	交流館						
	対象 (誰に)	地域住民						
	方法 (何を)	講座内容に関する助言や広報活動等で市民企画講座の開催を支援する						
③ 設定目標	現状	21交流館で実施(年82講座、年4,205人)						
	目標	27交流館で実施(年90講座、年5,900人)						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・22交流館で実施(年85講座、年4,300人)	・24交流館で実施(年88講座、年5,000人)	・24交流館で実施(年125講座、年5,000人)	・全交流館で実施(年90講座、年5,900人)	・全交流館で実施(年90講座、年5,900人)		
	実績 (成果)	24交流館で実施(年115講座、年8,726人)	22交流館で実施(年99講座6,185人)	25交流館で実施(年120講座11,898人)	25交流館で実施(年143講座16,176人)	25交流館で実施(年140講座、年16,478人)		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価							
	備考	講座事業費は指定管理料に一括して含まれるため、算出していない。 H27年度、H28年度、H29年度はフリースペースを活用した事業が増えたため、参加者数が増加した。						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	竹内	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(2)2 高等教育機関との共催による成人講座の開催						
種別	拡充	担当課	市民活躍支援課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(2)	地域人材の育成と地域参画の促進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民に本格的・専門的な学習機会を提供するため					
	時期 (いつ)	随時					
	場所 (どこで)	市内会議室等					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	高等教育機関と共催して成人講座を実施する					
③ 設定目標	現状	年5講座実施(年156人)					
	目標	年6講座実施(年190人)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・年6講座実施(130人)	・年6講座実施(140人)	・年6講座実施(160人)	・年6講座実施(180人)	・年6講座実施(190人)	
	実績 (成果)	・年6講座実施(118人) ・内訳:地震災害から身を守るためのヒント!(9月・豊田工業高等専門学校)、発達障害の理解と支援(11月・愛知教育大学)、生活の中の経済学(7月・全4講座・豊橋創造大学)	・年7講座実施(95人) ・内訳:発達障がいへの理解と支援(7月・愛知教育大学)、地域活性マイスター養成講座(7月・全4講座・豊田高専)、祭とからくり人形(8月・全2講座・至学館大学)	・年12講座実施(90人) ・内訳:日本語教育を考えよう(5月・全2講座・愛知教育大学)、RWCに向けて英語多読を始めよう(9月～2月・全6講座・豊田高専)、夏目漱石の小説世界(9月・全3回・豊田高専)、新しい都市祝祭の今後(9月・至学館大学)	・年6講座実施(61人) ・内訳:女子中学生のための女子学生による講座(8月・豊田高専)、夏目漱石「坊っちゃん」の世界(9月・全2回・豊田高専)、ストレス対処のための自己コントロール法(10月・全3回・桜花学園大学)	・年7講座実施(186人) ・内訳:至学館大学:愛知・岐阜・三重の祭を語る、豊田高専:女子中学生のための女子学生による講座他2講座、愛知県立大学:外国人との上手な交流のしかた他1講座、藤田保健衛生大学:認知症への備えはしていますか?	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	30千円	26千円	26千円	26千円	26千円	
	決算額	0千円	0千円	8千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	12人日	14人日	14人日	12人日	6人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	西口	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(3)1 ICタグ(電子荷札)導入による貸出・返却・予約の自動化						
種別	新規	担当課	図書館管理課	国庫補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(3)	中央図書館の多機能化と地域の情報拠点づくり				
② 取組の概要	目的(何のために)	利用者の窓口での貸出、返却手続き時間の短縮化					
	時期(いつ)	平成30年1月					
	場所(どこで)	豊田市中央図書館					
	対象(誰に)	中央図書館利用者					
	方法(何を)	導入効果の検証を実施したうえでシステム化に向けた整備手法を策定し、次期システムの更新時に合わせ導入する					
③ 設定目標	現状	バーコード装備による図書館システムで管理運営					
	目標	ICタグを活用した図書館システムの構築					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・ICタグ導入に向けて基本計画策定	・詳細計画策定	・具体的導入手法の比較検証 ・予算額の確定	・ICタグ貼付開始(平成28年度・29年度の継続事業 債務負担行為)	・ICタグ貼付 ・システム更新に合わせ運用開始(H30.1.1)	
	実績(成果)	・先進地視察(武雄市、東京都台東区)及び勉強会実施	・先進地視察(府中市、立川市、千代田区、岡崎市、大府市)及び勉強会実施 ・概要計画検討	・先進地視察(千代田区、埼玉県桶川市)及び勉強会実施 ・ICタグの選定 ・費用の積算 ・導入スケジュールの策定	・ICタグ貼付(平成28年3月末時点:貼付枚数1,426,591冊 貼付率73.5%)	・ICタグ貼付完了(貼付枚数1,939,000枚) ・ICタグ対応新システムへの更新(1~3月の使用料合計 21,147,756円) ・新システム専用回線敷設(初期工事費及び1~3月の使用料合計 6,447,600円) ・IC機器導入に伴うフロア改修(8,532,000円) ・ICタグによる自動化の運用開始(H30年1月~)	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	従来の電磁誘導方式と異なる電波方式という新しいタグが開発された。両方式の長所短所の分析に時間を要するため。	導入効果最大化にはフロアレイアウト変更も含めて図書館全体の運用に合わせて検討する必要があるため。				
⑤ コスト	予算額	525千円	0千円	0千円	126,000千円	90,119千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	87,668千円	75,792千円	
	事務量(正規)	2人日	10人日	10人日	20人日	140人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	渡邊	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(3)2 高齢者向けコーナーの新設						
種別	新規	担当課	図書館管理課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野別	分野	2 生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
		施策	2-1 生涯学習の推進・支援				
		取組	(3) 中央図書館の多機能化と地域の情報拠点づくり				
② 取組の概要	目的 (何のために)	高齢者の図書資料への関心を深め、利用を促進する					
	時期 (いつ)	通年(4月～3月)					
	場所 (どこで)	豊田市中央図書館					
	対象 (誰に)	高齢者(65歳以上)の図書館利用者					
	方法 (何を)	特別展示コーナーで高齢者向けの図書を定期的に展示する					
③ 設定目標	現状	高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率31.6%					
	目標	高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率40.0%					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・特別展示コーナーの設置	・継続実施し図書の貸出冊数を調査し、効果を検証する ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率37%	・継続実施し図書の貸出冊数を調査し、効果を検証する ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率38%	・継続実施し図書の貸出冊数を調査し、効果を検証する ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率39%	・継続実施し図書の貸出冊数を調査し、効果を検証する ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率40%	
	実績(成果)	・特別展示コーナーで高齢者向け図書を展示(9月) ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率41.8%(平成26年3月末現在)	・前年度の効果検証を踏まえて特別展示コーナーで高齢者向け図書を展示(9/2～10/12) ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率41.1%(3月末)	・前年度の効果検証を踏まえて特別展示コーナーで高齢者向け図書を展示(9/8～10/4) ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率40.6%(3月末)	・4階展示コーナーにて高齢者に関心の高い内容の展示を5回実施。 (5、8、9、10、1月) ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率41.2%(3月末)	・3階展示コーナーで高齢者向け図書を展示(5/9～7/21) ・高齢者(65歳以上)の中央図書館登録率45.5%	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	0人日	
	事務量(臨時)	10人日	10人日	10人日	10人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	西口	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(3)3	交流館等(ネットワーク館)図書室へのボランティア育成					
種別	拡充	担当課	図書館管理課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野別	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり			
		施策	2-1	生涯学習の推進・支援			
		取組	(3)	中央図書館の多機能化と地域の情報拠点づくり			
② 取組の概要	目的(何のために)	交流館等(ネットワーク館)図書室の利用促進					
	時期(いつ)	通年(4～3月)					
	場所(どこで)	交流館等(ネットワーク館)図書室					
	対象(誰に)	交流館等(ネットワーク館)図書室ボランティア					
	方法(何を)	交流館等(ネットワーク館)図書室ボランティアへの研修会や交流会を実施しスキルアップを図る					
③ 設定目標	現状	地域のボランティアが活動している交流館等図書室13館					
	目標	地域のボランティアが活動している交流館等図書室26館					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・交流館読み聞かせボランティアの活動実態調査 ・ボランティア活動館数13館	・交流館ボランティアアンケート調査の実施 ・ボランティア育成のための巡回職員の配置検討 ・ボランティア活動館数13館	・交流館ボランティア育成のためのモデル事業実施 ・交流館ボランティア活動支援 ・ボランティア活動館数17館	・交流館ボランティア活動支援 ・ボランティア活動館数21館	・交流館ボランティア活動支援 ・ボランティア活動館数26館	
	実績(成果)	・各交流館等共通おはなし会チラシの作成・配布(9月～3月) ・ボランティア活動館数13館	・交流館ボランティア活動実態調査(7月) ・ボランティア育成のための職員巡回派遣検討(9月～3月) ・ボランティア活動館数14館	・交流館ボランティア育成のためのモデル事業については、文化振興財団との協議の結果、各交流館で実施しないことで調整(1月) ・交流館ボランティア活動支援 ・ボランティア活動館数18館	・交流館ボランティア活動支援 ・ボランティア活動館数19館	・交流館ボランティア活動支援 ・ボランティア活動館数22館(予定含む)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	従来の電磁誘導方式と異なる電波方式という新しいタグが開発された。両方式の長所短所の分析に時間を要するため。	導入効果最大化にはフロアレイアウト変更も含めて図書館全体の運用に合わせて検討する必要があるため。				
⑤ コスト	予算額	525千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	0人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	渡邊	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(3)4 障がい者サービスコーナーの利用促進						
種別	継続	担当課	図書館管理課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(3)	中央図書館の多機能化と地域の情報拠点づくり				
② 取組の概要	目的(何のために)	障がい者の図書資料への関心を深め利用を促進					
	時期(いつ)	通年(4～3月)					
	場所(どこで)	豊田市中央図書館					
	対象(誰に)	身体障がい者3級、知的障がい者A判定、要介護認定4以上及び精神障がい者の方					
	方法(何を)	障がい者向け図書資料の提供及びコーナーの周知					
③ 設定目標	現状	郵送貸出サービス利用者年2,161人					
	目標	郵送貸出サービス利用者年4,000人					
	目標(変更)						
	対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・音訳、点訳、編集ボランティアの研修実施	・録音図書再生機の貸出による利用促進 ・講座の継続実施 ・郵送貸出サービス利用者3,500人	・継続実施 ・郵送貸出サービス利用者3,700人	・継続実施 ・郵送貸出サービス利用者3,900人	・継続実施 ・郵送貸出サービス利用者4,000人	
	実績(成果)	・音訳、点訳、編集ボランティア講座 37回実施(469名参加) ・郵送貸出サービス利用者3,381人(5,163タイトル)	・録音図書再生機貸出 4件(3月末) ・音訳、点訳、編集ボランティア講座 29回実施(309名参加) ・郵送貸出サービス利用者3,279人(3,802タイトル)(3月末)	・録音図書再生機貸出 3件 ・音訳、点訳、編集ボランティア講座 27回実施(262名参加) ・郵送貸出サービス利用者 3,122人(4,285タイトル)	・録音図書再生機貸出 0件 ・音訳、点訳、編集ボランティア講座 6回実施(69名参加) ・ボランティア勉強会 19回実施(138名参加) ・郵送貸出サービス利用者 2,932人(3,921タイトル)	・録音図書再生機貸出 1件 ・音訳、点訳、編集ボランティア講座 5回実施(95名参加) ・ボランティア勉強会 33回実施(197名参加) ・郵送貸出サービス利用者 2,856人(3,977タイトル) 【H29新規】 ・バリアフリー映画上映会の実施(9月、80名参加) ・発達障がい啓発週間に合わせた企画展示(3月)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入					・図書館を経由せず、サビエから資料を利用する件数が増えている。 ・また、聴覚障がい者等は総合窓口を中心に利用しており、図書館サービス全体で障がい者の利用をとらえる必要がある。	
⑤ コスト	予算額	360千円	360千円	306千円	190千円	190千円	
	決算額	366千円	339千円	305千円	60千円	43千円	
	事務量(正規)	36人日	36人日	36人日	36人日	0人日	
	事務量(臨時)	122人日	122人日	122人日	122人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。 平成29年度の予算額及び決算額は指定管理料の内数。 今後も、ボランティアの養成に取り組むとともに、障がい福祉課等と連携することで、サービスのさらなる周知を図る。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	稲吉	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(4)1	ティーンズコーナーの推進					
種別	拡充	担当課	図書館管理課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野別	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり			
		施策	2-1	生涯学習の推進・支援			
		取組	(4)	子ども読書活動の推進			
② 取組の概要	目的(何のために)	「読書」が一番必要な時期であるティーンズ世代の読書環境を整える					
	時期(いつ)	通年(4～3月)					
	場所(どこで)	豊田市中央図書館					
	対象(誰に)	ティーンズ世代(13歳～18歳)の図書館利用者					
	方法(何を)	定期的に企画展示を行うことによりティーンズ世代の読書活動の推進を図る					
③ 設定目標	現状	蔵書数3,622冊、13歳以上18歳以下の年間平均貸出冊数5.3冊					
	目標	蔵書数8,000冊、13歳以上18歳以下の年間平均貸出冊数7.0冊					
	目標(変更)	蔵書数8,000冊、13歳以上18歳以下の年間平均貸出冊数5.0冊				平成27年度	
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・ティーンズコーナー運営の検討(企画展示・サポーター導入) ・ティーンズ資料購入	・ティーンズコーナーの企画展示の継続実施 ・ティーンズ資料購入 ・蔵書数 5,500冊 ・平均貸出冊数 5冊	・継続実施 ・蔵書数 6,000冊 ・平均貸出冊数 5.5冊	・継続実施 ・蔵書数 7,000冊 ・平均貸出冊数 4.5冊	・継続実施 ・蔵書数 8,000冊 ・平均貸出冊数 5冊	
	実績(成果)	・ティーンズコーナー企画展示開催(11・1・3月) ・サポーター3名確保(8月) ・ティーンズ資料約500冊購入 ・蔵書数 5,015冊 ・平均貸出冊数 4.0冊	・ティーンズコーナー企画展示開催(9～3月) ・ティーンズ資料327冊購入 ・蔵書数 5,461冊 ・平均貸出冊数 4.23冊	・ティーンズコーナー企画展示開催(6～3月実施) ・蔵書数 5,934冊 ・平均貸出冊数 4.23冊	・ティーンズコーナー企画展示開催(4～3月実施) ・蔵書数 8100冊 ・平均貸出冊数 4.27冊 ・10代のボランティアグループの活動の一環として3階展示コーナーにて展示実施(12月)	・ティーンズコーナー期間展示開催(4～3月実施) ・蔵書数 8,500冊(H30.3月末) ・平均貸出冊数 4.29冊(H30.3月末) ・10代のボランティアグループの活動の一環として3階展示コーナーにて展示実施(5月、12月)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	1,170千円	1,185千円	1,185千円	700千円	500千円	
	決算額	694千円	700千円	400千円	600千円	450千円	
	事務量(正規)	120人日	120人日	120人日	120人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。 平成29年度の予算額及び決算額は指定管理料の内数。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	稲吉	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(4)2	ブックスタート事業の充実					
種別	継続	担当課	図書館管理課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野別	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり			
		施策	2-1	生涯学習の推進・支援			
		取組	(4)	子ども読書活動の推進			
② 取組の概要	目的(何のために)	読み聞かせを通して親子が本に親しむきっかけ作りを図る					
	時期(いつ)	通年(4～3月)					
	場所(どこで)	3・4か月児健康診査会場、豊田市中央図書館					
	対象(誰に)	生後3・4か月児とその保護者					
	方法(何を)	対象親子への本の読み聞かせを行い、本をプレゼントすることにより親子読書の重要性を伝える					
③ 設定目標	現状	家庭で週3日以上、読み聞かせしている保護者の割合42.0%					
	目標	家庭で週3日以上、読み聞かせしている保護者の割合50.0%					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・対象親子への本の読み聞かせ活動	・対象親子への読み聞かせ継続実施 ・読み聞かせボランティアの育成	・対象親子への読み聞かせ継続実施 ・読み聞かせボランティアの育成 ・読み聞かせ保護者の割合調査、読み聞かせ保護者の割合45%	・対象親子への読み聞かせ継続実施 ・読み聞かせボランティアの育成	・対象親子への読み聞かせ継続実施 ・読み聞かせボランティアの育成 ・読み聞かせ保護者の割合調査、読み聞かせ保護者の割合50.0%	
	実績(成果)	・読み聞かせ活動4,146人(生後3・4か月児と3歳までの未受講者)(対象4,167人、H25)	・読み聞かせ活動3,929人(生後3・4か月児と3歳までの親子)(H27.3末) ・ブックスタートボランティア研修の実施 3回(6月、11月、2月)	・読み聞かせ活動4,063人(生後3・4か月児と3歳までの親子)(H28.3末) ・ブックスタートボランティア研修の実施 2回(5・3月) ・読み聞かせ保護者の割合調査、読み聞かせ保護者の割合43%	・読み聞かせ活動2,848人(生後3・4か月児と3歳までの親子)(H29.3末) ・ブックスタートボランティア研修の実施 2回(5・10月)	・読み聞かせ活動3,725人(生後3・4か月児と3歳までの親子)(H30.3末) ・ブックスタートボランティア研修の実施 2回(5・2月) ・読み聞かせ保護者の割合調査、読み聞かせ保護者の割合45.5%	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	
理由・課題	※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	4,540千円	4,092千円	4,044千円	4,027千円	3,011千円	
	決算額	4,105千円	3,949千円	3,747千円	309千円	1,350千円	
	事務量(正規)	45人日	45人日	45人日	45人日	10人日	
	事務量(臨時)	108人日	108人日	108人日	108人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。 平成29年度の予算額及び決算額は指定管理料の内数。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	原野	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(4)3	「テレビを消して本を語ろう」の日の促進					
種別	継続	担当課	図書館管理課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(4)	子ども読書活動の推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	家庭における読書環境づくりの促進					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	豊田市中央図書館					
	対象(誰に)	市民					
	方法(何を)	特別展示やキャラクターを使って市民周知を図る					
③ 設定目標	現状	子どもに対する読書習慣形成へ努力している保護者の割合28.8%					
	目標	子どもに対する読書習慣形成へ努力している保護者の割合40.0%					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・取組の周知を図るための事業計画と実施	・取組の周知と定着を図るための事業の実施 ・特別展示継続実施	・取組の周知と定着を図るための事業の実施 ・特別展示継続実施 ・子どもに対する読書習慣形成へ努力している保護者の割合35.0%	・取組の周知と定着を図るための取組の実施 ・特別展示継続実施	・取組の周知と定着を図るための取組の実施 ・特別展示継続実施 ・子どもに対する読書習慣形成へ努力している保護者の割合40.0%	
	実績(成果)	・キャラクター作成、命名募集(1,361件応募) ・PRグッズ、ポスターの作成 ・特別展示の実施(1月)	・「よみりん&かたるん」顔出し看板の設置 ・交流館向け啓発パネル配布 ・PRグッズの作成 ・特別展示の実施	・「よみりん&かたるん」顔出し看板の設置 ・学校に啓発パネル配布(希望校のみ) ・PRグッズの作成 ・イベントでの啓発(5月ふれ愛フェスタ、9月豊田市フェスタ等) ・子どもに対する読書習慣形成へ努力している保護者の割合31.6%	・利用者公募による「本を語る」の展示(4月) ・キャラクターを使った学校・園への啓発(81校) ・4月23日一日図書館職員体験の実施 ・毎月23日に「ナニモ袋」による貸出の実施 ・11月23日「まちさとミライ塾」でのキャラクターのぬいぐるみ作り講座の実施	・キャラクターを使った学校・園への啓発(希望校のみ) ・毎月23日に「ナニモ袋」による貸出の実施 ・8月23日一日図書館職員体験の実施 ・小学校1年生への読書ノートの配布(H27~) ・子どもに対する読書習慣形成へ努力している保護者の割合29%	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入					・学校・園への啓発、「ナニモ袋」貸出実施、職員体験、どくしょノートの取組は、予定通り行えた。 (備考欄に続く)	
⑤ コスト	予算額	490千円	300千円	310千円	475千円	150千円	
	決算額	318千円	410千円	310千円	107千円	10千円	
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	10人日	
	事務量(臨時)	21人日	21人日	21人日	21人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。 平成29年度の予算額及び決算額は指定管理料の内数。 読書習慣形成へ努力している保護者への割合は、家庭に直接的に働きかけるツールがなく、なかなか割合が上がらない。しかし、家庭への読書習慣形成への働きかけは、国の推進計画にも位置づけられているので、引き続き努力して取り組んでいく必要がある。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA08	所属名	図書館管理課	担当者	原野	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-1(4)4	調べ学習の充実					
種別	継続	担当課	図書館管理課	国県補助		無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-1	生涯学習の推進・支援				
	取組	(4)	子ども読書活動の推進				
② 取組の概要	目的(何のために)	図書館資料を活用した調べる学習を通じて児童生徒が自ら判断したり表現したりする力を育む					
	時期(いつ)	通年(4～3月)					
	場所(どこで)	豊田市中央図書館・市内小中学校					
	対象(誰に)	市内小中学生					
	方法(何を)	学校図書館や公共図書館の資料を使って調べまとめたコンクールの実施					
③ 設定目標	現状	調べる学習コンクール・どくしよ甲子園への参加者0人					
	目標	調べる学習コンクール参加者 年10人、どくしよ甲子園参加者年10組					
	目標(変更)	調べる学習コンクール参加者 年10人					平成27年度
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・調べる学習コンクールの計画実施 ・どくしよ甲子園のPR	・調べる学習コンクールの継続実施 ・コンクール参加者数 350人 ・どくしよ甲子園のPR	・調べる学習コンクールの継続実施 ・コンクール参加者数 400人 ・どくしよ甲子園のPR	・調べる学習コンクールの継続実施 ・コンクール参加者数 350人	・調べる学習コンクールの継続実施 ・コンクール参加者数 400人	
	実績(成果)	・第1回調べる学習コンクールの実施 ・実績33校953人 ・調べる学習応援講座実施(7月、8月) ・どくしよ甲子園PR ・調べる学習特別展示(7～8月) ・優秀作品展示(11月)	・第2回調べる学習コンクールの実施 ・実績34校350人 ・調べる学習応援講座実施(7月、8月) ・どくしよ甲子園PR ・調べる学習特別展示(7～8月) ・優秀作品展示(11月)	・第3回調べる学習コンクールの実施 ・実績30校289人 ・調べる学習応援講座実施(7・8月) ・調べる学習特別展示(7～8月) ・入賞作品展(11月)	・第4回調べる学習コンクールの実施 ・実績31校673点、695人 ・調べる学習応援講座実施(7・8月 5回開催) ・調べる学習特別展示(7～8月) ・入賞作品展(11月)	・第5回調べる学習コンクールの実施 ・実績34校900人 ・調べる学習応援講座実施(6～8月 6回開催) ・調べる学習特別展示(7～8月) ・入賞作品展(11月) ・全国コンクール上位入賞(優秀賞・日本児童教育振興財団賞)1名	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	20千円	132千円	264千円	2,844千円	1,813千円	
	決算額	46千円	230千円	232千円	873千円	1,100千円	
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	12人日	
	事務量(臨時)	7人日	7人日	7人日	7人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	<ul style="list-style-type: none"> ・どくしよ甲子園は平成26年度をもって終了 ・平成28年度より予算組み替えのため、「子ども読書活動推進費」に含まれている。 ・平成29年度から指定管理者制度を導入。図書館の管理運営は指定管理者が行っている。 ・平成29年度の予算額及び決算額は指定管理料の内数。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	黒田	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(1)1	家庭教育関連情報の集約と提供					
種別	新規	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	6 家庭教育力の向上				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(1)	家庭教育支援情報の集約・発信				
② 取組の概要	目的 (何のために)	家庭の教育力の向上のため					
	時期 (いつ)	年4回(5・8・11・2月頃)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	小中学生の保護者					
	方法 (何を)	家庭教育に関する様々な取組を集約し、(仮称)家庭教育手帳に掲載し配布したり、ホームページ等を通じて市民に伝わりやすい方法で提供する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	情報提供					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 市の家庭教育関連情報を集約 家庭教育推進委員会で保護者に啓発する事業の優先順位を協議 	<ul style="list-style-type: none"> 保護者からの意見聴取 	<ul style="list-style-type: none"> 全小中学校の保護者に「親ノート」配付 随時、情報を更新 	<ul style="list-style-type: none"> 随時情報を更新 	<ul style="list-style-type: none"> 随時情報を更新 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 市の家庭教育関連情報を集約 家庭教育推進委員会で保護者に啓発する事業の優先順位を協議(4回) 	<ul style="list-style-type: none"> 家庭教育施策に関し、親育ち交流カフェのモデル実施で、保護者からの意見聴取を行った。 家庭教育手帳「親ノート」作成 	<ul style="list-style-type: none"> 全小中学校の保護者に「親ノート」配付 親育ち交流カフェ参加者やPTAに対し、家庭教育に関する悩みなどのヒアリングを実施 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校新1年生、新5年生に「親ノート」配付 親育ち交流カフェやPTAの研修を通して家庭教育に関する要望や悩みについてヒアリングを実施。 	<ul style="list-style-type: none"> 小学校新1年生、新5年生に「親ノート」配付 親育ち交流カフェやPTAの研修を通して家庭教育や子育てに関する交流を実施 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	黒田	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(1)2	啓発資料の研究・開発					
種別	新規	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	6 家庭教育力の向上				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(1)	家庭教育支援情報の集約・発信				
② 取組の概要	目的 (何のために)	家庭教育力の向上のため					
	時期 (いつ)	年4回(5・8・11・2月頃)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	小中学生の保護者					
	方法 (何を)	家庭教育の必要性を効果的に啓発する方法を研究し、映像や資料を作成する。					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	啓発資料の活用					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・家庭教育推進委員会で保護者への効果的な啓発の方法などを協議	・家庭教育推進委員会で保護者への効果的な啓発方法を協議 ・保護者からの意見聴取	・効果的な啓発方法を検討・実施	作成した映像・資料の情報提供		
	実績 (成果)	・家庭教育推進委員会で保護者への効果的な啓発の方法などを協議(4回)	・保護者への効果的な啓発方法について協議 ・親育ち交流カフェのモデル実施(4回)により、家庭教育推進委員会での協議や保護者からの意見聴取	・親育ち交流カフェのモデル実施地区の様子を撮影した映像を資料として、校長会、PTA等に情報提供	・親ノート配付事例や親育ち交流カフェ実施事例を集約		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	黒田	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(2)1	(仮称)家庭教育手帳の作成・活用					
種別	新規	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	6 家庭教育力の向上				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(2)	親育ちのための学習支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	子育てに悩む保護者に、子どもとの関わり方やアドバイスの仕方に関する情報を届けるため					
	時期 (いつ)	平成27年度から					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	小中学生の保護者					
	方法 (何を)	子どもとの関わり方やアドバイス、子どもの成長及び親育ちの経過を記録できる冊子を作成、配付する					
③ 設定目標	現状	調査・検討					
	目標	全児童生徒の保護者に配布					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・家庭教育推進委員会で(仮称)家庭教育手帳の原案を作成	・保護者から意見聴取し、家庭教育推進委員会で協議し完成、印刷、配付	・全小中学校の保護者に配付	・親ノートを継続配布 ・活用の好事例等の情報収集・情報提供	・親ノートを継続配布 ・アンケート等により活用方法や効果を検証 ・平成30年度の改訂作業に向けて、内容を吟味	
	実績 (成果)	・家庭教育推進委員会で(仮称)家庭教育手帳の原案を完成	・親育ち交流カフェのモデル実施により、活用方法を家庭教育推進委員会で協議(4回) ・協議内容を反映し、親ノートを完成・印刷	・親ノートを全小中学校の保護者に配付(4月) ・学級懇談会、就学時健診での活用例をチラシにして紹介(12月)	・親ノートを継続配布(新1年生、新5年生) ・活用の好事例等の情報収集・情報提供	・親ノートを継続配布 ・アンケート等により活用方法や効果を検証 ・著作権更新による継続使用を決定	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	2,466千円	4,200千円	2,061千円	1,819千円	1,400千円	
	決算額	2,375千円	4,848千円	976千円	867千円	950千円	
	事務量(正規)	40人日	40人日	40人日	40人日	20人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	黒田	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(2)2	自主的な家庭教育講座の開催支援					
種別	拡充	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(2)	親育ちのための学習支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	家庭教育に関する学びの機会を通して、親としての育ちを支援するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	小中特別支援学校					
	対象 (誰に)	小中学生の保護者					
	方法 (何を)	家庭教育の学習機会の開催支援を行う					
③ 設定目標	現状	年20講座の運営経費を支援					
	目標	年40講座の運営経費を支援					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・講師リストの作成、配付	・講師リストを充実、PTAに啓発強化	・継続実施	・継続実施	・継続実施	
	実績 (成果)	・講座の開催を支援 (年21講座・参加者数3,206人) ・講師リストの作成、配付 (講師数17人)	・講座の開催を支援 (年19講座・参加者数2,756人) ・講師リストの作成、配付 (講師数19人) ・スマホ・携帯対策の講師をPTA等に聴取し補充	・講座の開催を支援 (年15講座・参加者数1,754人) ・講師リストの作成、配付 (講師数19人)	・講座の開催を支援 (年17講座・参加者数3,221人) ・講師リストの作成、配付 (講師数18人)	・講座の開催を支援 (年25講座・参加者数2,799人) ・講師リストの作成、配付 (講師数20人)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入					各校では家庭教育向上の機会を設けており、本来の目的は達成されている。しかし、各団体で予算は確保されており、補助しなくても実施できる団体が多い。	
⑤ コスト	予算額	560千円	420千円	420千円	400千円	400千円	
	決算額	566千円	298千円	238千円	283千円	250千円	
	事務量(正規)	15人日	15人日	15人日	15人日	15人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	竹内	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(2)3 交流館での家庭教育講座の開催						
種別	継続	担当課	市民活躍支援課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(2)	親育ちのための学習支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域住民の親育ちのための学習支援のため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	交流館					
	対象 (誰に)	保護者					
	方法 (何を)	家庭教育講座を開催する					
③ 設定目標	現状	26交流館で実施					
	目標	全交流館で実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・26交流館で実施	・26交流館で実施	・26交流館で実施	・全交流館で実施	・全交流館で実施	
	実績 (成果)	・全交流館で実施 ・保護者(親子)を対象とした講座を126講座335回開催(梅坪台:子育てHOTサロン、猿投北:お母さんのホッとステーション、保見:「はじめの一步～ママと一緒に～」等)	・26交流館で実施 ・保護者(親子)を対象とした講座を116講座383回開催(上郷:お父さんといっしょ、松平:スマイルママのわくわく子育て、藤岡:親子陶芸講座等)	・全交流館で実施 ・保護者(親子)を対象とした講座を90講座246回開催(若林:「おじいちゃん出番です!イクジイのススメ」、上郷:パパと「ちぎりパンでホワイトデー」、益富:おおきなおへやでおもいっきりあそぼう等)	・27交流館で実施 ・保護者(親子)を対象とした講座を104講座249回開催(若園「ベビー講座赤ちゃんとはぐはぐ」、藤岡南「子どもフェスタ～昭和の森で遊ぶ・作る・交流する～」、井郷「高校生から学ぶ親子ガーデニング」等)	・26交流館で実施 ・保護者(親子)を対象とした講座を114講座282回開催(朝日丘「親子でいっしょにつくっちゃおう!」、末野原「ベビー教室 ひよこ組」、豊南「ちびっこフェスタ」等)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	講座事業費は指定管理料に一括して含まれるため、算出していない。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	黒田	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(3)1	(仮称)親育ち交流カフェの開設					
種別	新規	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	6 家庭教育力の向上				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(3)	親育ちのための交流の促進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	保護者同士や地域力を活用して、子育てや親育ちについて学び合う関係をつくるため					
	時期 (いつ)	各地区の状況に合わせて					
	場所 (どこで)	交流館や小中学校など					
	対象 (誰に)	小中学生の保護者					
	方法 (何を)	青少年育成団体や地域の協力を得て、保護者が集まり子育てに関する情報交換や学ぶ機会をつくる					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	27地区で実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・家庭教育推進委員会で保護者同士の交流の場づくりを協議	・3地区でモデル実施	・9地区でモデル実施	・各地区で実践	・各地区で実践	
	実績 (成果)	・家庭教育推進委員会で保護者同士の交流の場づくりを協議(4回)	・4地区でモデル実施(松平地区コミュニティ会議、石野中学校、猿投台交流館、浄水北小学校)	・PTA、小学校、子ども園、コミュニティ育成部会等の開催を支援(17回実施)	・PTA、小・中学校、子ども園、コミュニティ育成部会等の開催を支援 ・各地域のリーダーやファシリテーターの育成 ・カフェのためのコミュニケーションスキルの向上(34回延べ1,323人)	・PTA、小・中学校、子ども園、コミュニティ育成部会等の開催を支援 ・各地域のリーダーやファシリテーターの育成(H29年度は24回延べ1441人) ・H27年度以降、5年間で延べ20地区54回実施。また地区の枠組み以外で21回開催	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	450千円	410千円	410千円	
	決算額	0千円	32千円	232千円	310千円	250千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	黒田	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(3)2	青少年育成団体等による親育ちのための支援					
種別	継続	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-2	家庭・地域の教育力の向上				
	取組	(3)	親育ちのための交流の促進				
② 取組の概要	目的(何のために)	家庭教育、子どもとのかかわり、親子のふれ合いなどに関する学びや体験を通じた親育ち支援をするため					
	時期(いつ)	年数回					
	場所(どこで)	各地区、各学校					
	対象(誰に)	小中学生の保護者					
	方法(何を)	PTA等の青少年育成団体による家庭教育講座や親子参加イベントを開催する					
③ 設定目標	現状	各地区や団体などによる活動					
	目標	各地区や団体などによる活動					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・(仮称)親育ちカフェの実施方法についての検討	・(仮称)親育ちカフェのモデル実施	・親子参加の地区イベントの開催 ・(仮称)親育ちカフェのモデル実施	・親子参加の地区イベントの開催 ・親育ち交流カフェの実施	・親子参加の地区イベントの開催 ・親育ち交流カフェの実施	
	実績(成果)	・家庭教育推進会議を4回開催し、(仮称)親育ち交流カフェの実施方法等を検討した。	・4地区でモデル実施(松平地区コミュニティ、石野中学校、猿投台交流館、浄水北小学校)	・青推協主催の親子参加イベント実施 ・PTA、小学校、子ども園、コミュニティー育成部会等の開催を支援(10地区・17回・約1000人参加)	・青推協主催の親子参加イベントを各地域で開催(青推協の地区負担金事業) ・PTA、小学校、子ども園、地区コミュニティ青少年等による親育ち交流カフェの開催支援	・青推協主催の親子参加イベントを各地域で開催(青推協の地区負担金事業) ・PTA、小学校、子ども園、地区コミュニティ青少年等による親育ち交流カフェの開催支援	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	176千円	450千円	410千円	800千円	
	決算額	0千円	32千円	232千円	310千円	605千円	
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-3(1)1 施設のソフト機能の見直しを含めた青少年センターの再整備						
種別	拡充	担当課	次世代育成課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	7 青少年に対する支援体制の強化・充実				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-3	青少年の健やかな成長と自立に向けた支援				
	取組	(1)	主体的で自立した青少年の育成支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	青少年が、様々な体験や交流を通じて、主体性や自立心を育みながら成長するため					
	時期 (いつ)	平成25～29年度					
	場所 (どこで)	小坂本町ほか					
	対象 (誰に)	青少年(特に高校生以上)					
	方法 (何を)	様々な施設や団体等を活用した青少年育成支援の企画・調整を図る拠点施設として整備する。					
③ 設定目標	現状	調査・検討					
	目標	新・青少年センターの供用開始					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・基本設計及び詳細設計	・施設改修、移転	・4/1オープン ・新・青少年センターの運営	・青少年センターの運営	・青少年センターの運営	
	実績 (成果)	・基本設計及び詳細設計	・施設改修、移転	・4/1 開所式 ・5/17 オープニングイベント ・新・青少年センターの運営	・青少年センターの運営	・青少年センターの運営	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	6,925千円	150,600千円	10,207千円	10,744千円	9,667千円	
	決算額	7,139千円	148,965千円	9,968千円	7,691千円	8,986千円	
	事務量(正規)	40人日	40人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・事業費は、施設整備費(管理費は含まない)					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-3(1)2	青少年育成プログラムの再編					
種別	拡充	担当課	次世代育成課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	7 青少年に対する支援体制の強化・充実				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-3	青少年の健やかな成長と自立に向けた支援				
	取組	(1)	主体的で自立した青少年の育成支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	青少年が、様々な体験や交流を通じて、主体性や自立心を育みながら成長するため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	小坂本町ほか					
	対象 (誰に)	青少年(特に高校生以上)					
	方法 (何を)	小中学生のリーダー養成事業、高校生以上を対象とした社会参加機会の提供、意見表明やまちづくりなどへの参画の機会づくりを行う。					
③ 設定目標	現状	社会参加/リーダー養成/青少年団体ネットワークプログラム 年5事業実施					
	目標	社会参加/リーダー養成/青少年団体ネットワークプログラム 年10事業実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・プログラム再編	・プログラム再編 ・大学生対象の講座の開催(1講座)の実施 ・ひきこもりの若者に対する支援者講習会(2回)の実施	・プログラム再編 ・高校・大学生を対象にした講座の再編(ボランティア講座)	・実施状況を把握しながらプログラム再編	・実施状況を把握しながらプログラム再編	
	実績(成果)	・婚活事業を有識者事業評価委員会に諮る。 ・事業内容の再考、指定管理者との調整	・プログラムの見直し(大学生、高校生関連事業の充実検討) ・大学生対象講座の実施(2回) ・ひきこもり支援者養成講座(2回)	・H28実施プログラムの大幅な見直し(大学生・高校生の充実検討;学生交流塾、大学生連携事業、学生×企業コーディネート事業等) ・学生によるまちづくり提案実施(8プログラム)	・H28青少年事業の円滑な実施(学生交流塾、とよた若者応援ネット「プラス」の運用、大学生連携事業、学生ボランティアなど) ・学生によるまちづくり提案支援事業の実施 ・学生関連事業の再編 <計10事業実施>	・H29青少年事業の円滑な実施(とよた学生盛りあげ隊、とよた若者応援ネット「プラス」の運用、大学生連携事業、ラグビーワールドカップ盛り上げボランティアなど) ・学生によるまちづくり提案支援事業の実施(12プログラム) ・学生とハタラクをつなぐプロジェクトの実施(6プログラム)	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,032千円	2,208千円	2,198千円	5,337千円	8,200千円	
	決算額	2,233千円	1,680千円	1,512千円	4,309千円	7,060千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月	
実施内容	2-3(2)1	(仮称)自立支援地域協議会の設置						
種別	新規	担当課	次世代育成課			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	該当	7 青少年に対する支援体制の強化・充実					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり					
	施策	2-3	青少年の健やかな成長と自立に向けた支援					
	取組	(2)	自立への一歩を踏み出せない子ども・若者への支援					
② 取組の概要	目的 (何のために)	ニート・ひきこもりなど困難を抱える子ども・若者の就労、自立に向けた支援をするため						
	時期 (いつ)	通年(4～3月)						
	場所 (どこで)	市内(小坂本町ほか)						
	対象 (誰に)	ニート・ひきこもりなど困難を抱える子ども・若者や家族、その支援者						
	方法 (何を)	青少年相談センター、保健所、医療機関、福祉機関、就労支援機関、支援NPOをはじめとする関係機関・団体などにより協議会を設置し、ネットワークの構築を進める。						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	設置・運営						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・(仮称)自立支援地域協議会の設置	・庁内連絡会議 ・関係団体との調整 ・設置に向けた研修会の開催	・若者支援地域協議会の設置	・若者支援地域協議会構成団体の連携強化	・若者支援地域協議会構成団体の連携強化		
	実績(成果)	・関連団体との意見交換、情報収集 ・一体的就労支援協議会への参加	・関係団体との連絡会議(2回) ・協議会設置に向けた研修会の実施(4回) ・協議会設置に向けた全国研修会への参加(3回)	・豊田市若者支援地域協議会の設置 ・代表者会議(1回) ・実務者会議(2回) ・自立支援者養成講座(3回) ・全国研修会への参加(2回)	・豊田市若者支援地域協議会の設置 ・代表者会議(1回) ・実務者会議(2回) ・自立支援者養成講座(3回)	・豊田市若者支援地域協議会の設置 ・代表者会議(1回) ・実務者会議(2回) ・全国研修会への参加(1回)		
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	青少年センター開設(H27.4)に合わせて設置させることで、事業効果を高めたいため、遅らせた。						
⑤ コスト	予算額	0千円	314千円	172千円	173千円	70千円		
	決算額	0千円	22千円	86千円	86千円	75千円		
	事務量(正規)	15人日	15人日	15人日	15人日	15人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価	○						
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-3(2)2 (仮称)自立支援サポートステーションの開設						
種別	拡充	担当課	次世代育成課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	7 青少年に対する支援体制の強化・充実				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-3	青少年の健やかな成長と自立に向けた支援				
	取組	(2)	自立への一歩を踏み出せない子ども・若者への支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	ニート・ひきこもりなど困難を抱える子ども・若者の就労、自立に向けた支援をするため					
	時期 (いつ)	平成25～29年度					
	場所 (どこで)	市内(小坂本町ほか)					
	対象 (誰に)	ニート・ひきこもりなど困難を抱える子ども・若者や家族、その支援者					
	方法 (何を)	就労支援などに向けた学習・訓練、当事者や親のグループ活動支援、カウンセリングなどを通じて、社会参加や就労などの支援を行う中核的な拠点として、開設・運営する。					
③ 設定目標	現状	自立支援相談会 月2回、開設に向けた研究・検討					
	目標	相談窓口の常設、開設・事業運営					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・自立支援相談会(月3回) ・全体機能構想の策定	・運営主体の選定、協議	・若者サポートステーションの開設、事業開始 ・自立支援相談会(月4回)	・若者サポートステーションの運営	・若者サポートステーションの運営	
	実績(成果)	・自立支援相談会(月3回) ・全体機能構想の策定	・運営主体の選定 ・事業内容の検討(常設相談窓口、ジョブトレーニング等の協議)	・豊田市若者サポートステーションの開設(NPO法人育て上げネット中部虹の会に運営委託) ・常設相談窓口設置(通常相談員、専門相談員) ・居場所づくり、ジョブトレーニング体験、職場体験会	・豊田市若者サポートステーションの運営 ・常設相談、専門相談 ・常設の居場所づくり、ジョブトレーニング体験、職場体験会の実施	・豊田市若者サポートステーションの運営 ・常設相談、専門相談 ・常設の居場所づくり、ジョブトレーニング体験、職場体験会の実施	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	432千円	314千円	11,946千円	16,595千円	15,816千円	
	決算額	432千円	22千円	11,842千円	16,204千円	15,816千円	
	事務量(正規)	15人日	15人日	15人日	15人日	15人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	福本	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-4(1)1	学校でのものづくり教育プログラムの拡充					
種別	拡充	担当課	市民活躍支援課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	8ものづくり事業の更なる展開				
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり				
	施策	2-4	ものづくり文化の醸成				
	取組	(1)	学校におけるものづくり教育プログラムの更なる拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	学校カリキュラムの中にもものづくりを取り入れ、子どもたちのものづくりに対する興味・関心を高める					
	時期 (いつ)	実践5～2月、高学年プログラムの開発7～2月、企画委員会の開催5回					
	場所 (どこで)	実施を希望する市内小学校					
	対象 (誰に)	小学1～6年生(平成26年度から高学年まで拡大)					
	方法 (何を)	和風や竹てっぽうなど10あるものづくり教育プログラムから学校の希望により1プログラム3～10時間で実施する					
③ 設定目標	現状	小学校1～4年生を対象にしたプログラムを年37校で実施					
	目標	小学校1～6年生を対象にしたプログラムを年35校以上で実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・35校以上で実践 ・企画委員会の設置 ・高学年プログラムの開発	・35校以上で実践 ・高学年プログラムの試行的実施	・45校以上で実践 ・高学年プログラムの本格実施	・45校以上で実践	・45校以上で実践	
	実績 (成果)	・40校での実践 ・企画委員会の設置(7月)5回開催 ・高学年を対象にした4プログラムを開発 ・試行的に2校2プログラムを高学年で実施	・43校で実施(6～2月) ・新プログラム(図工・生活科関連)を9校で実施(9～12月) ・高学年対象新プログラム(理科関連)のモデル授業を1校で実施(1月)	・50校で実施(6～2月) ・新プログラム(理科、図工・生活科関連)を9校で実施(7～2月) ・高学年対象新プログラムの実施校拡大(6校)	・50校で実施(6～2月) ・音づくりのプログラムを改訂し、4校で実施(7～2月) ・高学年対象プログラムの実施校(6校)	・50校で実施(6～2月) ・おもちゃ・音づくりのプログラムを改訂し、11校で実施(6～2月) ・高学年対象プログラムの実施校(6校)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	6,945千円	5,805千円	7,315千円	7,185千円	6,775千円	
	決算額	3,937千円	3,878千円	3,749千円	3,528千円	5,156千円	
	事務量(正規)	100人日	150人日	150人日	150人日	150人日	
	事務量(臨時)	300人日	300人日	300人日	300人日	300人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	梅村	作成年月	平成30年5月	
実施内容	2-4(2)1	豊田市らしいものづくり講座の実施						
種別	新規	担当課	市民活躍支援課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	該当	8ものづくり事業の更なる展開					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり					
	施策	2-4	ものづくり文化の醸成					
	取組	(2)	系統的なものづくり事業の構築と普及					
② 取組の概要	目的 (何のために)	子どもたちのものづくりリテラシーを大きく伸ばし、生きる力を高めるため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	とよた科学体験館、公益財団法人あすて、他市内外工房など						
	対象 (誰に)	小学5年生以上						
	方法 (何を)	ハイテク技術や科学技術を必要とする講座、自然素材の特性や科学の原理を活かし、優れた技術や匠の技で加工する伝統的なものづくりの講座を実施						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	年3講座実施						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・講座内容の検討	・クルマづくり究めるPJ(年30回程度)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年3講座) ・科学技術教育振興事業の実施(講座、講演会、イベント)	・クルマづくり究めるPJ(年30回程度)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年3講座) ・科学技術教育振興事業の実施(講座、講演会、イベント)(年19回)	・クルマづくり究めるPJ(年30回程度)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年4講座) ・科学技術教育振興事業の実施(講座、講演会、イベント)(年19回)	・クルマづくり究めるPJ(年30回程度)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年4講座) ・科学技術教育振興事業の実施(講座、講演会、イベント)(年20回)		
	実績(成果)	・クルマづくり究めるPJ確定／参加者募集チラシ作成・配布／事業PR実施 ・匠に学ぶものづくりPJ内容7つを検討 ・中学生を対象としたサイエンスクラブの試行的実施を確定	・クルマづくり究めるPJ(年30回)実施 ・匠PJ(竹細工・鍛冶屋・和紙職人・年10回)実施 ・中学生を対象とした科学技術教育振興事業(連続講座、イベント、講演会等)の実施(年13回)	・クルマづくり究めるPJ(年30回程度)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年3講座) ・中学生を対象とした科学技術教育振興事業(連続講座、イベント、講演会等)の実施(年19回)	・クルマづくり究めるPJ(年30回)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年3講座) ・中学生を対象とした科学技術教育振興事業(連続講座、イベント、講演会等)の実施(年25回)	・クルマづくり究めるPJ(年30回)実施 ・匠の技に学ぶものづくりPJ実施(年3講座) ・中学生を対象とした科学技術教育振興事業(連続講座、イベント、講演会等)の実施(年22回)		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	21,508千円	21,632千円	17,368千円	16,812千円		
	決算額	0千円	10,778千円	20,348千円	7,263千円	11,835千円		
	事務量(正規)	50人日	380人日	400人日	400人日	400人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価			○				
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	福本	作成年月	平成30年5月	
実施内容	2-4(2)2	放課後児童クラブ等でのものづくりサポーターによるものづくり活動支援						
種別	新規	担当課	市民活躍支援課			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	該当	8ものづくり事業の更なる展開					
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり					
	施策	2-4	ものづくり文化の醸成					
	取組	(2)	系統的なものづくり事業の構築と普及					
② 取組の概要	目的 (何のために)	生活の中や身近な地域でものづくりにふれ、ものづくりの楽しさを感じ取る						
	時期 (いつ)	随時						
	場所 (どこで)	市内交流館や放課後児童クラブなど						
	対象 (誰に)	幼児・小学生						
	方法 (何を)	中学校文化部の生徒が、子どもたちにもものづくりを教える						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	年5団体支援						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・支援の内容やサポーター派遣の方法など検討	・放課後児童クラブへのものづくり教室:1中学校以上、交流館でのものづくり講座:2中学校以上、とよた大好きっ子カキウム(モデル地区)でのものづくり教室:1中学校	・交流館など身近な場所でのものづくり講座開催:4中学校以上	・交流館など身近な場所でのものづくり講座開催:5中学校以上	・交流館など身近な場所でのものづくり講座開催:5中学校以上		
	実績 (成果)	・放課後児童クラブで中学生講師によるものづくり体験:2クラブ ・交流館で中学校文化部生徒による部活動のものづくり講座開催:1館	・放課後児童クラブものづくり教室:1中学校(8月) ・交流館ものづくり講座:2中学校(8月) ・とよた大好きっ子カキウム(モデル地区):1中学校(10月) ・放課後児童クラブ指導員研修会(11月)	・交流館ものづくり講座:2中学校(8・2月) ・とよた大好きっ子カキウム(モデル地区):1中学校(10月) ・交流館祭でのものづくりブース:1中学校(11月) ・放課後児童クラブ指導員研修会(11月)	・交流館ものづくり講座:3中学校(8・1月) ・交流館ふれあい祭でのものづくりブース:1中学校(10月)	・交流館ものづくり講座:2中学校(7・8月) ・交流館ふれあい祭でのものづくりブース:2中学校(10月)		
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	120千円	140千円	140千円	120千円		
	決算額	30千円	63千円	65千円	60千円	14千円		
	事務量(正規)	10人日	20人日	25人日	25人日	20人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	福本	作成年月	平成30年5月	
実施内容	2-4(3)1	ものづくりサポーターの増員						
種別	拡充	担当課	市民活躍支援課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	2	生涯学習・次世代育成分野／市民が生涯を通じて育ち合う環境づくり					
	施策	2-4	ものづくり文化の醸成					
	取組	(3)	ものづくり事業を推進するための仕組みづくり					
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民力を活用して、子どもたちのものづくり学習を支えるため。						
	時期 (いつ)	随時						
	場所 (どこで)	ものづくりサポートセンターを拠点とし、市内小学校や交流館、とよた科学体験館などで活動						
	対象 (誰に)	ものづくりが好きで、子どもたちのために協力的に活動できる方						
	方法 (何を)	サポーター募集チラシや報道機関への情報提供等により、広く活動をPRして、ものづくりサポーターを組織する						
③ 設定目標	現状	106人						
	目標	160人						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	サポーター登録者数 106人	サポーター登録者数 110人	サポーター登録者数 125人	サポーター登録者数 125人	サポーター登録者数 160人		
	実績 (成果)	・チラシによりPR (シルバー人材センター・交流館等の関係施設へ3,300枚) ・報道機関への情報提供と取材(4社) ・サポーター登録者数 120人	・全サポーターに活動調査を実施(4月) ・チラシ設置や高年大学受講生へのPR(2月) ・広報での募集(3月) ・報道機関への情報提供と取材(4~1月) ・サポーター登録者数 105人	・チラシ・ポスター設置 (シルバー人材センター・交流館等) チラシ3,400枚、ポスター50枚 ・高年大学受講生へのPR、広報募集(3月) ・報道機関情報提供・取材(4~1月) ・サポーター登録者数 116人	・チラシ・ポスター設置 (シルバー人材センター・交流館等) チラシ3,400枚、ポスター50枚 ・高年大学受講生へのPR、広報募集(3月) ・報道機関情報提供・取材(4~1月) ・サポーター登録者数 107人	・チラシ・ポスター設置 (シルバー人材センター・交流館等) チラシ3,400枚、ポスター50枚 ・高年大学受講生へのPR、広報募集(3月) ・報道機関情報提供・取材(4~1月) ・サポーター登録者数 109人		
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							・新規登録者もあるものの登録辞退者も同程度あり2人増にとどまった。今後、定年退職後も再就職する高齢者が増加傾向にあり、サポーターの大幅増は困難である。
⑤ コスト	予算額	335千円	340千円	285千円	350千円	340千円		
	決算額	241千円	213千円	271千円	271千円	279千円		
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日		
	事務量(臨時)	6人日	6人日	6人日	6人日	6人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田栄	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-1(1)1	体験型公演の充実					
種別	拡充	担当課	文化振興課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-1	文化芸術と出会う機会の拡充				
	取組	(1)	子どもが文化芸術に出会う機会の拡充				
② 取組の概要	目的(何のために)	子どもたちの文化芸術に対する関心を高めるため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	コンサートホール・能楽堂、市民文化会館					
	対象(誰に)	児童生徒、保護者					
	方法(何をする)	親子で参加できる体験型公演の開催					
③ 設定目標	現状	年2事業実施					
	目標	年5事業実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・2事業の継続実施	・事業数増加に向けた文化振興財団との協議	・事業開催及び評価検証(年3事業開催)	・事業開催及び評価検証(年4事業の開催)	・事業開催及び評価検証(年5事業開催)	
	実績(成果)	・コンサートホールフェスティバル(2月) ・わくわく能楽体験(8月)	・コンサートホールフェスティバル(12月) ・わくわく能楽体験(8月) ・ふらっと能楽堂『影絵の魅力』(10月) ・能楽入門講座『親子でお囃子体験』(2・3月) ・夏休み子ども博覧会(7月)	・夏休み子ども博覧会(7月) ・わくわく能楽体験(8月) ・能楽入門講座『親子で謡・仕舞体験』(10・11月) ・コンサートホールフェスティバル(2月) ・ふらっと能楽堂「楽屋で寺子屋(長唄をきいて、三味線体験)」(3月)	・夏休み子ども博覧会(8月) ・わくわく能楽体験(8月) ・おいでんアート体験フェア(10月) ・コンサートホールフェスティバル(10月)	・とよたふれあい将棋フェスティバル(6月) ・わくわく能楽体験(8月) ・おいでんアート体験フェア(9月) ・コンサートホールフェスティバル(3月) ・とよた囲碁まつり	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	4,388千円	4,515千円	5,522千円	9,897千円	16,040千円	
	決算額	3,841千円	3,882千円	4,708千円	9,090千円	15,161千円	
	事務量(正規)	1人日	1人日	1人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	都筑	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-1(1)2 小中学校を対象とした美術館学習						
種別	拡充	担当課	美術館			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-1	文化芸術と出会う機会の拡充				
	取組	(1)	子どもが文化芸術に出会う機会の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	美術館で実際に美術品に親しんでもらい、美術に関心を持ってもらう					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	美術館					
	対象 (誰に)	小中学生					
	方法 (何を)	美術館講堂で説明を行い、展示室で実際に作品の解説を行う					
③ 設定目標	現状	実施校数小学校年5校、中学校 ー					
	目標	実施校数小学校年5校、中学校年10校					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・中学校10校	・中学校10校	夏休み期間休館中のため実施せず	・中学校10校、小学校5校	・中学校10校、小学校5校	
	実績 (成果)	・中学校2校169人 ・小学校3校29人	中学校12校1,085人	・休館のため、実績なし	・中学校59校、5,566人 ・小学校9校、600人 ※デトロイト美術館展において豊田市内の全ての中学2年生が鑑賞	<市内> ・中学校18校、718人 ・小学校6校、691人 (うち庭園等のみ、3校610人) <市外> ・中学校13校、164人 ・小学校4校、240人 ・特別支援学校2校、31人	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	学校からの希望で実施しているので、PRの方法、機会を充実させる					
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	6,500千円	0千円	
	決算額	0千円	136千円	0千円	6,084千円	0千円	
	事務量(正規)	4人日	4人日	0人日	8人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	28人日	1人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	都筑	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-1(1)3 小中学校長期休暇期間中の体験型展覧会の開催						
種別	拡充	担当課	美術館			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-1	文化芸術と出会う機会の拡充				
	取組	(1)	子どもが文化芸術に出会う機会の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	美術館で実際に美術作品に親んでもらい、美術に関心を持ってもらうため					
	時期 (いつ)	7月～8月					
	場所 (どこで)	美術館					
	対象 (誰に)	小中学生					
	方法 (何を)	夏休み期間中に体験型の展覧会を開催する					
③ 設定目標	現状	夏休み期間中に親子で参加する体験型展覧会の開催					
	目標	長期休暇期間中に親子で参加する体験型展覧会やワークショップの開催					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・体験型展覧会の実施	・体験型展覧会の実施	・体験型展覧会の実施	・体験型展覧会の実施	・体験型展覧会の実施	
	実績 (成果)	夏休み子どものプログラム2013「高橋匡太ーぼくとひかりと夏休み」展 ・目標観覧者数10,000人 ・期間中観覧者12,295人	夏休み子どものプログラム2014「こじまひさやーあっち？こっち？どっち？」展 ・目標観覧者数 5,000人 ・期間中観覧者 6,768人	・美術館休館中の館外ワークショップ「カセットプラント・ワークショップ」の成果を活かした展覧会「山口啓介 カナリア」を開催 ・ワークショップ参加者数 613人 ・観覧者数11,458人	・ジブリの立体建造物展の開催を子ども向け展覧会にかえて実施。 観覧者数294,258人 (うち小・中学生59,909人)	森千裕展とワークショップ ・「大きならくがきを描こう」美術館開催:25人 ・「今はないものを絵に描いてみよう！」童子山小学校開催:99人 ・ワークショップ・出張授業のドキュメント展示 ・展覧会観覧者:29,299人	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,450千円	4,300千円	1,100千円	18,000千円	4,720千円	
	決算額	3,450千円	4,298千円	1,100千円	18,000千円	5,790千円	
	事務量(正規)	60人日	60人日	30人日	120人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	2人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	内田	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-1(2)1 民芸館講座入門者コースの開設						
種別	新規	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-1	文化芸術と出会う機会の拡充				
	取組	(2)	市民が文化芸術に出会う機会の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民が文化芸術や民芸に触れる機会を充実するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	民芸館					
	対象 (誰に)	市民					
	方法 (何を)	初心者を対象にした講座を開設する。					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	入門者コース3講座実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・1講座開設	・1講座開設(ガス窯陶芸講座) ・新規開設講座の検討	・1講座開設 ・新規開設講座の検討	・2講座開設 ・新規開設講座の検討	・3講座開設	
	実績 (成果)	・ガス窯陶芸講座を開設	・ガス窯陶芸講座を開設 ・ガス窯陶芸で申込み不要の体験講座の開設や、挙母木綿講座指導スタッフと新規講座の開設の可能性など検討	・ガス窯陶芸講座を開設 挙母木綿講座指導スタッフと新規講座の開設の可能性など検討	・ガス窯陶芸講座「基礎コース」の開設 ・気軽に陶芸体験「初めてのやきものづくり」開設 ・講座の今後について講師との意見交換会を開催	・ガス窯陶芸講座「基礎コース」の開設 ・気軽に陶芸体験「初めてのやきものづくり」開設 ・とんぼ玉体験講座を大人向けに新規1回開設	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	60千円	85千円	102千円	102千円	102千円	
	決算額	51千円	102千円	102千円	102千円	102千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	3人日	3人日	3人日	3人日	3人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	大澤	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-1(2)2 藤沢アートハウスでの美術館普及活動						
種別	新規	担当課	美術館	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-1	文化芸術と出会う機会の拡充				
	取組	(2)	市民が文化芸術に出会う機会の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	美術文化の地域への普及のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	藤沢アートハウス					
	対象 (誰に)	地域					
	方法 (何を)	愛知県芸術大学との連携や住民との協業により講座やイベントを実施					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	出前講座年 5回実施					
	目標(変更)	終了					平成27年度
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・出前講座またはイベント5回実施	・出前講座またはイベント5回実施	・愛知県立芸術大学の利用方針の変更により中止	・愛知県立芸術大学の撤退により事業終了	・愛知県立芸術大学の撤退により事業終了	
	実績 (成果)	・大学教員、卒業生が作品制作のアトリエとして利用 ・展覧会(2事業) ・コンサート(1事業) ・トーク(1事業) ・講座(1事業)	・大学と地元住民と連携して下記の事業を実施 ・展覧会(1事業) ・コンサート(1事業) ・トーク(1事業) ・講座(1事業) ・ワークショップ(1事業)	—	—	—	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	終了	終了	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	2人日	2人日	2人日	0人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田栄	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-1(2)3	出前コンサートの拡充					
種別	拡充	担当課	文化振興課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-1	文化芸術と出会う機会の拡充				
	取組	(2)	市民が文化芸術に出会う機会の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民が文化芸術に出会う機会を増やし、文化芸術への関心を高めるため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	交流館、コミュニティセンター、福祉施設、子育て支援センターなど					
	対象 (誰に)	上記施設の利用者					
	方法 (何を)	交流館など市民に身近な場所での鑑賞事業の開催					
③ 設定目標	現状	参加者年2,500人					
	目標	参加者年5,000人					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・事業開催(参加者年3,000人)	・事業数増加に向けた文化振興財団との協議(参加者年3,000人)	・事業数増加に向けた文化振興財団との協議(参加者年3,500人)	・事業数増加に向けた文化振興財団との協議(参加者年4,000人)	・事業数増加に向けた文化振興財団との協議(参加者年5,000人)	
	実績 (成果)	・27事業、参加者2,391人	・文化振興財団と協議 ・30事業、参加者3,374人	・文化振興財団と協議 ・26事業、参加者3,399人	・文化振興財団と協議 ・26事業、参加者2,207人	・文化振興財団と協議 ・24事業、参加者3,236人	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	C 遅れ(対応可能)	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入				事業の実施場所により参加者数が限定されてしまうため。今後は、より多くの方が参加できるように、交流館との連携をより一層図っていく。	事業の実施場所により参加者数が限定されてしまうため。今後は、より多くの方が参加できるように、交流館との連携をより一層図っていく。	
⑤ コスト	予算額	340千円	407千円	410千円	411千円	381千円	
	決算額	430千円	348千円	342千円	326千円	381千円	
	事務量(正規)	2人日	1人日	1人日	1人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田栄	作成年月	平成30年5月	
実施内容	3-2(1)1	クラシック音楽・能楽鑑賞事業出演者によるアウトリーチの実施						
種別	新規	担当課	文化振興課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承					
	施策	3-2	文化芸術活動の機会提供と質の向上					
	取組	(1)	各種鑑賞機会の充実					
② 取組の概要	目的 (何のために)	一流の演奏を間近で観る機会を作り、質の高い芸術への関心を高めるため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	小中学校、公共施設など						
	対象 (誰に)	市民(主に小中学生)						
	方法 (何を)	コンサートホールで公演を行う一流のアーティストによる出張型公演の開催						
③ 設定目標	現状	—						
	目標	年5件実施						
	目標(変更)							
	対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・共催事業化に向けた内部協議の実施	・アウトリーチ事業の開催(年5事業)	・アウトリーチ事業の開催(年5事業)	・アウトリーチ事業の開催(年5事業)	・アウトリーチ事業の開催(年5事業)		
	実績 (成果)	・H26年度より共催事業化(H25年度は文化振興財団自主事業として実施)	10事業、参加者1,548人	10事業、参加者2,475人	10事業、参加者2,390人	9事業、参加者1,980人		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	0千円	500千円	500千円	500千円	500千円		
	決算額	0千円	462千円	207千円	480千円	500千円		
	事務量(正規)	1人日	1人日	1人日	1人日	1人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	児玉	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-2(1)2	民芸館展覧会の充実					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-2	文化芸術活動の機会提供と質の向上				
	取組	(1)	各種鑑賞機会の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	展覧会の質の向上を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	各地					
	対象 (誰に)	調査対象先					
	方法 (何を)	現地の調査研究を行う					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	現地調査研究年2件実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・現地調査研究1件	・現地調査研究1件	・現地調査研究2件	・現地調査研究2件	・現地調査研究2件	・現地調査研究2件
	実績 (成果)	・現地調査研究1件: 特別展「バーナード・リーチ」(調査先:日本民藝館、瀬戸市美術館、瀬戸本業窯、南山大学准教授ほか)	・現地調査研究1件 特別展「柳宗理の見てきたもの」 (調査先 日本民藝館 柳デザイン研究会 柳ショップ 岐阜県セラミックス研究所ほか)	・現地調査研究2件 特別展「生誕120年記念濱田庄司」 (調査先 日本民藝館 益子参考館) 企画展「陶磁のこま犬」 (調査先 愛知県陶磁美術館ほか)	・現地調査研究2件 特別展「生誕120年記念芹沢銈介」 (調査先 日本民藝館 静岡市芹沢銈介美術館) 企画展「河村家三代展」 (調査先 鎌倉・其中窯)	・現地調査研究2件 特別展「柳宗悦・蒐集の軌跡」 (調査先 日本民藝館) 企画展「生誕120年名誉市民 本多静雄コレクションⅤ」 (調査先 杉本美術館)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	50千円	50千円	50千円	50千円	50千円	50千円
	決算額	20千円	64千円	76千円	75千円	50千円	50千円
	事務量(正規)	5人日	5人日	7人日	7人日	7人日	7人日
	事務量(臨時)	5人日	5人日	7人日	7人日	7人日	7人日
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	北谷	作成年月	平成30年5月	
実施内容	3-2(1)3	魅力ある美術館展覧会の開催						
種別	継続	担当課	美術館			国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承					
	施策	3-2	文化芸術活動の機会提供と質の向上					
	取組	(1)	各種鑑賞機会の充実					
② 取組の概要	目的 (何のために)	目新しいアートファンの獲得と幅広い層に楽しんでいただくため						
	時期 (いつ)	通年(4～3月)						
	場所 (どこで)	美術館						
	対象 (誰に)	市民						
	方法 (何を)	分かりやすい・市民が行きたくなる展覧会を企画・開催する						
③ 設定目標	現状	年4期に分けて企画展・常設展の開催						
	目標	年4期に分けて企画展・常設展の開催						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	年4期に分けて企画展常設展の開催	改修工事に入るまでの年度前半に企画展常設展を2期開催	改修工事後の秋から企画展常設展を2期開催	年4期に分けて企画展常設展の開催	年4期に分けて企画展常設展の開催		
	実績 (成果)	《企画展》 ・フランス・ペーコン展 33,981人 ・反重力展 22,578人 《常設特別展》 ・高橋匡太展 12,295人 ・愛・知のリアリズム展 8,369人	《企画展》 ・荒木経惟展 20,414人 ・ジャン・フォートリエ展 11,590人 《常設特別展》 ・こじまひさや展 6,768人 ・世紀転換期のドイツ語圏の雑誌デザイン展 4,759人	《企画展》 ・ソフィ・カル展 16,767人 ・山口啓介展 11,458人 《常設特別展》 ・わたしたちのすがた、いのちのゆくえ展 16,707人 ・時と意識展 13,208人	《企画展》 ・デトロイト美術館展 86,824人 ・ジブリの立体建造物展 294,258人 ・杉戸洋展 33,554人 ・蜘蛛の糸展 15,189人 《常設特別展》 ・山本富章展 51,635人 ・切断してみる。二人の耕平展 7,457人 ・浅野弥衛展 7,457人	《企画展》 ・東山魁夷唐招提寺御影堂障壁画展 93,826人 ・奈良美智展100,051人 ・ジャコモッティ展 25,182人 ・ビルディング・ロマンス展8,821人 《常設特別展》 ・岡崎乾二郎展42,951人 ・小嶋悠司展42,951人 ・森千裕展29,299人 ・高橋節郎宇宙の彼方へ9,793人		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	109,191千円	82,144千円	49,915千円	97,414千円	168,218千円		
	決算額	109,260千円	80,540千円	173,490千円	90,324千円	169,635千円		
	事務量(正規)	480人日	240人日	240人日	480人日	480人		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	2人日	2人日		
⑥ その他	点検・評価		○			○		
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	内田	作成年月	平成30年5月	
実施内容	3-2(2)1	民芸館講座受講者の発表機会の充実						
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承					
	施策	3-2	文化芸術活動の機会提供と質の向上					
	取組	(2)	創作・発表機会の充実					
② 取組の概要	目的 (何のために)	民芸館講座受講者の作品の発表機会の充実を図るため						
	時期 (いつ)	通年(4~3月)						
	場所 (どこで)	民芸館及び市内各所						
	対象 (誰に)	民芸館講座受講者						
	方法 (何を)	受講者の作品発表会を行う						
③ 設定目標	現状	受講者の講座作品展 年1回開催						
	目標	受講者の講座作品展 年2回開催						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・受講者の講座作品展1回	・受講者の講座作品展1回	・受講者の講座作品展2回	・受講者の講座作品展2回	・受講者の講座作品展2回		
	実績 (成果)	・受講者の講座作品展 全講座 1回(3~5月:民芸館) 染織講座 1回(9月:中央図書館)	・受講者の講座作品展 全講座 1回(2~5月:民芸館) ・挙母木綿講座作品展(9~10月:民芸館) ・絞り染め講座作品展(5~6月)、染織講座作品展(6~7月) 共に百五銀行豊田支店 ・とんぼ玉講座作品展(7月:中央図書館)	・受講者の講座作品展 全講座 1回(2~5月:民芸館) ・挙母木綿講座作品展 1回(9~10月:中央図書館) ・絞り染め講座作品展 外展示 1回(5月:民芸館)	・受講者の講座作品展 全講座 1回(3~6月:民芸館) ・挙母木綿講座作品展 1回(2~3月:民芸館)	・受講者の講座作品展 全講座 1回(3~5月:民芸館) ・挙母木綿作品展(7~8月:市役所南庁舎、11月:KiTARAオープンイベント)		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	50千円	50千円	50千円	50千円	50千円		
	決算額	5千円	5千円	5千円	5千円	5千円		
	事務量(正規)	3人日	5人日	5人日	5人日	5人日		
	事務量(臨時)	10人日	18人日	12人日	12人日	12人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田栄	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-2(2)2	市民美術展の開催					
種別	継続	担当課	文化振興課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-2	文化芸術活動の機会提供と質の向上				
	取組	(2)	創作・発表機会の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民の創作活動の意欲を高め、質の向上を図るため					
	時期 (いつ)	年1回(11月)					
	場所 (どこで)	市民文化会館、美術館など					
	対象 (誰に)	市内在住、在勤、在学の満15歳以上の市民					
	方法 (何を)	公募型市民美術展を開催し、審査による評価及び入選作品による展覧会の開催					
③ 設定目標	現状	応募者数年371人					
	目標	応募者数年450人					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・美術展運営委員会の開催(年2回)及び要項の見直し	・美術展運営委員会の開催(応募数380)	・美術展運営委員会による開催方法検討(応募数400)	・美術展運営委員会による開催方法検討(応募数425)	・美術展運営委員会による開催方法検討(応募数450)	
	実績 (成果)	・美術展運営委員会の開催(2回) ・表彰本数の見直しなど要項改正 ・応募者数371人	・美術展運営委員会の開催(2回) ・応募者数339人	・美術展運営委員会の開催(2回) ・応募者数340人	・美術展運営委員会の開催(2回) ・応募者数388人	・美術展運営委員会の開催(2回) ・応募者数405人	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,935千円	4,130千円	4,182千円	3,933千円	3,595千円	
	決算額	3,657千円	3,574千円	3,743千円	3,610千円	3,315千円	
	事務量(正規)	80人日	80人日	80人日	80人日	80人日	
	事務量(臨時)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田栄	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-3(1)1	地域資源を活用した文化事業の奨励					
種別	新規	担当課	文化振興課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	該当	9 文化芸術に係る人材育成と活用				
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-3	文化振興を担う人材の育成・活用				
	取組	(1)	文化芸術を社会貢献につなげる人材育成				
② 取組の概要	目的 (何のために)	アートを活用したまちづくりを主体的に行うことのできる人材の育成のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内					
	対象 (誰に)	18歳以上の個人または団体					
	方法 (何を)	地域資源を活用したアートプロジェクトの企画案を公募し、採択された事業に対し奨励金を支払う					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	25事業奨励					
	目標(変更)	15事業奨励					平成28年度
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・モデル2事業の開催、検証及び公募制度の設計	・公募制度開始(採択10事業)及び改善調整	・前年度実績の検証 ・公募制度実施(採択15事業)	・公募制度実施(採択20事業)	・公募制度実施(採択15事業)	
	実績 (成果)	・モデル事業「孫たちへのバトン」の開催(8月、参加者数230人) ・モデル事業「Garden of Memory ~記憶の庭」の開催(8~10月、参加者数1,020人) ・地域・文化団体・大学との連携共働について検証し制度設計及び応募要項の作成	採択事業13事業、参加者約3,800人	採択事業16事業、参加者約5,939人	採択事業15事業、参加者約2,918人	・採択事業13事業、参加者約1,985人 ・市民アートプロジェクト開始(アートサポーター登録者約60人)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入				採択事業数を年々増やすのではなく、採択事業を15事業程度とし、各事業の質を保つよう方針を変更したため。		
⑤ コスト	予算額	2,104千円	6,671千円	6,898千円	6,956千円	10,412千円	
	決算額	2,030千円	5,917千円	6,414千円	4,964千円	10,444千円	
	事務量(正規)	250人日	750人日	750人日	750人日	750人日	
	事務量(臨時)	40人日	40人日	40人日	20人日	20人日	
⑥ その他	点検・評価			○			
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	内田	作成年月	平成30年5月	
実施内容	3-3(1)2	民芸館講座指導スタッフの育成						
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承					
	施策	3-3	文化振興を担う人材の育成・活用					
	取組	(1)	文化芸術を社会貢献につなげる人材育成					
② 取組の概要	目的 (何のために)	民芸館講座で学んだ受講者の能力を活用し、指導スタッフとして育成する。						
	時期 (いつ)	通年(4～3月)						
	場所 (どこで)	民芸館						
	対象 (誰に)	民芸館講座受講者						
	方法 (何を)	民芸館講座の受講生の中から指導スタッフを育成する。						
③ 設定目標	現状	指導スタッフが実施する講座数 1						
	目標	指導スタッフが実施する講座数 3						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・指導スタッフが実施する講座1件(絞り染め講座)	・指導スタッフが実施する講座2件	・指導スタッフが実施する講座2件	・指導スタッフが実施する講座3件	・指導スタッフが実施する講座3件	・指導スタッフが実施する講座3件	
	実績 (成果)	・指導スタッフが実施する講座1件(絞り染め講座)	・指導スタッフが実施する講座2件(絞り染め講座、挙母木綿講座) ・体験講座などでの上級受講者による指導補助3件(ガス窯、染織、とんぼ玉講座)	・指導スタッフが実施する講座2件(絞り染め講座、挙母木綿講座) ・体験講座などでの上級受講者による指導補助3件(ガス窯、染織、とんぼ玉講座)	・指導スタッフが実施する講座3件(絞り染め講座、挙母木綿講座、ガス窯陶芸講座) ・体験講座などでの上級受講者による指導補助3件(ガス窯、染織、とんぼ玉講座)	・指導スタッフが実施する講座3件(絞り染め講座、挙母木綿講座、ガス窯陶芸講座) ・体験講座などでの上級受講者による指導補助3件(ガス窯、染織、とんぼ玉講座)	・指導スタッフが実施する講座3件(絞り染め講座、挙母木綿講座、ガス窯陶芸講座) ・体験講座などでの上級受講者による指導補助3件(ガス窯、染織、とんぼ玉講座)	・指導スタッフが実施する講座3件(絞り染め講座、挙母木綿講座、ガス窯陶芸講座) ・体験講座などでの上級受講者による指導補助3件(ガス窯、染織、とんぼ玉講座)
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	30千円	52千円	149千円	169千円	290千円		
	決算額	43千円	67千円	122千円	289千円	235千円		
	事務量(正規)	3人日	5人日	5人日	5人日	5人日		
	事務量(臨時)	1人日	1人日	1人日	1人日	1人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	都筑	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-3(1)3	作品ガイドボランティアの充実					
種別	拡充	担当課	美術館	国県補助		無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-3	文化振興を担う人材の育成・活用				
	取組	(1)	文化芸術を社会貢献につなげる人材育成				
② 取組の概要	目的 (何のために)	初心者向けのガイドの充実とスキルアップを図るため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	美術館					
	対象 (誰に)	来館者					
	方法 (何を)	作品ガイドボランティアの育成・増員をする					
③ 設定目標	現状	25人					
	目標	30人					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・作品ガイドボランティア25人	・作品ガイドボランティア30人	・作品ガイドボランティア30人	・作品ガイドボランティア30人	・作品ガイドボランティア30人	
	実績 (成果)	・作品ガイドボランティア25人	・新規作品ガイドボランティア8名登録、研修実施 ・作品ガイドボランティア33人	・研修実施 ・作品ガイドボランティア33人	・研修実施 ・作品ガイドボランティア33人	・研修実施 ・20周年記念事業実施 (11/11、12「オールデイトーク」285人、2/8研修会30人、2/17講演会「作品を通じて自己を知る」85人、20周年記念誌制作) ・作品ガイドボランティア30人	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	1,000千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	1,653千円	
	事務量(正規)	100人日	100人日	100人日	100人日	53人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田昌	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-3(1)4	舞台芸術人材育成事業の実施					
種別	継続	担当課	文化振興課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-3	文化振興を担う人材の育成・活用				
	取組	(1)	文化芸術を社会貢献につなげる人材育成				
② 取組の概要	目的 (何のために)	演劇など舞台芸術活動を主体的に実施することのできる人材の育成のため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内					
	対象 (誰に)	18歳以上の人					
	方法 (何を)	演劇等の活動者育成のための養成事業開催					
③ 設定目標	現状	文化ボランティア登録数 71人					
	目標	文化ボランティア登録数 130人					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・事業開催及び応募者増に向けた内部検討(文化ボランティア数80人)	・主体的な人材をより効果的に育成するための事業内容の刷新及び開催(文化ボランティア数90人)	・事業実施、検証及び方向性の検討(文化ボランティア数100人)	・事業実施、検証及び方向性の検討(文化ボランティア数115人)	・事業実施、検証及び方向性の検討(文化ボランティア数130人)	
	実績 (成果)	・2事業開催(演劇アカデミー、子ども創造劇場) ・文化ボランティア数81人	・2事業開催(演劇アカデミー、子ども創造劇場) ・文化ボランティア数105人	・2事業開催(演劇アカデミー、子ども創造劇場) ・文化ボランティア数125人	・2事業開催(演劇アカデミー、子ども創造劇場) ・文化ボランティア数139人	・2事業開催(演劇アカデミー、子ども創造劇場) ・文化ボランティア数157人	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	2,319千円	2,330千円	2,630千円	2,630千円	2,330千円	
	決算額	2,070千円	2,316千円	2,513千円	2,594千円	2,287千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田昌	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-3(2)1	学校への文化活動者派遣事業の実施					
種別	拡充	担当課	文化振興課		国県補助	無	
① 施策体系	重点テーマ	該当	9 文化芸術に係る人材育成と活用				
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-3	文化振興を担う人材の育成・活用				
	取組	(2)	人材活用の仕組みの構築				
② 取組の概要	目的 (何のために)	文化活動者のスキルを活用し、子どもの「生きる力」を育成するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内小中学校					
	対象 (誰に)	文化活動者、小中学生					
	方法 (何を)	文化活動者を小中学校へ派遣し、指導を行う制度の構築と実施					
③ 設定目標	現状	体験者年2,100人					
	目標	体験者年4,000人					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 3小学校におけるモデル事業の実施 実施プログラム拡充に向けたワーキンググループの開催 和楽器日舞指導者派遣事業の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 新規プログラムによる試行実施及び検証(参加児童生徒2,500人) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施及びプログラム拡充(参加児童生徒3,000人) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施及びプログラム拡充(参加児童生徒3,500人) 	<ul style="list-style-type: none"> 事業実施及びプログラム拡充(参加児童生徒4,000人) 	
	実績 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> 3小学校にて6授業実施(参加児童846人)、ワーキンググループにてプログラム案の検討(2回)、和楽器日舞指導者派遣事業の開催(参加児童2,384人) 	<ul style="list-style-type: none"> モデル事業の開催(9校、参加児童642人) 和楽器日舞指導者派遣事業の開催(32校、参加児童2,916人) 計41校、3,558人	<ul style="list-style-type: none"> 公募による事業の開催(21校・参加児童1,637人) 和楽器日舞指導者派遣事業の開催(23校・参加児童2,508人) 計45校、4,145人	<ul style="list-style-type: none"> 公募による事業の開催(28校・参加児童1,676人) 和楽器日舞指導者派遣事業の開催(39校・参加児童3,480人) 計67校、5,156人	<ul style="list-style-type: none"> 公募による事業の開催(35校・参加児童1,744人) 和楽器日舞指導者派遣事業の開催(35校・参加児童3,250人) 計70校、4,994人	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	978千円	1,000千円	1,000千円	1,000千円	1,100千円	
	決算額	666千円	992千円	924千円	994千円	1,096千円	
	事務量(正規)	60人日	20人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	10人日	10人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						○
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	都筑	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-4(1)1 閉館日を利用した美術鑑賞会の実施						
種別	新規	担当課	美術館			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備				
	取組	(1)	市民が利用しやすい施設運営				
② 取組の概要	目的 (何のために)	美術鑑賞の機会を拡大するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	美術館					
	対象 (誰に)	来館者					
	方法 (何を)	閉館時を利用した美術鑑賞の機会を設ける					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	年2回実施					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・年2回実施	・年1回実施	・年1回実施	・年2回実施	・年2回実施	
	実績 (成果)	・1回実施	・未実施	・1回実施(10月:小坂・樹木両自治区の在住者を対象に土曜日の開館前の時間帯に美術館閲覧の機会を設定した)	・8回実施 「デトロイト美術館展」 ・市内中学2年生が月曜日の休館日に観覧。7日間。 ・クラブツーリズムによる団体鑑賞を月曜日の休館日に実施。1日間	・1回実施 (6月クラブツーリズムによる団体鑑賞を月曜日の休館日に実施。398人)	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	A 予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	展覧会実行委員会での利用を見込んでいたが、利用は無かった。PRの機会と絡め、開催機会を増やしていく。	改修工事による休館もあり団体申込は無し。個人で参加できるナイトツアーは増えており個人向けプログラムの作成とPRが課題			平成29年度の点検・評価により施設管理上の閉館日の位置付けや本来の美術館休館日の在り方を踏まえ、事業内容を再考した。	
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	6,500千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	6,084千円	0千円	
	事務量(正規)	4人日	0人日	10人日	30人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	125人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田昌、太田栄	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-4(1)2 利用者ニーズに対応したサービスの向上(市民文化会館、コンサートホール・能楽堂)						
種別	継続	担当課	文化振興課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備				
	取組	(1)	市民が利用しやすい施設運営				
② 取組の概要	目的(何のために)	市民が利用しやすく、利用者ニーズに即した施設運営を図るため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	豊田市民文化会館、コンサートホール・能楽堂					
	対象(誰に)	市民					
	方法(何を)	施設利用に関する条例・規則改正や運営規程の見直し					
③ 設定目標	現状	施設利用に関する条例・規則改正(平成23年12月)					
	目標	アンケート調査実施、利用者満足度 80%					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	・施設運営に関する適時見直しの実施 ・主催者アンケート調査の実施 利用者満足度 70%	・施設運営に関する適時見直しの実施 ・主催者アンケート調査の実施 利用者満足度 70%	・施設運営に関する適時見直しの実施 ・主催者アンケート調査の実施 利用者満足度 75%	・施設運営に関する適時見直しの実施 ・主催者アンケート調査の実施 利用者満足度 75%	・施設運営に関する適時見直しの実施 ・主催者アンケート調査の実施 利用者満足度 80%	
	実績(成果)	・施設貸出備品の追加による規則改正	・施設運営の見直しに伴う条例・規則の改正に向けた準備 ・主催者アンケート実施	・市民文化会館条例・規則の改正 ・コンサートホール・能楽堂 多目的ルームの利用制限を緩和 ・コンサートホール・能楽堂ロビーに給水スペースを設置 ・主催者アンケートの実施	・コンサートホール・能楽堂での当日限定割引チケットの設定(ファミ割) ・主催者アンケートの実施 利用者満足度 78.6%	・施設運営に関する適時見直しの実施 ・文化会館窓口アンケート調査の実施 利用者満足度 97% ・コンサートホールにて主催者アンケートの実施 利用者満足度96%	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	1,900千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	920千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	5人日	30人日	20人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田昌	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-4(2)1	文化施設のバリアフリー化・延命化					
種別	新規	担当課	文化振興課・美術館	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備				
	取組	(2)	文化施設の整備と既存施設の機能保全・拡充				
② 取組の概要	目的(何のために)	文化施設の利便性向上や機能保全を図るため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	豊田市民文化会館、豊田市美術館					
	対象(誰に)	市民					
	方法(何を)	改修工事の計画的な実施					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	市民文化会館:トイレ・スロープなどの改修、設置 美術館:エレベーター・スロープなどの設置、設備などの延命化					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館トイレ改修工事の設計 美術館バリアフリー化、延命化工事の設計 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館バリアフリー等改修計画案策定及びトイレ改修工事の実施 美術館バリアフリー化、延命化工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館バリアフリー等改修に係る庁内調整 美術館バリアフリー化、延命化工事の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館大規模改修基本計画の策定 美術館改修収蔵庫増設に係る庁内調整 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館大規模改修設計に向けた調整 美術館改修・収蔵庫増設に係る仕様内容及び場所の選定 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館トイレ改修工事の設計完了 美術館バリアフリー化、延命化工事の設計完了 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館バリアフリー等改修計画案策定及びトイレ改修工事の完了 美術館バリアフリー化、施設延命化工事の一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館バリアフリー等改修を含む大規模改修に向けた庁内調整を実施 美術館エレベーター・スロープ等の設置、設備等の施設延命化工事の一部実施 	<ul style="list-style-type: none"> 会館構造体耐久性調査 市民文化会館大規模改修基本計画案の策定 美術館改修及び収蔵庫増設は、庁内調整により再検討中 	<ul style="list-style-type: none"> 市民文化会館のバリアフリー化に関する調整の結果、トイレ洋式化の拡充、大ホールエレベーター設置等に向けた設計中 美術館特定天井改修、照明のLED化、防水改修等の設計完了 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	50,300千円	820,300千円	517,000千円	32,000千円	0千円	
	決算額	49,916千円	86,121千円	517,000千円	17,744千円	19,872千円	
	事務量(正規)	10人日	260人日	230人日	150人日	32人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	平成29年度の市民文化会館改修設計は、公共建築課の補正予算で対応しているため決算額は未記入。平成29年度の美術館改修設計は、補正予算で実施。(予算額:20,000千円、決算額:19,872千円)					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	児玉	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-4(2)2	民芸の森の整備					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備				
	取組	(2)	文化施設の整備と既存施設の機能保全・拡充				
② 取組の概要	目的(何のために)	民芸資源や自然などを生かして、本市の民芸文化を創造する場として整備するため					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	民芸の森(平戸橋町)					
	対象(誰に)	市民					
	方法(何を)	施設整備及び市民参加による施設の利活用を検討する					
③ 設定目標	現状	整備計画検討中					
	目標	整備着手					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 建物解体工事 建築許可申請 地元説明 施設利活用の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫改築、駐車場・外構工事、オープンに向けた施設利活用検討 	<ul style="list-style-type: none"> 外構工事 オープンに向けた施設利活用企画運営 	<ul style="list-style-type: none"> 施設暫定オープン 	<ul style="list-style-type: none"> 運営予定 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 建物解体工事 建築許可申請及び許可 地元説明及び見学会開催 利活用等のワークショップ(4回)を開催し中間方針策定 	<ul style="list-style-type: none"> 収蔵庫改築、駐車場工事 オープンに向けた施設利活用検討及び利活用基本計画の決定(ワークショップ全体会3回、分科会11回開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 外構工事 オープンに向けた施設利活用の具体化、企画運営会議の組織化、オープン準備(企画運営会議準備会4回、民芸の森倶楽部設立、全体会・各部会開催) 	<ul style="list-style-type: none"> 企画運営会議4回 民芸森倶楽部支援(総会、世話人会など) オープニングイベント、初夏イベント 豊田らしい民芸体験(WS15回) 森づくり講習会4回 市民文化講座3回 ボランティアガイド36回 入場者数20,915人 	<ul style="list-style-type: none"> 企画運営会議4回 民芸森倶楽部支援(総会、世話人会など) 初夏イベント、観月会 民芸体験(WS16回) 森づくり講習会2回 市民文化講座8回 ボランティアガイド32回 森のアート展3回 入場者数17,093人 	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	16,000千円	181,134千円	46,556千円	0千円	0千円	
	決算額	17,010千円	134,483千円	53,492千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	50人日	90人日	90人日	90人日	90人日	
	事務量(臨時)	10人日	30人日	40人日	60人日	60人日	
⑥ その他	点検・評価						○
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA06	所属名	美術館	担当者	北谷	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-4(2)3 収集方針に基づく計画的美術作品の収集						
種別	拡充	担当課	美術館	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備				
	取組	(2)	文化施設の整備と既存施設の機能保全・拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	美術作品の充実を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	美術館					
	対象 (誰に)	市民					
	方法 (何を)	収集方針に基づき計画的に美術作品の収集をしていく					
③ 設定目標	現状	所蔵作品3,209点					
	目標	継続収集					
	目標(変更)						
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	
④ 取組計画・取組実績	計画	継続収集	継続収集	継続収集	継続収集	継続収集	
	実績 (成果)	・計画的に収集:購入16点、寄贈32点(総点数3,269点)	・計画的に収集:購入18点、寄贈5点(総点数3,411点)	・計画的に収集:購入15点、寄贈4点(総点数3,430点)	・計画的に収集:購入11点、寄贈39点(総点数3,480点)	・計画的に収集:購入13点、寄贈23点(総点数3,516点)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	50,000千円	50,000千円	48,000千円	46,000千円	28,000千円	
	決算額	49,994千円	49,998千円	47,992千円	46,000千円	27,624千円	
	事務量(正規)	6人日	6人日	36人日	36人日	36人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田昌	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-4(2)4	文化創造拠点施設の整備方針の再構築					
種別	継続	担当課	文化振興課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備				
	取組	(2)	文化施設の整備と既存施設の機能保全・拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民の文化活動を支援し、創作活動の場を提供するため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	-					
	対象 (誰に)	-					
	方法 (何を)	生涯学習審議会へ諮問する					
③ 設定目標	現状	内部協議検討中					
	目標	施設整備方針の再構築					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・内部協議の実施	・生涯学習審議会による協議実施	・生涯学習審議会の答申及び整備方針決定	・方針決定 ・事業化に向けた調整	・事業化に向けた調整	
	実績 (成果)	・内部協議実施	・市民アンケート及び市内公共文化施設調査を基に、文化創造機能と展開する事業について、生涯学習審議会において協議	・生涯学習審議会からの答申 ・整備方針見直し作業	・文化創造拠点及び歴史継承拠点の整備方針決定 ・基盤整備方針の検討 ・新博物館基本構想の策定	・事業化に向けた内部協議実施 ・交通量調査の実施	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	4,800千円	0千円	16,800千円	0千円	
	決算額	0千円	4,698千円	0千円	13,197千円	3,716千円	
	事務量(正規)	30人日	80人日	60人日	150人日	50人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	平成29年度は予算を流用して交通量調査を実施					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田栄	作成年月	平成30年5月	
実施内容	3-4(3)1	文化情報の一元化						
種別	新規	担当課	文化振興課	国県補助		無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承					
	施策	3-4	文化芸術活動を支える基盤の整備					
	取組	(3)	情報の収集・発信・活用					
② 取組の概要	目的(何のために)	文化芸術に関する多様な情報を効果的に収集、発信するため						
	時期(いつ)	通年(4~3月)						
	場所(どこで)	-						
	対象(誰に)	市民						
	方法(何を)	文化芸術に関する情報を提供するWEBサイトの制作と運営、文化芸術に関する資料の保存						
③ 設定目標	現状	-						
	目標	市内文化情報の一元化						
	目標(変更)							
対象年度		平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・文化芸術情報のWEB制作	・デカスWEBページ及びSNSを活用した、文化芸術情報の発信・収集の検討	・デカスWEBページ及びSNSを活用した、文化芸術情報の発信・収集の検討	・デカスWEBページ及びSNSを活用した、文化芸術情報の発信・収集の検討	・デカスWEBページ及びSNSを活用した、文化芸術情報の発信・収集の検討		
	実績(成果)	・文化芸術情報のWEBサイト構築及びFacebook開設 ・視聴覚ライブラリーのフィルム映像を確認 ・市政発信課と協議しデジタル化の実施	・文化芸術情報のWEBサイト活用及びFacebookへの投稿 ファン数429人、投稿数279件 ・フリーペーパーを活用した文化情報の発信	・文化芸術情報のWEBサイト活用 ・Facebookへの投稿 ファン数569人、投稿数117件 ・Twitterへの投稿 ファン数1,043人、投稿数1,421件 ・フリーペーパーやWEB広告を活用した文化情報の発信	・文化芸術情報のWEBサイト活用 ・Facebookへの投稿 ファン数644人、投稿数322件 ・Twitterへの投稿 ファン数1,205人、投稿数598件 ・WEB広告を活用した文化情報の発信	・文化芸術情報のWEBサイト活用 ・Facebookへの投稿 ファン数680人、投稿数57件 ・Twitterへの投稿 ファン数1,275人、投稿数242件		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	2,460千円	2,502千円	2,422千円	2,422千円	1,312千円		
	決算額	2,010千円	1,642千円	1,706千円	1,245千円	1,041千円		
	事務量(正規)	30人日	50人日	50人日	50人日	50人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	瀧瀬	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-5(1)1	新修豊田市史の刊行					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助		無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用				
	取組	(1)	郷土の歴史の編さん				
② 取組の概要	目的 (何のために)	郷土の歴史をまとめ後世に伝える。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市史編さん室					
	対象 (誰に)	市民					
	方法 (何を)	新修豊田市史編さん計画にもとづき平成34年度までに全25冊を刊行					
③ 設定目標	現状	3冊刊行					
	目標	17冊刊行					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・「近世Ⅰ」「美術・工芸」の編集・刊行 (累計5冊)	・「考古Ⅱ」「民俗Ⅱ」「現代Ⅰ」の編集・刊行 (累計8冊)	・「近世Ⅱ」「近代Ⅰ」「建築」の編集・刊行 (累計11冊)	・「考古Ⅲ」「民俗Ⅲ」「古代中世」の編集・刊行 (累計14冊)	・「近代Ⅱ」「近世Ⅲ」「自然」の編集・刊行 (累計17冊)	
	実績 (成果)	・「近世Ⅰ」「美術・工芸」の編集・刊行 (累計5冊)	・「考古Ⅱ」「民俗Ⅱ」「現代Ⅰ」の編集・刊行 (累計8冊)	・「近世Ⅱ」「近代Ⅰ」「建築」の編集・刊行 (累計11冊)	・「考古Ⅲ」「民俗Ⅲ」「古代中世」の編集・刊行 (累計14冊)	・「近代Ⅱ」「近世Ⅲ」「自然」の編集・刊行 (累計17冊)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	12,174千円	0千円	17,680千円	18,004千円	20,412千円	
	決算額	5,229千円	0千円	17,680千円	18,004千円	20,412千円	
	事務量(正規)	250人日	250人日	250人日	250人日	250人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	<p>・平成28年度に刊行した「考古Ⅲ」「民俗Ⅲ」「古代中世」の作成・配送業務については、債務負担行為のため平成29年度当初予算に計上(予算20,412千円)</p> <p>・平成29年度に刊行する「近世Ⅲ」「近代Ⅱ」「自然」の作成・配送業務については、債務負担行為のため平成30年度当初予算に計上(予算17,816千円)</p>					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	額 額	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-5(1)2	市史活用講座の開催					
種 別	拡充	担当課	文化財課	国県補助		無	
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用				
	取組	(1)	郷土の歴史の編さん				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市史編さん事業の成果を市民に紹介し、郷土に誇りと愛着を持つ市民が育てる。					
	時期 (いつ)	年3～4回					
	場所 (どこで)	市史編さん室					
	対象 (誰に)	市民					
	方法 (何を)	前年度に刊行した新修豊田市史の中で収集した資料などを解説し、郷土の歴史について関心を深める。					
③ 設定目標	現 状	年2回実施					
	目 標	市史刊行の翌年度に1冊当たり2～3回実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計 画	・4回(参加者延べ90人)	・4回開催(参加者延べ100人)	・3回開催(参加者延べ120人)	・3回開催(参加者延べ125人)	・3回開催(参加者延べ130人)	
	実 績 (成 果)	・4回開催、延べ107名	・3回開催、延べ115名	・3回開催、延べ168名	・3回開催、延べ134名	・3回開催、延べ150名	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	180千円	140千円	140千円	
	決算額	0千円	120千円	170千円	120千円	150千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	9人日	12人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備 考	・市史講座にかかる経費は、豊田市史資料調査委託費により計上・支出					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	名和	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-5(2)1	映像記録の作成					
種別	継続	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用				
	取組	(2)	郷土芸能等の保存・継承の支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	本市の貴重な財産である地域の郷土芸能を保存・継承する。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内各地区					
	対象 (誰に)	市内の民俗芸能保存団体					
	方法 (何を)	調査や映像を通して地域に残る民俗文化財の記録保存の充実を図る。					
③ 設定目標	現状	映像記録作成(年2団体)					
	目標	映像記録作成(年2団体以上)					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・映像記録年2本(「小原の雑敷」「大沼雅楽」)	・映像記録作成(「藤沢・押沢・松嶺地区棒の手」外2団体)	・映像記録作成(「平井八幡宮祭礼」「堤町山の講」)	・映像記録作成(年2団体以上)	・映像記録作成年1本「守綱神社・射徳神社・松生嶋弁財天のおためし」	
	実績(成果)	・映像記録年2本(「小原の雑敷」「大沼雅楽」)	・映像記録年2本「藤沢・押沢・松嶺地区棒の手」「旭八幡神社の祭礼」	・映像記録年2本(「平井八幡宮祭礼」「堤町山の講」)	・映像記録年2本「古瀬間ばやし」「八柱神社大祭」	・映像記録作成1本(3団体収録)「守綱神社・射徳神社・松生嶋弁財天のおためし」	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	450千円	2,371千円	260千円	260千円	1,894千円	
	決算額	236千円	1,556千円	260千円	260千円	1,286千円	
	事務量(正規)	5人日	15人日	2人日	3人日	6人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	岩井	作成年月	平成30年5月	
実施内容	3-5(2)2 民俗芸能の継承者育成支援と市民に紹介する機会の提供							
種別	継続	担当課	文化財課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承					
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用					
	取組	(2)	郷土芸能等の保存・継承の支援					
② 取組の概要	目的 (何のために)	民俗芸能の継承者育成と市民への周知をより一層図る。						
	時期 (いつ)	4・10月						
	場所 (どこで)	郷土資料館、民芸館						
	対象 (誰に)	市民						
	方法 (何を)	民俗芸能への理解と認識を深め、地域の民俗芸能に参加する場として、民俗芸能大会を開催する。						
③ 設定目標	現状	民俗芸能大会年2回開催						
	目標	民俗芸能を紹介する機会、年2回実施						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・4月に民芸館の民芸祭(4団体出演)、10月に郷土資料館の民俗芸能大会(5団体出演)を開催	・民俗芸能を紹介する機会年2回実施 ・民俗芸能探訪年1回(市内に残る民俗芸能を応募のあった市民がマイクロバスで訪問)	・民俗芸能を紹介する機会年2回実施 ・民俗芸能探訪年1回(市内に残る民俗芸能を応募のあった市民がマイクロバスで訪問)	・民俗芸能を紹介する機会年2回実施 ・民俗芸能探訪年1回(市内に残る民俗芸能を応募のあった市民がマイクロバスで訪問)	・民俗芸能を紹介する機会年2回実施		
	実績 (成果)	・民芸館の民芸祭4団体出演、来場者300人 ・地元団体とコラボ開催	・民芸祭(4月実施)、4団体出演、来場300人 ・民俗芸能大会(10月実施)、6団体出演、来場者500人 ・民俗芸探訪、「綾渡の夜念仏ツアー」台風のため中止(31名応募)	・民芸祭(4月実施)、4団体出演、来場300人 ・民俗芸能大会(10月実施)、5団体出演、来場者400人 ・民俗芸探訪、「綾渡の夜念仏ツアー」(8月実施)参加者24人	・民芸祭(4月実施)、4団体出演、来場400人 ・民俗芸能大会(11月実施)、7団体出演、来場者424人 ・民俗芸探訪、「綾渡の夜念仏ツアー」(8月実施)参加者21人	・民芸祭(4月実施)、3団体出演、来場200人 ・歌舞伎伝承館開館記念「農村歌舞伎五月公演」(5月実施)、市内農村歌舞伎保存会4団体出演、来場者1,000人		
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	10月開催予定の民俗芸能大会は台風接近に伴う悪天候の影響で中止	8月開催予定の民俗芸探訪が台風の影響で中止					
⑤ コスト	予算額	1,125千円	754千円	1,173千円	1,458千円	1,740千円		
	決算額	297千円	522千円	614千円	892千円	1,620千円		
	事務量(正規)	8人日	11人日	11人日	11人日	11人日		
	事務量(臨時)	1人日	2人日	2人日	2人日	2人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	井上	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-5(3)1	円滑な修理・修景事業の実施					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用				
	取組	(3)	町並みの保存整備と活用				
② 取組の概要	目的 (何のために)	郷土の歴史的町並みの保存を図り、歴史・文化の体感の場として活用することにより、郷土の貴重な財産を後世に伝える					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	豊田市足助伝統的建造物群保存地区					
	対象 (誰に)	豊田市足助伝統的建造物群保存地区内建物等の所有者等					
	方法 (何を)	修理・修景事業に補助金を交付する					
③ 設定目標	現状	4棟実施					
	目標	24棟実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・4棟実施	・9棟実施(累計17棟)	・4棟実施(累計15棟)	・4棟実施(累計23棟)	・4棟実施(累計26棟) (H28年度からの継続2棟)	
	実績 (成果)	・4棟実施(累計8棟)	・7棟実施(累計15棟)	・4棟実施(累計19棟)	・5棟実施(累計24棟)	・5棟実施(累計27棟)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	50,000千円	90,400千円	60,000千円	72,000千円	58,600千円	
	決算額	51,478千円	66,169千円	59,760千円	53,548千円	54,266千円	
	事務量(正規)	48人日	150人日	100人日	110人日	110人日	
	事務量(臨時)	16人日	30人日	20人日	20人日	20人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	井上	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-5(3)2	旧紙屋鈴木家住宅の国指定促進・保存整備					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	国		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用				
	取組	(3)	町並みの保存整備と活用				
② 取組の概要	目的 (何のために)	郷土の歴史的建造物の保存を図り、歴史・文化の体感の場として活用することにより、郷土の貴重な財産を後世に伝える					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	旧鈴木家住宅					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	旧鈴木家住宅の修理工事を行う					
③ 設定目標	現状	重要文化財指定を目指し、調査などを実施					
	目標	重要文化財指定後、全修復工事の45%実施					
	目標(変更)	重要文化財指定後、全修復工事の15%実施					平成27年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・重要文化財指定	・1期工事その1実施	・1期工事その1実施	・1期工事実施 ・2期工事実施	・2期工事実施	
	実績 (成果)	・重要文化財指定	・調査設計委託契約 ・1期工事その1契約	・1期工事実施	・1期工事完了 ・2期工事実施	・2期工事実施	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	19,523千円	36,624千円	65,000千円	95,000千円	66,000千円	
	決算額	17,301千円	33,496千円	41,664千円	87,045千円	59,165千円	
	事務量(正規)	40人日	200人日	200人日	230人日	230人日	
	事務量(臨時)	10人日	40人日	50人日	60人日	60人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	井上	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-5(3)3	町並み保存の住民組織の強化					
種別	継続	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-5	歴史の継承と文化財の保存・活用				
	取組	(3)	町並みの保存整備と活用				
② 取組の概要	目的 (何のために)	郷土の歴史的建造物の保存を図り、歴史・文化の体感の場として活用することにより、郷土の貴重な財産を後世に伝える					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	豊田市足助伝統的建造物群保存地区					
	対象 (誰に)	豊田市足助伝統的建造物群保存地区内住民等					
	方法 (何を)	保存会組織を設立する					
③ 設定目標	現状	町並み保存中心の活動					
	目標	町並み保存とまちづくりの活動を一体化するための保存会設置					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・伝建部会の実施	・伝建部会の実施	・伝建部会の実施	・伝建部会から保存会への名称変更および規約変更 ・保存会の活動	・保存会の活動 (足助伝建地区防災計画推進支援など)	
	実績 (成果)	・伝建部会を8回実施	・伝建部会を8回実施 ・亀山市関宿視察研修(4月) ・伝建協研修会参加(9月) ・保存会設立に向けた打合せ(3月)	・伝建部会において保存会設置に向けた協議5回 ・まちづくり推進協議会役員会の実施(12月)、全大会の実施(3月) ・伝建部会を保存会に組織変更(12月協議、3月承認)	・まちづくり推進協議会で伝建部会から保存会への名称変更および規約変更の承認(5月) ・保存会の活動(6回) ・伝建プレート貼布 ・伝建協中部北陸ブロック研修会開催支援(9月)	・保存会の活動(9回) ・町並みアンケート実施 ・防災部会に参加し、町並み消火器設置の支援 ・全国町並みゼミ有松大会にて活動報告(11月)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	36人日	48人日	36人日	36人日	45人日	
	事務量(臨時)	12人日	20人日	12人日	12人日	10人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	高橋	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-6(1)1	展覧会でのギャラリートークの開催					
種別	新規	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-6	歴史や文化財への理解の促進				
	取組	(1)	鑑賞・学習機会の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	展覧会を身近に感じてもらい歴史や文化財に対する関心を高め理解を深めてもらう。					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	郷土資料館・発見館					
	対象 (誰に)	市民・来館者					
	方法 (何を)	市民へ直接展示内容や歴史文化財を説明するギャラリートークを開催する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	年20回実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・年5回実施	・郷土資料館6回 ・発見館6回	・郷土資料館6回 ・発見館6回	・郷土資料館10回 ・発見館8回	・郷土資料館12回 ・発見館8回	
	実績 (成果)	・資料館8回 ・発見館5回	・郷土資料館6回 ・発見館6回	・郷土資料館11回 ・発見館5回	・郷土資料館10回 ・発見館12回	・郷土資料館12回 ・発見館11回	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円
	事務量(正規)	3人日	4人日	5人日	5人日	5人日	5人日
	事務量(臨時)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	岩井	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-6(1)2	体験・学習講座の実施					
種別	継続	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-6	歴史や文化財への理解の促進				
	取組	(1)	鑑賞・学習機会の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民が歴史や文化財に触れることができる機会を増やし、歴史や文化財に対する関心を高める機会とする。					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	郷土資料館、発見館					
	対象 (誰に)	来館または応募があった大人、親子、小中学生、未就学児					
	方法 (何を)	ものづくりや郷土の歴史、昔の暮らしを体験しながら親しむことができる親子、子供向けの講座を実施する。					
③ 設定目標	現状	講座 年38回、見学会 年6回実施					
	目標	講座 年38回、見学会 年6回実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・講座年38回 ・見学会年6回	・講座年38回 ・見学会年6回	・講座年38回 ・見学会年6回	・講座年38回 ・見学会年6回	・講座年37回 ・見学会年5回	
	実績 (成果)	・講座年38回 ・見学会年7回	・講座年39回 ・見学会年7回	・講座年38回 ・見学会年4回	・講座年37回 ・見学会年5回	・講座年37回 ・見学会年3回	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	1,024千円	1,051千円	988千円	724千円	682千円	
	決算額	492千円	700千円	535千円	393千円	461千円	
	事務量(正規)	14人日	14人日	14人日	14人日	15人日	
	事務量(臨時)	39人日	41人日	41人日	41人日	43人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	山田	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-6(2)1	(仮称)ふるさとマイスターの育成と普及・啓発活動の推進					
種別	新規	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	10 市民力を生かした郷土愛の育成				
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-6	歴史や文化財への理解の促進				
	取組	(2)	市民力を生かした普及・啓発活動の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	歴史・文化財について学び、地域の誇りとして子どもや市民に伝える活動を行う市民を増やし郷土愛の育成をはかる。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	郷土資料館					
	対象 (誰に)	市民					
	方法 (何を)	歴史マイスターとして認定された市民によって歴史や文化の魅力発信・継承する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	マイスター50人認定、マイスターによる普及・啓発活動の仕組みの完成					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 研修プログラム作成 募集、認定方法の検討 活動内容に関する関係機関との調整 	<ul style="list-style-type: none"> とよた歴史検定実施 マイスター制度設計 研修プログラム作成 関係機関調整 	<ul style="list-style-type: none"> マイスター募集 マイスター講座、研修実施 マイスター活動内容検討 	<ul style="list-style-type: none"> マイスター活動継続 マイスター認定数70人 マイスター認定講座2回開催 	<ul style="list-style-type: none"> マイスター活動継続 マイスター認定数110人 マイスター認定講座2回開催 こども向け検定(Web版)実施2回更新 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 内容検討会議10回 先進地視察2回 「とよた歴史検定」を実施決定 	<ul style="list-style-type: none"> とよた歴史検定実施(12月) 内部検討会議6回 平成27年4月募集開始予定 マイスター制度の設計 	<ul style="list-style-type: none"> マイスター認定講座実施(6月・11月) マイスター認定59人 マイスター活動開始(のべ216件) とよた歴史検定実施(11月) こども向け検定(Web版)開始(8月~) 	<ul style="list-style-type: none"> マイスター活動継続 マイスター認定数64人 マイスター認定講座2回開催 とよた歴史検定の実施(12月) こども向け検定(Web版)実施3回更新 	<ul style="list-style-type: none"> マイスター活動継続 マイスター認定数102人 マイスター認定講座2回開催 こども向け検定(Web版)実施1回更新(検定方法変更等) 特別展における共同プロジェクト実施 	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	「とよた歴史検定」を実施することでより広く、マイスターへの関心喚起を行う。また市民活動を具体化して制度設計した上で募集を開始するため					
⑤ コスト	予算額	48千円	2,594千円	2,766千円	2,711千円	281千円	
	決算額	45千円	2,582千円	2,708千円	2,415千円	219千円	
	事務量(正規)	17人日	20人日	23人日	20人日	50人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	岩井	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-6(3)1	郷土学習スクールサポートの推進					
種別	拡充	担当課	文化財課	国庫補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-6	歴史や文化財への理解の促進				
	取組	(3)	学校と連携した理解促進				
② 取組の概要	目的(何のために)	市の文化財等を活用して小中学校の授業をサポートし、地域への誇りと愛着を醸成し、郷土愛の育成を図る。					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	依頼があった小中学校、郷土資料館、発見館、その他の地域資料館、史跡等の見学場所					
	対象(誰に)	依頼があった小中学校の児童生徒					
	方法(何を)	市の文化財等を活用して資料館・遺跡見学、出前授業、教材貸し出しを行い、学校の郷土学習をサポートする。					
③ 設定目標	現状	活用の手引・実践集の作成・配布、歴史教材の貸出し年16回					
	目標	ワークシートの追加作成・配布、歴史教材キットの貸出し年50回					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・活用数 12,000人 ・教材貸出キット(縄文～古墳)作成、貸し出し ・歴史教材の貸し出し年20回	・活用数 13,000人 ・教材貸出キット(縄文～古墳)貸し出し10回 ・教材貸出キット(近世)作成 ・歴史教材の貸し出し年20回	・活用数 13,500人 ・教材貸出キット(縄文～古墳、近世)貸し出し20回 ・教材貸出キット(古代中世)作成 ・歴史教材の貸し出し年20回	・活用数 14,000人 ・貸出教材の充実(古代) ・歴史教材の貸し出し年50回 ・ワークシートの作成、配布	・活用数 14,500人 ・歴史教材の貸し出し年50回 ・ワークシートの作成、配布	
	実績(成果)	・活用実績 12,502人(3月) ・教材貸出キット(縄文～古墳)作成(3月) ・歴史教材の貸し出し年39回(3月)	・活用実績 13,311人 ・教材貸出キット(縄文～古墳)貸し出し3回 ・教材貸出キット(近世)作成 ・歴史教材の貸し出し年22回	・活用実績 14,000人 ・教材貸出キット(縄文～古墳、近世)貸し出し17回 ・教材貸出キット(古代中世)作成 ・歴史教材の貸し出し年56回	・活用実績 14,093人 ・教材貸出キット(貫頭衣、踏絵)作成 ・歴史教材の貸し出し年52回 ・ワークシートの作成、配付	・活用実績 14,717人 ・歴史教材の貸し出し年43回 ・ワークシートの作成、配付	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	1,228千円	1,279千円	1,016千円	1,005千円	507千円	
	決算額	957千円	1,310千円	508千円	762千円	340千円	
	事務量(正規)	104人日	105人日	105人日	105人日	110人日	
	事務量(臨時)	26人日	25人日	25人日	25人日	30人日	
⑥ その他	点検・評価	○(拡大)					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	高橋	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-6(4)1	地域資料館の再編					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-6	歴史や文化財への理解の促進				
	取組	(4)	博物館機能の強化と再編				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域の歴史・文化財にふれることで、郷土に誇りと愛着を持つ市民が育つ場を形成する。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	藤岡民俗資料館・小原郷土館・足助資料館					
	対象 (誰に)	市民・来館者					
	方法 (何を)	課内検討・庁内調整・先進例調査					
③ 設定目標	現状	再整備方針の決定					
	目標	3資料館の再整備実施					
	目標(変更)	2資料館					平成28年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・整備工事(藤岡)および先進例調査(小原) ・今後の整備方針についての検討(足助・小原)	・整備方針調査(小原)	・運営体制について庁内協議(小原) ・設計(小原)	・歌舞伎伝承館施設改修・展示施工(小原) ・小原郷土館資料輸送	・旧施設解体(小原)	
	実績(成果)	・整備工事(藤岡)および先進例調査(小原) ・今後の整備方針についての検討(足助・小原)	・団体および地元、学校からの要望調査と意見交換会実施 ・基本構想・計画素案の策定 ・上記構想と計画を前提とした庁内調整	・歌舞伎伝承館建築設計・展示設計を実施 ・歌舞伎伝承館運営体制について庁内および関係団体調整 ・議会説明 ・歌舞伎団体、地元説明 ・小原郷土館資料調査	・歌舞伎伝承館施設改修工事(8~12月) ・施設設置および指定管理条例設置に関わる議会対応(8~12月) ・映像作成(9月~) ・展示工事(11月~) ・小原郷土館資料輸送(2月~) ・施設運営に関わる協議会開催(6月~)	・小原郷土館解体内部設計(9月~11月) ・小原郷土館館内備品処分(11月~12月) ・小原郷土館浄化槽汚泥引き抜き・消毒(12月) ・小原郷土館解体工事(12月~3月)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	10月開催予定の民俗芸能大会は台風接近に伴う悪天候の影響で中止	8月開催予定の民俗芸能探訪が台風の影響で中止				
⑤ コスト	予算額	28,200千円	4,860千円	5,200千円	62,480千円	19,853千円	
	決算額	33,552千円	4,536千円	5,176千円	65,445千円	12,491千円	
	事務量(正規)	20人日	60人日	20人日	100人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	10人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	高橋	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-6(4)2	歴史継承拠点施設の整備方針の再構築					
種別	拡充	担当課	文化財課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	3	文化芸術・文化財分野／創造的な文化芸術活動の推進と郷土の歴史や文化財の保存・継承				
	施策	3-6	歴史や文化財への理解の促進				
	取組	(4)	博物館機能の強化と再編				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市域の歴史・文化財にふれることで、郷土に誇りと愛着を持つ市民が育つ場を形成する。					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	郷土資料館・豊田東高校跡地					
	対象 (誰に)	市民・来館者					
	方法 (何を)	課内検討・庁内調整・先進例調査					
③ 設定目標	現状	基本構想素案検討中					
	目標	基本構想策定					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・将来的に必要となる新博物館の立地・機能などについて先進事例を基に整理	・基礎データ調査	・基礎データ調査 ・歴史継承拠点の整備について生涯学習審議会にて審議	・歴史文化基本構想策定 ・歴史継承拠点基本構想策定	・歴史文化基本構想策定 ・歴史継承拠点基本計画策定	
	実績 (成果)	・将来的に必要となる新博物館の立地・機能などについて先進事例を基に整理	・市民アンケートおよび先進地調査を基に、歴史継承拠点の機能と展開する事業について、生涯学習審議会において検討中	・生涯学習審議会における審議と答申 ・議会議説明 ・基本構想策定に伴う組織体制と委託仕様および発注方法の検討 ・自治体設置の歴史および自然分野に特化した博物館について情報収集	・補助金申請・委託発注・委員会等諸事務 ・新博物館基本構想検討委員会を開催(4回) ・歴史文化基本構想検討委員会を開催(3回) ・両構想委員会の調整会議開催(全1回)	・補助金申請・委託発注・委員会等諸事務 ・新博物館基本計画策定委員会を開催(4回) ・歴史文化基本構想策定委員会を開催(4回) ・新博物館市民周知イベントを開催(全3回)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	・新博物館基本計画は、慎重な検討による効率的・効果的な計画策定と市民周知を行うため、平成30年度までの策定に修正					
⑤ コスト	予算額	198千円	5,230千円	0千円	16,800千円	19,359千円	
	決算額	12千円	4,320千円	5,176千円	14,169千円	13,504千円	
	事務量(正規)	40人日	80人日	100人日	100人日	200人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	20人日	20人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	安藤孝	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-1(1)1	コーディネーショントレーニング教室の開催					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	11 市民のスポーツ活動への支援				
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-1	「する」スポーツの推進				
	取組	(1)	子どものスポーツ活動の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	コーディネーショントレーニング(COT)により子どもの体力を向上させる					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	子ども(園児、児童、生徒)と保護者					
	方法 (何を)	園・学校への指導者派遣、指導者対象研修会の開催、保護者対象講習会の開催					
③ 設定目標	現状	5地区で実施					
	目標	27地区で実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・9地区でCOT教室を実施	・21地区でCOT教室を開催	・21地区でCOT教室を開催	・全27地区でCOT教室を開催	・全27地区でCOT教室を開催	
	実績 (成果)	・12地区でCOT教室を開催	・12地区でCOT教室を開催	・17地区でCOT教室を開催	・23地区でCOT教室を開催	・21地区でCOT教室を開催	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入					・園や学校により考え方もあり、1年度内での全地域実施は難しい。 ・参加者が集まらない地域もある。	
⑤ コスト	予算額	4,016千円	906千円	908千円	906千円	290千円	
	決算額	3,187千円	490千円	109千円	270千円	290千円	
	事務量(正規)	960人日	640人日	260人日	280人日	270人日	
	事務量(臨時)	72人日	48人日	52人日	58人日	54人日	
⑥ その他	点検・評価			○			
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-1(1)2	キッズサッカー教室を始めとした多目的のスポーツ教室の開催					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野/市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-1	「する」スポーツの推進				
	取組	(1)	子どものスポーツ活動の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	多様なスポーツ体験機会の創出に向けて、多目的のスポーツ教室の開催					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	市内全こども園の園児(年長)、市内小学校児童(1・2年生)及び市内こども園に勤務する保育師・小学校に勤務する教諭					
	方法 (何を)	グランパスボールクリニック(旧キッズサッカー教室)を始めとした多種スポーツ教室の開催					
③ 設定目標	現状	1種目実施					
	目標	2種目実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・キッズサッカー教室(1種目)実施(5~11月)	・グランパスボールクリニック、保育師・教諭クリニック及びティーボール教室の拡充も図りながら、さらなる他種目の教室開催も検討	・グランパスボールクリニック、保育師・教諭クリニックの拡充も図りながら、さらなる他種目の教室開催も検討	・キッズサッカー教室の拡充も図りながら、他の種目の教室開催も検討	・グランパスボールクリニック、保育師・教諭クリニック及びティーボール教室を継続	
	実績(成果)	・キッズサッカー教室・ティーボール教室(2種目)実施(5~2月)	・グランパスキッズボールクリニック(市内こども園99園・99回) ・グランパス小学校ボールクリニック(市内小学校26校・32回) ・保育師・教諭サッカークリニック(2回) ・ティーボール教室(市内こども園28園・30回)	・グランパスキッズボールクリニック(市内こども園100園・100回) ・グランパス小学校ボールクリニック(市内小学校40校・49回) ・保育師・教諭サッカークリニック(2回) ・ティーボール教室(市内こども園27園・28回)	・グランパスキッズサッカークリニック(市内こども園100園・100回) ・グランパス小学校ボールクリニック(市内小学校42校・42回) ・保育師・教諭サッカークリニック(2回)	●サッカー ・グランパスキッズサッカークリニック(市内こども園100園・100回) ・グランパス小学校ボールクリニック(市内小学校35校・45回) ・保育師・教諭サッカークリニック(2回) ●タグラグビー ・体験会(小学校39校) ・教室(11回、840人) ・大会(36チーム292人)	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
	決算額	3,100千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	3,000千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	安藤孝	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-1(2)1	居宅スポーツプログラム等の提供					
種別	新規	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-1	「する」スポーツの推進				
	取組	(2)	成人のスポーツ活動の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	個々のライフスタイルやレベルに応じ、身近な場所で気軽に楽しめるスポーツプログラムの提供					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	インターネット等メディアを活用して提供					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	インターネット配信					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの作成	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの普及	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの普及 ・成人のスポーツプログラムの検討	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの普及 ・成人のスポーツプログラムの検討	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの普及 ・成人のスポーツプログラムの提供	
	実績 (成果)	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの作成とインターネット配信	・元気っ子体操・豊田市オリジナルダンスの普及とインターネット配信	・小中学校体育担当者会で市オリジナルダンスの講習会実施(2回) ・COTチラシ、DVD、CDの配布(全小中学校) ・大学と連携したダンスエクササイズ教室実施(8日間) ・ウイメンズ限定ランニング教室(5日間) ・ウォーキングイベント(4回)	・小中学校体育担当者会で市オリジナルダンスの講習会実施(2回) ・COTのチラシ、DVD、CDの配布(全小中学校) ・大学と連携したダンスエクササイズ教室実施(5日間) ・ウォーキングイベント実施(7回)	・小中学校体育担当者会で市オリジナルダンスの講習会実施(1回) ・COTのチラシ、DVD、CDの配布(全小中学校) ・大学と連携した親子で参加できるダンスエクササイズ教室実施(4日間)し、講師の模範演技の動画を参加者に配信	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	750千円	906千円	908千円	906千円	1,307千円	
	決算額	612千円	490千円	109千円	42千円	288千円	
	事務量(正規)	30人日	20人日	40人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	10人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	藤堂	作成年月	平成30年5月		
実施内容	4-1(2)2	ウォーキング教室の開催							
種別	新規	担当課	スポーツ課	国庫補助	無				
① 施策体系	重点テーマ	非該当							
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現						
	施策	4-1	「する」スポーツの推進						
	取組	(2)	成人のスポーツ活動の推進						
② 取組の概要	目的 (何のために)	成人のスポーツ活動を推進するため、ライフスタイル、年齢、運動能力に合わせたプログラムを提供							
	時期 (いつ)	通年(4～3月)							
	場所 (どこで)	豊田スタジアムの周辺を始めとする市内全域							
	対象 (誰に)	全市民							
	方法 (何を)	ウォーキング教室の開催やウォーキングコースの整備などにより、ウォーキングの普及を図る							
③ 設定目標	現状	—							
	目標	12教室実施							
	目標(変更)								
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
④ 取組計画・取組実績	計画	ウォーキング教室を活用したスポーツ活動の推進を目指したプログラムの検討	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施 ・夕方の部:ウォーキングノウハウやスタジアム周辺コースの紹介 ・コスモス畑ウォーク	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施 ・夕方の部:ウォーキングノウハウやスタジアム周辺コースの紹介 ・コスモス畑ウォーク	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施 ・夕方の部:ウォーキングノウハウやスタジアム周辺コースの紹介 ・コスモス畑ウォーク	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施 ・夕方の部:ウォーキングノウハウやスタジアム周辺コースの紹介 ・コスモス畑ウォーク	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施 ・夕方の部:ウォーキングノウハウやスタジアム周辺コースの紹介 ・コスモス畑ウォーク ・ウォーキングイベント開催		
	実績(成果)	ラジオ体操とウォーキング教室を同時開催することで、手軽にスポーツを始めるきっかけ作りを検討	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施(4,070人) ・夕方の部:イブニング体操の実施(286人) ・コスモスウォークの実施(621人) ・イルミネーションウォークの実施(220人)	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施(7月 2,161人) ・コスモス畑ウォーク(10月 43人) ・イルミネーションウォーク(12月 105人) ・さくらウォーク(3月 58人)	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施(8月オープニング期間1,119人) ・河川敷ウォーク(①9月90名②11月62名) ・コスモスウォーク(10月53名) ・コンコースウォーク(12月、1月、2月 計149名)	・早朝の部:豊田スタジアムでラジオ体操実施(8月オープニング期間1,119人) ・河川敷ウォーク(①9月90名②11月62名) ・コスモスウォーク(10月53名) ・コンコースウォーク(12月、1月、2月 計149名)	・豊田スタジアムでラジオ体操及びウォーキング実施/コスモス畑ウォーク、河川敷ウォーク、コンコースウォーク(1,019名) ・地区活動(地域スポーツクラブ)での活動をホームページで情報発信(14教室) ・ウォーキングイベント開催(11月 計3,400名)		
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入								
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	4,936千円		
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	3,738千円		
	事務量(正規)	0人日	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	10人日		
⑥ その他	点検・評価								
	備考	豊田市体育協会及び豊田スタジアムより約2,754千円の負担金あり。							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	杉坂	作成年月	平成30年5月		
実施内容	4-1(3)1	豊田マラソンの開催							
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無				
① 施策体系	重点テーマ	非該当							
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現						
	施策	4-1	「する」スポーツの推進						
	取組	(3)	スポーツイベントの開催						
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民のスポーツ実施率の向上のため							
	時期 (いつ)	11月第3日曜日							
	場所 (どこで)	スタジアム及び周辺道路							
	対象 (誰に)	全市民							
	方法 (何を)	マラソン大会の開催							
③ 設定目標	現状	参加者数年12,000人							
	目標	参加者数年15,000人							
	目標(変更)								
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度				
④ 取組計画・取組実績	計画	参加者13,000人	参加者13,000人	参加者13,000人	参加者13,000人	参加者15,000人			
	実績 (成果)	・出展ブース内容の工夫、マッサージ等サービスの充実 ・参加者12,055人	・ランニングクリニックの実施(287人) ・参加者12,423人	・ランニングクリニックの実施(138人) ・参加者12,628人	・ランニングクリニックの実施(35人) ・参加者12,234人	・ランニングクリニックの実施(33人) ・参加者11,824人			
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)			
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						・中学校のテスト週間と重なることが多く、2.4kmの定員割れが見られる。 ・開催日の変更は、他市町との大会日に影響を与えるため、容易に変更できない状況である。		
⑤ コスト	予算額	35,400千円	35,400千円	35,400千円	46,661千円	40,201千円			
	決算額	37,523千円	48,787千円	39,334千円	38,586千円	38,683千円			
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日			
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日			
⑥ その他	点検・評価	○(現状どおり)							
	備考								

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	安藤孝	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-1(3)2	豊田市スポーツデーの開催					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-1	「する」スポーツの推進				
	取組	(3)	スポーツイベントの開催				
② 取組の概要	目的 (何のために)	競技スポーツとは一味違ったスポーツの楽しさを伝え、より多くの市民がスポーツに親しむきっかけを提供する					
	時期 (いつ)	体育の日					
	場所 (どこで)	スカイホール豊田					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	市民誰もが気軽に参加できるスポーツイベントを開催する					
③ 設定目標	現状	参加者 600人					
	目標	参加者 2,000人					
	目標(変更)	中止					平成27年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・参加者700人	・参加者1,000人 ・来場者1,600人	・参加者1,200人 ・来場者1,600人	事業終了		
	実績 (成果)	・市民体力測定 ・親子でCOT教室 ・トップアスリート教室 ・ニュースポーツ体験会 ・ウォーキング教室 ・元気っ子体操披露 ・参加者835人 ・来場者1,586人	・市民体力測定 ・親子でCOT教室 ・車椅子バスケットボール教室 ・ニュースポーツ体験会 ・ラグビー体験会 ・元気っ子体操披露 ・参加者589人 ・来場者883人	・市民体力測定 ・教室(COT・バスケ) ・体験会(ニュースポーツ、ウォーキング・卓球・ラグビー) ・元気っ子体操披露 ・参加者511人 ・来場者790人	事業終了		
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	終了		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	847千円	900千円	900千円	0千円	0千円	
	決算額	646千円	754千円	862千円			
	事務量(正規)	60人日	60人日	60人日			
	事務量(臨時)	0人日	0人日	10人日			
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	杉坂	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-1(4)1	大学、企業との連携によるアスリートの育成支援					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-1	「する」スポーツの推進				
	取組	(4)	競技スポーツの推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	大学・企業との連携により、競技団体やアスリートの育成・支援をし、競技力の向上を図る					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	大学・企業の持つスポーツ資源を活用する					
③ 設定目標	現状	連携の仕組みについて検討中					
	目標	協定書の締結2団体					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・連携の仕組みについて検討	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を受託 ・スポーツ資源の活用方法を検討	・スポーツ資源の活用方法を検討	・協定書締結の準備	・協定書の締結2団体	
	実績 (成果)	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を受託 ・スポーツ資源の活用方法を検討	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を受託 ・スポーツ資源の活用方法を検討	・文部科学省の「スポーツをによる地域活性化推進事業」を実施 ・中京大学と連携し、中学校の部活動トップアスリートを派遣するとともに、教室事業で大学施設を活用	・「地域スポーツ推進連携事業」で地域SCと共働事業を展開 ＜中京大学と連携し、中学校の部活動トップアスリートを派遣するとともに、教室事業で大学施設を活用＞ ・中京大学とトヨタ自動車と地域SCで検討実施	・市と地域SCの共働事業「地域スポーツ推進連携事業」を実施。そのなかで、スポーツ資源の活用方法を検討。 ・制度は未整備だがトップアスリートや学生を指導者として小中学校等へ派遣	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	3,000千円	3,046千円	3,000千円	
	決算額	0千円	0千円	2,792千円	3,000千円	3,000千円	
	事務量(正規)	60人日	60人日	30人日	20人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	10人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・協定書は未締結だが、大学・企業と連携して、スポーツ指導者を派遣する仕組みが構築できた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	川治	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-1(4)2	国際・全国大会で活躍する本市ゆかりの選手の奨励及びPR					
種別	継続	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-1	「する」スポーツの推進				
	取組	(4)	競技スポーツの推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民のスポーツに対する向上意欲を高めるとともに、市民から一人でも多くのトップアスリートを誕生させる					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市役所、市ホームページなど					
	対象 (誰に)	全市民(一部市内の学校、企業に在学、在勤する方も含む)					
	方法 (何を)	活躍の様子を広報誌などにより紹介するとともに、選手の功績に対し、表彰や祝福の場を設ける					
③ 設定目標	現状	表敬・表彰などの実施					
	目標	表敬・表彰などの実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 本市ゆかりの選手のPR方法の検討 ソチオリンピック・パラリンピック等に関連する表敬訪問等の依頼・実施 	<ul style="list-style-type: none"> リオオリンピック・パラリンピックに出場が期待される本市ゆかりの選手の情報収集 表敬・市表彰等の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> リオ・東京オリンピック・パラリンピックに向けたPR方法の検討 表敬・市表彰等の継続実施 	<ul style="list-style-type: none"> 本市ゆかりのオリンピック・パラリンピック代表選手のPRの実施 オリンピック等に関連する表敬・市表彰の依頼・実施 PR方法の見直し・検証 	<ul style="list-style-type: none"> 本市ゆかりのオリンピック・パラリンピック代表選手のPRの実施 オリンピック等に関連する表敬・市表彰の依頼・実施 豊田市わがまちアスリートの認定とPR 	
	実績 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> 表敬訪問 33件(うち1件:ソチオリンピックショートトラック4選手) 本市ゆかりのソチオリンピック代表応援横断幕・写真パネルの展示 市表彰受賞者 6名 	<ul style="list-style-type: none"> リオオリンピック・パラリンピックに出場が期待される本市ゆかりの選手の情報収集 表敬訪問 28件 市表彰受賞者(全国大会優勝) 5名 	<ul style="list-style-type: none"> リオ・東京オリンピック・パラリンピックに向けたPR方法の検討 表敬訪問(随時) 27件 市表彰受賞者 6件 	<ul style="list-style-type: none"> 本市ゆかりのオリンピック・パラリンピック代表選手の各種PRの実施(16名) 市長訪問 35件(うちオリ・パラ関連 6件) 市表彰受賞者 21件 	<ul style="list-style-type: none"> 平昌オリンピック・パラリンピック代表の豊田市わがまちアスリートの各種PRの実施(8名) 市長訪問 36件(うちオリ・パラ関連 2件) 市表彰受賞者 30件(うちオリ・パラ関連 7件) 豊田市わがまちアスリートの認定(15名) 	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	1,100千円	1,100千円	
	決算額	524千円	0千円	0千円	2,208千円	2,000千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	150人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	5人日	5人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	小石	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-2(1)1	スポーツ施設を生かした観光の仕組みづくり					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-2	「みる」スポーツの推進				
	取組	(1)	国際的・全国的スポーツイベントの開催				
② 取組の概要	目的 (何のために)	国際的・全国的スポーツイベントの開催により、市外からの来訪者を視野に入れたスポーツ観光の推進を図る。					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	豊田スタジアム、スカイホール等					
	対象 (誰に)	施設利用者、施設管理者、商工会議所、観光協会など					
	方法 (何を)	おもてなし事業の実施。施設利用者の中心市街地や観光地への誘導など。					
③ 設定目標	現状	おもてなし事業の実施					
	目標	民間主導による事業拡大					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・おもてなし事業の実施(8大会)	・おもてなし事業の実施 ・店舗が自らの判断で大会に出店できるような仕組みづくり ・大会への自主的な出店の体制づくり	・おもてなし事業の実施 ・おもてなし事業対象外の大会への出店の促進	・民間主導によるおもてなし事業の実施	・民間主導によるおもてなし事業の拡大	
	実績(成果)	・おもてなし事業の実施(8大会) ・Jリーグにおける経済波及効果の実施(浦和レッズ戦)	・おもてなし事業の実施(7大会) ・施設来場者へのアンケート実施(宿泊・感想)	・おもてなし事業の実施(10大会) ・出店促進に向けたおもてなし事業実施者アンケートの実施 ・スポーツ推進審議会にて豊田市版スポーツコミッションの方向性を検討(～H28)	・おもてなし事業の実施(10大会) ・スポーツ推進審議会にて豊田市版スポーツコミッションの検討を進め、提言書を受理した。	・おもてなし事業の実施(9大会) ・スポーツ推進審議会からの豊田市スポーツコミッションに関する提言を基に、庁内準備会等を通じて来年度以降の推進体制についての合意形成を行った。	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	300千円	300千円	300千円	550千円	300千円	
	決算額	200千円	10千円	220千円	123千円	212千円	
	事務量(正規)	20人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	小石	作成年月	平成30年5月	
実施内容	4-2(1)2 みる・きくスポーツイベントの誘致・開催							
種別	継続	担当課	スポーツ課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現					
	施策	4-2	「みる」スポーツの推進					
	取組	(1)	国際的・全国的スポーツイベントの開催					
② 取組の概要	目的 (何のために)	大規模なスポーツイベントの開催により、都心の活性化や、国際交流・市民交流の促進を図る						
	時期 (いつ)	通年(4～3月)						
	場所 (どこで)	市内全域						
	対象 (誰に)	全市民						
	方法 (何を)	国際レベルの大会や全国規模の大会、トップアスリートによるスポーツ講演会などの誘致・開催に取り組む						
③ 設定目標	現状	市主催国際試合の開催 年2大会						
	目標	市主催国際試合の開催 年2大会						
	目標(変更)							
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の市主催国際大会の開催(豊田国際ユースサッカー大会(8月)、豊田国際体操競技大会(12月)) 各種全国大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催国際大会の開催(豊田国際体操競技大会(12月)) 市後援国際大会の開催 各種全国大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 継続実施 ラグビーワールドカップ2019に向けた開催準備 	継続実施	継続実施		
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 年2回の市主催国際大会の開催(豊田国際ユースサッカー大会(8月)、豊田国際体操競技大会(12月)) 各種全国大会の開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催国際大会の開催(豊田国際体操競技大会(12月)) 市後援国際大会の開催 各種全国大会の開催 ラグビーワールドカップ2019開催都市に決定 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催国際大会の開催(豊田国際体操競技大会(12月)) 市後援国際大会の開催 各種全国大会の開催 ラグビーワールドカップ2019開催に関連したラグビーマッチの開催 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催国際大会の開催(豊田国際体操競技大会(12月)) 市後援国際大会の開催 各種全国大会の開催 国際まちづくり推進課と連携し、ラグビーW杯開催に向けた各種調整の実施 	<ul style="list-style-type: none"> 市主催国際大会の開催(ラグビーレベルズ戦(11月)、豊田国際体操競技大会(12月)) 市後援国際大会の開催 各種全国大会の開催 ラグビーワールドカップ推進課と連携し、ラグビーW杯開催に向けた各種調整の実施 		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	35,000千円	16,800千円	41,000千円	24,478千円	18,300千円		
	決算額	35,000千円	25,800千円	111,440千円	15,000千円	15,000千円		
	事務量(正規)	180人日	200人日	200人日	100人日	100人日		
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考	平成25年度を最後に、豊田国際ユースサッカー大会は終了した。 平成28年度にラグビーワールドカップ2019開催準備事業については国際まちづくり推進課へ事務移管(参考)平成29年度からラグビーワールドカップ2019開催準備事業はラグビーワールドカップ2019推進課が所管課となっている。						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	川治	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-2(2)1	スポーツ観戦情報の提供					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-2	「みる」スポーツの推進				
	取組	(2)	身近なスポーツ活動の応援支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	「みる」スポーツに対する参加機会の増加のため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	広報とよた、市及び体育協会ホームページ、地元ケーブルテレビによるスポーツ観戦情報の発信					
③ 設定目標	現状	報道機関への資料提供					
	目標	スポーツ情報HP・情報コーナーでの情報提供					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・広報とよた、市及び体育協会HP、市政情報番組によるスポーツ観戦情報の提供	・広報とよた、市及び体育協会HP、市政情報番組によるスポーツ観戦情報の提供 ・体育協会HPのスポーツ情報コーナーの充実	・広報とよた、市及び体育協会HP、市政情報番組によるスポーツ観戦情報の提供 ・市HP内スポーツ情報コーナーの充実	・広報とよた、市及び体育協会HP、市政情報番組によるスポーツ観戦情報の提供	・広報とよた、市及び体育協会HP、市政情報番組によるスポーツ観戦情報の提供	
	実績 (成果)	・広報とよた(月2回)、市及び体育協会HP(随時)、市政情報番組(月1回)によるスポーツ観戦情報の提供	・広報とよた(月2回)、市及び体育協会HP(随時)、市政情報番組(月1回)によるスポーツ観戦情報の提供 ・FBなどSNSを生かした体協ホームページの展開	・広報とよた(月2回)、市及び体育協会HP(随時)、市政情報番組(月1回)によるスポーツ観戦情報の提供 ・市HP内スポーツ情報コーナーの充実	・広報とよた(月2回)、市及び体育協会HP(随時)、市政情報番組(月1回)によるスポーツ観戦情報の提供 ・市HP内スポーツ情報コーナーの充実	・広報とよた(月2回)、市及び体育協会HP(随時)、市政情報番組(月1回)によるスポーツ観戦情報の提供 ・広報とよたと市HPに載せる情報の見直しと改善 ・市役所南庁舎2階のスポーツコーナーで情報提供	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-2(2)2	地域に密着したチームの応援					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-2	「みる」スポーツの推進				
	取組	(2)	身近なスポーツ活動の応援支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	本市を活動拠点として活動するチームやアスリートに対して、応援する風土を醸成					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全体					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	広報でのPR活動の実施、応援グッズの作成等					
③ 設定目標	現状	名古屋グランパス戦入場者1試合平均21,296人					
	目標	名古屋グランパス戦入場者1試合平均25,000人					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・名古屋グランパス戦入場者1試合平均20,000人	・名古屋グランパス戦入場者1試合平均20,000人	・名古屋グランパス戦入場者1試合平均20,000人	・名古屋グランパス戦入場者1試合平均20,000人	・名古屋グランパス戦入場者1試合平均25,000人	
	実績 (成果)	・豊田市駅と豊田スタジアム間の道路を中心にのぼり旗、フラッグを掲出 ・名古屋グランパス戦入場者1試合平均18,767人	・豊田市駅と豊田スタジアム間の道路を中心にのぼり旗、フラッグを掲出 ・名古屋グランパス戦入場者1試合平均20,352人(ナビスコカップ含む全10試合開催)	・豊田市駅と豊田スタジアム間の道路を中心にのぼり旗、フラッグを掲出 ・名古屋グランパス戦入場者1試合平均18,546人(全9試合開催)	・豊田市駅と豊田スタジアム間の道路を中心にのぼり旗、フラッグを掲出 ・豊田市フェスタでのホームタウンとしての応援の見える化を図る ・名古屋グランパス戦入場者1試合平均22,588人(全9試合開催)	・スタジアムアベニューの装飾 ・応援Tシャツの作成 ・名古屋市との連携による応援幕の作成 ・パブリックビューイングの実施 ・名古屋グランパス戦入場者1試合平均24,224人(全9試合開催)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	3,300千円	3,300千円	3,300千円	5,236千円	4,580千円	
	決算額	3,300千円	3,100千円	5,164千円	4,775千円	4,580千円	
	事務量(正規)	90人日	90人日	90人日	90人日	90人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-2(3)1	地域独自のメディア等の有効活用					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-2	「みる」スポーツの推進				
	取組	(3)	メディアを通じたみる・きくスポーツの推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民のスポーツ活動に結び付く有益な情報の発信を図るため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	イベントの中継、スポーツの情報提供等、多様なメディアを活用する					
③ 設定目標	現状	報道機関への資料提供					
	目標	メディアによるイベント中継年1イベント					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・ひまわりNW中継1件 ・ひまわりNW特別番組1件 ・ひまわりNWでスポーツ情報提供12回 ・広報とよたでスポーツ情報提供24回	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント実況の拡大検討 ・実況内容や実況方法などを工夫し、市民に興味を持ってもらえるような情報提供の検討	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント実況の拡大検討 ・実況内容や実況方法などを工夫し、市民に興味を持ってもらえるような情報提供の検討	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント実況の拡大検討 ・実況内容や実況方法などを工夫し、市民に興味を持ってもらえるような情報提供の検討	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント実況の拡大検討 ・実況内容や実況方法などを工夫し、市民に興味を持ってもらえるような情報提供の検討	
	実績 (成果)	・ひまわりNW中継1件 ・ひまわりNW特別番組1件 ・東海テレビ特別番組1件 ・ひまわりNWでスポーツ情報提供12回 ・広報とよたでスポーツ情報提供24回 ・報道機関へイベント情報提供4回	・ひまわりNW中継1件 ・ひまわりNW特別番組1件 ・ひまわりネットワーク番組出演2件 ・ひまわりNWでスポーツ情報提供12回 ・広報とよたでスポーツ情報提供24回 ・報道機関へイベント情報提供4回	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント放送1件 ・ひまわりNWでスポーツ情報提供12回 ・広報とよたでスポーツ情報提供24回 ・報道機関へイベント情報提供5回	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント放送1件 ・ひまわりNWでスポーツ情報提供12回 ・広報とよたでスポーツ情報提供24回 ・報道機関へイベント情報提供5回	・ひまわりNW等メディアでのスポーツイベント放送1件 ・ひまわりNWでスポーツ情報提供12回 ・広報とよたでスポーツ情報提供24回 ・報道機関へイベント情報提供5回	・メディアでのスポーツイベント放送8件 ・エフエムとよたでの情報提供6回 ・ひまわりNWでのスポーツ情報提供13回 ・広報とよたでのスポーツ情報提供24回 ・報道機関へのイベント情報提供12回
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	20人日	20人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	山本肇	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-3(1)1	指導者活用事業補助制度の利用推進					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	11 市民のスポーツ活動への支援				
	分野	4	生涯スポーツ分野 / 市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-3	「支える」スポーツの推進				
	取組	(1)	自立に向かう地域スポーツクラブの育成支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	地域スポーツクラブが地域に根ざした継続的な活動が展開できるようにするため					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内12クラブ					
	対象 (誰に)	地域スポーツクラブの指導者					
	方法 (何を)	自立促進につながる事業助成などの補助制度を整備するとともに、積極的に活用するよう促す					
③ 設定目標	現状	指導者活用事業補助金の交付1クラブ					
	目標	指導者活用事業補助金の交付12クラブ					
	目標(変更)	指導者活用事業補助金の交付6クラブ					平成27年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・指導者活用事業補助金を1クラブに交付	・6クラブに指導者活用事業補助金交付	・6クラブに指導者活用事業補助金交付	・6クラブに指導者活用事業補助金交付	・6クラブに指導者活用事業補助金交付	
	実績 (成果)	・4クラブに指導者活用事業補助金交付	・6クラブに指導者活用事業補助金交付	・5クラブに指導者活用事業補助金交付	・5クラブに指導者活用事業補助金交付	・3クラブに指導者活用事業補助金交付	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入					・自主運営により教室等を開催するクラブの増。 ・真に活用しやすい補助制度への見直しが課題。	
⑤ コスト	予算額	5,500千円	12,000千円	6,000千円	3,000千円	2,423千円	
	決算額	567千円	1,940千円	2,168千円	2,015千円	1,646千円	
	事務量(正規)	25人日	25人日	25人日	25人日	25人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	山本肇	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-3(1)2	中間支援組織の整備					
種別	新規	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-3	「支える」スポーツの推進				
	取組	(1)	自立に向かう地域スポーツクラブの育成支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民が身近にスポーツに親しみ、楽しむために設立されたスポーツクラブの自立的な運営を促進する					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	スポーツ関係団体					
	方法 (何を)	中間支援組織(市とスポーツクラブの間に立ち、様々な活動を支援する組織)の検討・整備を進める					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	体制の確立					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 市体育協会へのソフト事業移管調整における検討 基本方針案の策定 	<ul style="list-style-type: none"> 既存の中間支援組織調査、情報収集 関係機関情報収集(県体育スポーツ課・広域スポーツセンター) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内地区スポーツクラブヒアリング 中間支援組織に求められる機能の検討 	<ul style="list-style-type: none"> 基本方針原案を策定、協議し、基本方針を決定する 	<ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織体制の確立 市体育協会へのソフト事業移管 	
	実績(成果)	<ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織候補団体(市体育協会)との調整、検討 1クラブが市体育協会に加盟 	<ul style="list-style-type: none"> 中間支援組織候補団体(市体育協会)との調整、検討 関係機関情報収集(県体育スポーツ課・広域スポーツセンター) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内スポーツクラブヒアリング実施(5回) 中間支援組織候補団体(市体育協会)との調整、検討 3クラブが市体育協会に加盟 関係機関情報収集(県体育スポーツ課・広域スポーツセンター) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内スポーツクラブヒアリング実施(4回) 市体育協会においてクラブの連絡協議会新設を調整、検討 次年度に向け、新たに4クラブが市体育協会への加盟を検討 関係機関情報収集(県体育スポーツ課・広域スポーツセンター) 	<ul style="list-style-type: none"> 市内スポーツクラブヒアリング実施(4回) 市体育協会においてクラブの連絡協議会へ6クラブが参加し会議を実施(5回) 次年度に向け、新たに4クラブが市体育協会への加盟を検討 関係機関情報収集(県体育スポーツ課・広域スポーツセンター) 	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	杉坂	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-3(2)1	スポーツ推進委員活動の充実					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	該当	11 市民のスポーツ活動への支援				
	分野	4	生涯スポーツ分野/市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-3	「支える」スポーツの推進				
	取組	(2)	スポーツ団体の活動支援				
② 取組の概要	目的(何のために)	地域のニーズや環境を踏まえ、地域に根ざしたスポーツ活動の促進を図る					
	時期(いつ)	通年(4~3月)					
	場所(どこで)	市内全域					
	対象(誰に)	地域住民					
	方法(何を)	資質向上のために、部会活動や地域活動を通して、地域ニーズを踏まえた企画・運営					
③ 設定目標	現状	地域活動 月1回					
	目標	地域活動 月2回					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・資質向上のため、部会活動を通して、地域ニーズを踏まえた企画、運営に努める ・地域活動月1回	・資質向上のため、部会活動を通して、地域ニーズを踏まえた企画、運営に努める ・地域活動月1回	・資質向上のため、部会活動を通して、地域ニーズを踏まえた企画、運営に努める ・地域活動月1回	・地域ニーズに合ったスポーツ振興の推進を図る ・地域活動月2回	・地域ニーズに合ったスポーツ振興の推進を図る ・地域活動月2回	
	実績(成果)	・資質向上のため、部会活動を通して、地域ニーズを踏まえた企画、運営に努めた。 ・地域活動 月1回	・子どもの体力向上という地域ニーズを踏まえ、コーディネーショントレーニング(COT)教室の企画・運営に努めた。 ・地域活動 月1回	・子どもの体力向上という地域ニーズを踏まえ、コーディネーショントレーニング(COT)教室の企画・運営に努めた。 ・地域活動 月1回	・子どもの体力向上という地域ニーズを踏まえ、COT教室、タグラグビーや体力測定の実施に努めた。 ・地域活動 月2回	・子どもの体力向上という地域ニーズを踏まえ、COT教室、タグラグビーや体力測定の実施に努めた。 ・地域活動 月2回	
	進捗状況	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	19,910千円	19,628千円	15,119千円	14,731千円	14,214千円	
	決算額	11,248千円	12,931千円	9,253千円	11,640千円	13,961千円	
	事務量(正規)	480人日	480人日	480人日	480人日	480人日	
	事務量(臨時)	240人日	240人日	240人日	240人日	240人日	
⑥ その他	点検・評価	○					
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	杉坂	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-3(3)1	企業・大学等との連携によるスポーツ指導者派遣制度の確立					
種別	新規	担当課	スポーツ課	国県補助	有		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-3	「支える」スポーツの推進				
	取組	(3)	指導者の養成・整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民の多様なスポーツ活動を支援する					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	大学・企業と連携し、スポーツ指導者を派遣する制度をつくる					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	協定書締結2団体					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・連携の仕組みについて検討	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を受託 ・スポーツ資源の活用方法を検討	・スポーツ資源の活用方法を検討	・協定書締結の準備	・協定書の締結2団体	
	実績 (成果)	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を受託 ・スポーツ資源の活用方法を検討	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を受託 ・スポーツ資源の活用方法を検討 ・制度は未整備だが個別にトップアスリートや学生を指導者として小中学校等へ派遣	・文部科学省の「スポーツを通じた地域コミュニティ活性化促進事業」を継続実施 ・スポーツ資源の活用方法を検討 ・制度は未整備だが個別にトップアスリートや学生を指導者として小中学校等へ派遣	・市と地域SCの共働事業「地域スポーツ推進連携事業」を実施。そのなかで、スポーツ資源の活用方法を検討。 ・制度は未整備だが個別にトップアスリートや学生を指導者として小中学校等へ派遣	・市と地域SCの共働事業「地域スポーツ推進連携事業」を実施。そのなかで、スポーツ資源の活用方法を検討。 ・制度は未整備だが個別にトップアスリートや学生を指導者として小中学校等へ派遣	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	3,046千円	3,000千円	
	決算額	0千円	0千円	2,792千円	3,000千円	3,000千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	20人日	20人日	
	事務量(臨時)	30人日	30人日	10人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・協定書は未締結だが、大学・企業と連携して、スポーツ指導者を派遣する仕組みが構築できた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	安藤孝	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-3(3)2	コーディネーショントレーニング指導者の養成					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-3	「支える」スポーツの推進				
	取組	(3)	指導者の養成・整備				
② 取組の概要	目的 (何のために)	コーディネーショントレーニング(COT)の普及					
	時期 (いつ)	随時					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	地域スポーツクラブ(SC)、スポーツ推進委員、教員、保育師、スポーツ少年団などの指導者					
	方法 (何を)	指導者を養成するための講座を開催					
③ 設定目標	現状	対象者:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、園長・主任					
	目標	対象者の拡大:保育師、スポーツ少年団指導者、放課後指導員など					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・COT指導者養成研修会を開催(10回) ・対象:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、園長・主任	・COT指導者養成研修会を開催(10回) ・参加対象者を拡大(保育師)	・COT指導者養成研修会を開催(10回) ・参加対象者を拡大(放課後指導員)	・COT指導者養成研修会を開催(10回) ・参加対象者を拡大(スポーツ少年団指導者)	・COT指導者養成研修会を開催(10回) ・参加対象者を拡大(その他指導者)	
	実績 (成果)	・COT指導者養成研修会を開催(18回、648人) ・対象者:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、園長・主任、保育師、放課後指導員	・COT指導者養成研修会を開催(8回、543人) ・対象者:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、保育師、放課後指導員	・COT指導者養成研修会を開催(9回、401人) ・対象者:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、保育師、放課後指導員	・COT指導者養成研修会を開催(8回、374人) ・対象者:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、保育師、放課後指導員、ヘルサポほか	・COT指導者養成研修会を開催(8回、413人) ・対象者:地域SC指導者、スポーツ推進委員、教員、保育師、放課後指導員、ヘルサポほか	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	155千円	906千円	908千円	906千円	626千円	
	決算額	154千円	490千円	109千円	270千円	360千円	
	事務量(正規)	30人日	30人日	30人日	30人日	30人日	
	事務量(臨時)	30人日	30人日	10人日	10人日	10人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	川治	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-3(4)1	スポーツ情報ホームページとスポーツ情報コーナーの開設					
種別	新規	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-3	「支える」スポーツの推進				
	取組	(4)	スポーツ情報ネットワークの充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	「する」「みる」「支える」スポーツに役立つ情報を提供するため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	スポーツ情報ホームページとスポーツ情報コーナーの開設					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	ホームページ・情報コーナー開設					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・民間が運営するスポーツ情報サイト活用の検討 ・市体育協会HPの活用検討	・ホームページ・情報コーナー開設 ・市HP内に、スポーツ関係のリンク集を設置 ・体育協会HPの充実	・市ホームページ内のスポーツ情報コーナーの充実 ・スカイホール内スポーツ情報掲示板の充実	・市及び体育協会ホームページによる積極的なスポーツ情報の発信 ・スカイホール内スポーツ情報掲示板による積極的な情報発信	・市及び体育協会ホームページによる積極的なスポーツ情報の発信 ・スカイホール内スポーツ情報掲示板による積極的な情報発信 ・市南庁舎2階のホームタウンコーナーの随時更新	
	実績 (成果)	・民間が運営するスポーツ情報サイト活用の検討 ・市体育協会HPの活用検討	・市イベント等の情報を随時更新 ・FBなどSNSを生かした体協ホームページの展開	・市ホームページ内のスポーツ情報コーナーの随時更新 ・スカイホール内スポーツ情報掲示板の充実	・市ホームページ内のスポーツ情報コーナーや市役所南庁舎2階のホームタウンコーナーの随時更新 ・スカイホール内のスポーツ情報掲示板の充実	・市及び体育協会ホームページによる積極的なスポーツ情報の発信 ・スカイホール内スポーツ情報掲示板による積極的な情報発信及び「豊田市わかまちアスリート」選手紹介タペストリーの掲出(13名分) ・市南庁舎2階のホームタウンコーナーの更新(年15回)	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	200千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	200千円	500千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	川治	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-4(1)1	既存施設の機能拡充					
種別	新規	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-4	スポーツ施設環境の充実				
	取組	(1)	施設の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	スポーツ施設利用者の利活用性・利便性の向上のため					
	時期 (いつ)	随時					
	場所 (どこで)	—					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	既存施設に新たな機能を整備する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	ウォーキングコースなどの整備2施設					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・拡充する機能について検討	・体育館利用種目の拡大について検討	・体育館利用種目の拡大について検討	・検討まとめ	・整備、実施 ・効果検証	
	実績 (成果)	・拡充する機能について検討 ・検討会議を実施(4回)	・拡充する種目について検討 ・検討会議を開催(2回) ・既存種目に関する機能の維持管理	・検討会議を開催(2回) ・既存種目に関する機能の維持管理 ・体育器具の更新(インディアカ支柱)にあたり、多くの種目で利用できる仕様の体育器具を購入	・猿投公園内にマレットゴルフ場を新規整備(公園全体の利用者増加見込み) ・既存種目に関する機能の維持管理	・猿投公園内マレットゴルフ場運用開始。(公園全体の利用者増加) ・ウォーキングやランニング利用者の多い、豊田スタジアム周辺園路を改修。 ・既存種目に関する機能の維持管理 ・新しく整備する(仮)梅坪台運動広場にウォーキングコースを設置予定	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						・施設の安心安全のための修繕を優先させて予算確保を行ったため。
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	115,000千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	338千円	103,371千円	0千円	
	事務量(正規)	5人日	5人日	5人日	5人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	太田	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-4(1)2	地域型スポーツ施設の整備					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-4	スポーツ施設環境の充実				
	取組	(1)	施設の拡充				
② 取組の概要	目的 (何のために)	身近に施設のない地区へ地域型スポーツ施設を整備する					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	梅坪台地区					
	対象 (誰に)	地区住民等					
	方法 (何を)	多目的運動広場を整備する(軟式野球1面程度の広さ)					
③ 設定目標	現状	(仮称)梅坪台運動広場整備着手					
	目標	(仮称)梅坪台運動広場供用開始					
	目標(変更)	造成工事の実施及び設備工事の着手					平成27年度
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得にかかる地権者調整 ・事業認定手続き、用地取得 ・詳細設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業認定申請 ・税務署協議 ・用地買収 ・工事着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・工事着手 	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事 	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事の実施 ・設備工事の着手 	
	実績 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> ・用地取得にかかる地権者調整 ・事業認定手続き ・詳細設計 	<ul style="list-style-type: none"> ・事業認定申請 ・税務署協議 ・用地買収 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・用途廃止申請 	<ul style="list-style-type: none"> ・用地買収 ・造成工事発注 	<ul style="list-style-type: none"> ・造成工事 ・建築物設計(トイレ、駐輪場等) ・舗装工事 	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	事業認定申請にかかる愛知県との調整に時間を要したため。	開拓財産の取得にかかる国との調整に時間を要したため。				
⑤ コスト	予算額	302千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	6千円	299千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	60人日	90人日	90人日	70人日	50人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	設計費、用地費、工事費については豊田市開発公社が対応している。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-4(2)1	施設管理方針に基づく既存スポーツ施設の改修・修繕の実施					
種別	継続	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-4	スポーツ施設環境の充実				
	取組	(2)	老朽化への対応				
② 取組の概要	目的 (何のために)	安全・安心な施設の提供					
	時期 (いつ)	通年(4~3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	施設利用者					
	方法 (何を)	点検に基づく修繕の実施					
③ 設定目標	現状	施設管理方針の策定					
	目標	施設管理方針に基づく改修・修繕の実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・点検及びその結果に基づく修繕の実施	・点検およびその結果に基づく修繕の実施	・点検およびその結果に基づく修繕の実施	・点検およびその結果に基づく修繕の実施	・点検およびその結果に基づく修繕の実施	
	実績 (成果)	・点検及びその結果に基づく修繕の実施	・東山運動広場照明塔灯鉄部塗装など点検およびその結果に基づく修繕の実施	土橋公園野球場フェンス塗等点検及びその結果に基づく修繕の実施	・豊田スタジアム修繕計画に基づく大型映像装置表示部修繕等の実施 ・松平運動広場フェールボール塗装等点検及びその結果に基づく修繕の実施	・豊田スタジアム修繕計画に基づく修繕(建物をつなぐ継手等)の実施 ・古瀬間運動広場バックボード等点検及びその結果に基づく修繕の実施	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	台風、スタジアムなどで、緊急に修繕が必要になったため					
⑤ コスト	予算額	4,110千円	11,250千円	59,615千円	488,045千円	33,129千円	
	決算額	798千円	8,175千円	50,943千円	313,563千円	28,112千円	
	事務量(正規)	3人日	3人日	3人日	3人日	3人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	太田	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-4(3)1 指定管理者制度の充実によるサービスの向上						
種別	継続	担当課	スポーツ課			国県補助	無
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-4	スポーツ施設環境の充実				
	取組	(3)	施設管理運営体制の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	施設管理運営体制の充実					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	施設利用者					
	方法 (何を)	管理運営の効率化並びにサービスの向上					
③ 設定目標	現状	CS(顧客満足度)アンケート結果90点以上…0/6項目					
	目標	CSアンケート結果90点以上…6/6項目					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・目標値:2/6項目	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・目標値:3/6項目	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・目標値:5/6項目	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・目標値:6/6項目	
	実績 (成果)	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・実績値:0/6 ・全項目平均80点以上	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・実績値:0/6 ・5/6は平均80点以上	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・実績値:0/6 ・全項目平均80点以上	・市民窓口アンケート、CS向上研修の実施 ・実績値:0/6 ・全項目平均80点以上	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	1人日	1人日	1人日	1人日	1人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	・平成29年度6施設(高岡公園体育館、東山体育センター、柳川瀬公園、豊田市総合体育館、西部体育館及び逢妻運動広場、井上公園水泳場)					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	岩月	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-4(3)2	安全安心な施設管理の徹底					
種別	継続	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-4	スポーツ施設環境の充実				
	取組	(3)	施設管理運営体制の充実				
② 取組の概要	目的 (何のために)	施設管理運営体制の充実					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	施設利用者					
	方法 (何を)	点検に基づく修繕の実施					
③ 設定目標	現状	定期的な施設点検の実施					
	目標	上級体育施設管理士資格の取得要件化					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・点検及びその結果に基づく修繕の実施	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得要件化の検討	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得要件化の周知	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得要件化の周知	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得要件化の周知	
	実績 (成果)	・点検及びその結果に基づく修繕の実施	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得要件化の検討	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得を促す旨通知 ・資格の要件化については、指定管理者更新のタイミングで周知する。	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得を促す旨通知 ・資格の要件化については、指定管理者更新のタイミングで周知する。	・点検およびその結果に基づく修繕の実施 ・上級体育施設管理士資格の取得を促す旨通知 ・資格の要件化については、指定管理者更新のタイミングで周知する。(平成30年度更新施設あり)	
	進捗状況	C 遅れ(対応可能)	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入	台風、スタジアムなどで、緊急に修繕が必要になったため					
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	3人日	3人日	3人日	3人日	3人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考	「施設管理方針に基づく既存スポーツ施設の改修・修繕の実施」(整理番号:151)と関連あり					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	山本肇	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-5(1)1	連絡調整会議の設置・開催					
種別	新規	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-5	推進体制の整備				
	取組	(1)	スポーツ関係団体等の横断的な連携の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	スポーツ関係団体等の横断的な連携を推進するため					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	スポーツ関係団体					
	方法 (何を)	スポーツ関係諸団体の連絡調整会議の設置					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	関係諸団体の連絡調整会議、関係所管課の連絡調整会議の設置・開催					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・既存のスポーツ会議に連絡調整機能を付加することが可能かを検討	・既存会議での連絡調整の継続 ・関係諸団体との連絡調整の方向性の検討 ・調整会議として既存会議を活用することの検討	・既存会議での連絡調整の継続 ・関係諸団体との連絡調整の方向性の検討 ・調整会議として既存会議を活用することの検討	・既存会議での連絡調整の継続 ・関係諸団体との連絡調整の方向性確定 ・調整会議として既存会議を活用することの結論付け	・既存会議での連絡調整の継続 ・評価・検証	
	実績 (成果)	・朝日丘スポーツクラブ開催のスポーツの好循環検討委員会という関係団体の横断的連携を図る会議が追加された	・既存会議での連絡調整 ・既存会議を活用し組織間の情報共有など連絡調整の方向性を検討 ・健康増進プログラム実行委員会を発足	・既存会議での連絡調整 ・既存会議を活用し組織間の情報共有など連絡調整の方向性を検討 ・健康増進プログラム実行委員会の実施	・既存会議での連絡調整を継続 ・既存会議を活用し組織間の情報共有するなど、関係団体との連絡調整の方向性を確認	・既存会議での連絡調整を継続 ・既存会議を活用し組織間の情報共有するなど、関係団体との連絡調整の方向性を確認	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	0人日	0人日	0人日	5人日	6人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	杉坂	作成年月	平成30年5月
実施内容	4-5(2)1	市体育協会との連携によるソフト事業の充実					
種別	拡充	担当課	スポーツ課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	4	生涯スポーツ分野／市民が生涯を通じてスポーツに親しみ、楽しめる社会の実現				
	施策	4-5	推進体制の整備				
	取組	(2)	市体育協会の組織体制の充実支援				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民が多様なスポーツに親しみ楽しめる社会を実現する					
	時期 (いつ)	通年(4～3月)					
	場所 (どこで)	市内全域					
	対象 (誰に)	市体育協会					
	方法 (何を)	市体育協会の専門性を活用し、競技だけでなく、生涯スポーツ分野のソフト事業においても市との連携を図る					
③ 設定目標	現状	ソフト事業移管検討					
	目標	ソフト事業移管実施 3事業					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・移管ソフト事業の検討	・移管ソフト事業の検討	・移管事業の選定 ・移管スケジュールの検討	・移管スケジュール確定	・ソフト事業の移管実施(3事業)	
	実績 (成果)	・移管ソフト事業について検討 ・移管とは別に市体育協会と新たに「スポーツに関する出前講座」を実施	・移管ソフト事業について検討 ・移管とは別に市体育協会が実施した「スポーツに関する出前講座」に加え、健康増進プログラム実行委員会を新たに組織し、ラジオ体操を軸とした軽スポーツ事業を実施	・昨年に引き続き、健康増進プログラム実行委員会を組織し、ラジオ体操に加え、ウォーキング事業実施	・健康増進プログラム実行委員会を組織し、引き続きラジオ体操とウォーキング事業を実施 ・市と地域スポーツクラブの中間支援組織としての役割を確認	・ラジオ体操&ウォーキング事業を、市体育協会豊田スタジアムの事業として、移管完了 ・市と地域スポーツクラブの中間支援組織としての指導や取りまとめ事務の移管調整	
	進捗状況	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						・体育協会の職員数の改善も併せて見直しする必要があるため。
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	3人日	3人日	3人日	3人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	毛受	作成年月	平成30年5月
実施内容	5-1(1)1	子どもと教育委員の意見交換会の開催					
種別	新規	担当課	教育政策課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	5	教育行政事務分野／市民に信頼される教育行政の実現				
	施策	5-1	市民に開かれた教育委員会の推進				
	取組	(1)	教育行政に関する市民参加の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	教育行政に関する児童生徒の現状や考えを確認するため					
	時期 (いつ)	年2回					
	場所 (どこで)	小学校、中学校					
	対象 (誰に)	児童生徒					
	方法 (何を)	教育委員との意見交換会を開催する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	年2回実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	—	・実施方法の決定	・モデル実施(1校)	・年2回実施	・年2回実施	
	実績 (成果)	・なし	・実施方法の検討(3月)	・モデル実施(1校) 高橋中学校	・年2回実施 足助中学校2年 萩野小学校2年・6年	年2回実施 上郷中学校3年 猿投中学校3年	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	1千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	0人日	5人日	25人日	15人日	15人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日		0人日	
⑥ その他	点検・評価						○
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	古井	作成年月	平成30年5月
実施内容	5-1(1)2	定期的なアンケート調査の実施					
種別	拡充	担当課	教育政策課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	5	教育行政事務分野／市民に信頼される教育行政の実現				
	施策	5-1	市民に開かれた教育委員会の推進				
	取組	(1)	教育行政に関する市民参加の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	教育行政に関する市民や関係者の現状や考えを確認するため					
	時期 (いつ)	3年に1回					
	場所 (どこで)	市内全体					
	対象 (誰に)	抽出された地域住民、保護者、教育関係者等					
	方法 (何を)	定期的なアンケート調査を実施する					
③ 設定目標	現状	計画策定時(5年ごと)にアンケート調査実施					
	目標	3年ごとに定期的なアンケート調査実施					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	-	・調査項目、調査対象の検討	・調査項目、調査対象の検討 ・Eモニターアンケート実施	・調査実施 ・調査報告書の作成	-	
	実績 (成果)	・なし	・調査項目、調査対象の検討、積算(9月)	・Eモニターアンケート実施(9月) ・(仮)第3次教育行政計画策定に向けた調査対象者の検討(~3月)	・教育に関するアンケート調査の実施(7~10月) ・教育に関するアンケート調査報告書の発行(3月)	・なし	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	7,500千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	7,398千円	0千円	
	事務量(正規)	0人日	5人日	5人日	50人日	0人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	志村	作成年月	平成30年5月
実施内容	5-1(2)1	教育委員会だよりの発行					
種別	新規	担当課	教育政策課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	5	教育行政事務分野／市民に信頼される教育行政の実現				
	施策	5-1	市民に開かれた教育委員会の推進				
	取組	(2)	教育委員会情報の整理・公表				
② 取組の概要	目的 (何のために)	教育行政に関する市民の理解や関心を高めるため					
	時期 (いつ)	年2回					
	場所 (どこで)	市内全体					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	教育に関する広報紙を発行・配布する					
③ 設定目標	現状	—					
	目標	年2回発行					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・市内での広報紙発行	・素案作成	・教育委員会だよりの発行に向けた媒体(SNS、DB化)について検討	・教育委員会だよりの発行に向けた媒体(SNS、DB化)について検討	・教育委員会だよりの発行(年2回)	
	実績 (成果)	・市内での広報紙発行(年5回)	・昨年発行の広報紙についてヒアリング実施 ・実施方法の検討(発行媒体・コンテンツ等)	・SNS(FB)を活用した教育委員会の情報発信の具体的実施方法について検討(12月)	・HP、広報とよたを活用した教育委員会の情報発信の具体的実施方法について検討(12月)	・第3次教育行政計画の概要版冊子を全小中学校の保護者へ配付(3月)	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	B 概ね予定通り	D 遅れ(対応困難)	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						教育委員会だよりの広報戦略が定まらず、発行に至らなかったため
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	10人日	10人日	10人日	10人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	古井	作成年月	平成30年5月
実施内容	5-1(2)2	計画の進捗状況及び点検・評価結果の公表					
種別	継続	担当課	教育政策課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	5	教育行政事務分野／市民に信頼される教育行政の実現				
	施策	5-1	市民に開かれた教育委員会の推進				
	取組	(2)	教育委員会情報の整理・公表				
② 取組の概要	目的 (何のために)	教育行政に関する情報を市民と共有するため					
	時期 (いつ)	年1回					
	場所 (どこで)	市役所、支所、交流館、市ホームページなど					
	対象 (誰に)	全市民					
	方法 (何を)	計画の進捗状況や点検・評価結果を公表する					
③ 設定目標	現状	年1回公表					
	目標	年1回公表					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の教育の発行 前計画の最終報告書の公表 点検・評価結果の公表 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の進捗報告書の公表 点検・評価結果の公表 豊田市の教育の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の進捗報告書の公表 点検・評価結果の公表 豊田市の教育の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の進捗報告書の公表 点検・評価結果の公表 豊田市の教育の発行 	<ul style="list-style-type: none"> 計画の進捗報告書の公表 点検・評価結果の公表 豊田市の教育の発行 	
	実績 (成果)	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の教育の発行(8月) 前計画の最終報告書の公表(10月) 点検・評価結果の公表(12月) 	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の教育の発行(10月) 点検・評価結果の公表(12月) 計画の進捗報告書の公表(3月) 	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の教育の発行(10月) 点検・評価結果の公表(12月) 計画の進捗報告書の公表(2月) 	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の教育の発行(7月) 点検・評価の公表(12月) 計画の進捗報告書の公表(9月) 	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の教育の発行(8月) 点検・評価の公表(12月) 計画の進捗報告書の公表(9月) 	
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	0千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	10人日	15人日	15人日	13人日	13人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	志村	作成年月	平成30年5月
実施内容	5-2(1)1	点検・評価における市民意見の反映					
種別	拡充	担当課	教育政策課	国県補助	無		
① 施策体系	重点テーマ	非該当					
	分野	5	教育行政事務分野／市民に信頼される教育行政の実現				
	施策	5-2	教育行政における適切なマネジメントの推進				
	取組	(1)	教育行政評価制度の推進				
② 取組の概要	目的 (何のために)	市民や関係者の現状や考えを教育行政に反映するため					
	時期 (いつ)	4～12月頃					
	場所 (どこで)	市役所					
	対象 (誰に)	抽出された地域住民、保護者、教育関係者等					
	方法 (何を)	点検・評価に反映する					
③ 設定目標	現状	1人の市民代表を有識者として依頼					
	目標	年40人の市民の意見を反映					
	目標(変更)						
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度		
④ 取組計画・取組実績	計画	・市民参加方法の内 部決定	・前年度の決定内容 のモデル実施 ・効果検証 (5人の意見を反映)	・前年度の検証結果を もとに手法改善 ・Eモニターアンケート 実施(10人の意見を反 映)	・継続実施 (20人の意見を反映)	・継続実施 (40人の意見を反映)	
	実績 (成果)	・Eモニターアンケート 実施(12月) ・関係者アンケート実 施(1月) ・教育委員会協議会 で実施方法決定	・市内教育系NPO法 人代表による有識者 事業評価委員会の傍 聴・ヒアリング実施	・手法の改善(4～6 月) ・Eモニターアンケート 実施(7月) 結果を点検・評価総 括会議で活用	・Eモニターアンケート 実施(7月) 回答者数:235人 結果を事業視察等 で活用	・Eモニターアンケート 実施(7月) 回答者数:237人 結果を事業視察等 で活用	
	進捗状況	A 予定通り	B 概ね予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	
	理由・課題 ※遅れの場合 のみ記入						
⑤ コスト	予算額	0千円	0千円	9千円	0千円	0千円	
	決算額	0千円	9千円	0千円	0千円	0千円	
	事務量(正規)	15人日	5人日	5人日	3人日	3人日	
	事務量(臨時)	0人日	0人日	0人日	0人日	0人日	
⑥ その他	点検・評価						
	備考						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA07	所属名	教育政策課	担当者	志村	作成年月	平成30年5月	
実施内容	5-2(1)2	点検・評価の実施						
種別	継続	担当課	教育政策課	国県補助	無			
① 施策体系	重点テーマ	非該当						
	分野	5	教育行政事務分野／市民に信頼される教育行政の実現					
	施策	5-2	教育行政における適切なマネジメントの推進					
	取組	(1)	教育行政評価制度の推進					
② 取組の概要	目的 (何のために)	教育委員会のマネジメント力を強化し、PDCAサイクルを適切かつ着実に運用するため						
	時期 (いつ)	4～12月頃						
	場所 (どこで)	市役所、視察先等						
	対象 (誰に)	教育委員会実施事業						
	方法 (何を)	点検・評価を実施する						
③ 設定目標	現状	年15事業を対象に点検・評価を実施						
	目標	年15事業を対象に点検・評価を実施						
	目標(変更)	年8事業を対象に点検・評価を実施					平成27年度	
対象年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度			
④ 取組計画・取組実績	計画	・点検・評価実施(15事業対象) ※1課1事業程度	・点検・評価実施(15事業対象) ※1課1事業程度	・点検・評価実施(8事業対象) ※1課1事業程度	・点検・評価実施(8事業対象) ※1課1事業程度	・点検・評価実施(8事業対象) ※1課1事業程度		
	実績(成果)	・評価対象事業選定(4月) ・有識者評価委員会(7月) ・事業視察(8月) ・教育委員評価委員会(10月) ・報告書作成(12月) ※12事業対象	・評価対象事業選定(4月) ・有識者事業評価委員会(7月) ・事業視察(6～8月) ・教育委員事業評価委員会(10月) ・報告書作成(12月) ※10事業対象	・点検・評価手法の改善(4～6月) ・評価対象事業選定(7月) ・事業視察・ヒアリング(9～11月) ・評価会議(11月) ・報告書作成(12月) ※10事業対象 ・次年度実施事業の選定(3月)	・点検・評価手法の改善(4～5月) ・評価対象事業選定(5～6月) ・事業視察・ヒアリング(8～9月) ・評価会議(10月) ・報告書作成(12月) ※10事業対象 ・次年度実施事業の選定(3月)	・評価対象事業選定(4月) ・事業説明会(5月) ・事業視察・ヒアリング(6～7月) ・評価会議(9月) ・報告書作成(12月) ※8事業対象 ・次年度実施事業の選定(3月)		
	進捗状況	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り	A 予定通り		
	理由・課題 ※遅れの場合のみ記入							
⑤ コスト	予算額	455千円	390千円	408千円	370千円	314千円		
	決算額	312千円	325千円	301千円	276千円	88千円		
	事務量(正規)	70人日	70人日	70人日	70人日	70人日		
	事務量(臨時)	5人日	5人日	5人日	5人日	5人日		
⑥ その他	点検・評価							
	備考							

第2次豊田市教育行政計画

進捗報告書（様式2）

※重点テーマ該当事業のみ

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	石川	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-1(1)1 (仮称)とよた大好きっ子カリキュラムの作成						
種別	新規	重点テーマ	4 学びのつながりを重視した教育の推進			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 組織の編成 とよた大好きっ子カリキュラム推進委員会をコミュニティ・スクール推進委員会に位置付けて推進 第1回(6月) 推進委員会の地区を重点的に、学校間連携を各地区の実情に合わせて推進 第2回(9月) 進捗状況の確認 第3回(11月) 実践報告のまとめについて検討・協議 第4回(1月) 次年度の取組について協議 研究発表会の開催(9月27日) 浄水中学校区で学校間連携の成果を発表 (6月~1月) 新たな重点推進地区(4地区:梅坪台・美里・若園・藤岡南)での推進 教務主任会との連携 全中学校区でとよた大好きっ子カリキュラム作成のための小中連携の推進 とよた大好きっ子カリキュラム重点地区4地区と全中学校区での9年間の学びのつながりカリキュラム案の完成 校務システムで全中学校区のカリキュラム案を公開 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 中学校区ごとにこれまでの取組を視覚化することで、小中のつながりだけではなく、小小のつながりも確認する機会となった(教務主任者会より) 地域と学校だけでなく、教員同士の授業交流や情報交換をする機会が増えた。(教務主任者会より) 						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 教務主任者会では、平成27年度から3年間に渡り「小中のつながり」をテーマに研修を行ってきた。その成果として全中学校区でカリキュラムを作成することができたが、今後も各学区で引き続き推進、またはより良くするためにマイナーチェンジをするための共有の場が必要。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市の郷土愛を育てる各地区のカリキュラムを活用し、地域コーディネーターと連携実践を目指す。 小中連携だけでなく、同じ学区の小小連携も進めることで、より目標に連携に近づくことができる。 コミュニティ・スクールにおいても学びのつながりは必要になるため、完成後も教務主任者会と連携をし、中学校区で見直しや内容の検討を重ね、より充実したものにしていく。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子カリキュラム推進委員会をコミュニティ・スクール推進委員会に統合して、9年間の学びのつながりカリキュラム案を全中学校区で作成、情報発信することができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	石川	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-1(1)2	小中一貫教育の調査・研究及び推進					
種別	新規	重点テーマ	4 学びのつながりを重視した教育の推進			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 組織の編成 とよた大好きっ子カリキュラム推進委員会をコミュニティ・スクール推進委員会に位置付けて推進 					
	5月						
	6月	第1回(6月) 推進委員会の地区を重点的に、学校間連携を各地区の実情に合わせて推進					
	7月	第2回(9月) 進捗状況の確認					
	8月	第3回(11月) 実践報告のまとめについて検討・協議					
	9月	第4回(1月) 次年度の取組について協議					
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 重点推進地区での連携の推進 平成28年度の成果の発表(9月27日:浄水) 					
	11月	新たな重点推進地区(4地区:梅坪台・美里・若園・藤岡南)での推進					
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 教務主任会との連携 全中学校区でとよた大好きっ子カリキュラム作成のための小中連携の推進 					
	1月	<ul style="list-style-type: none"> とよた大好きっ子カリキュラム重点地区4地区と全中学校区での9年間の学びのつながり案の完成 校務システムで公開 					
	2月						
	3月						
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 教務主任者会との連携により小中の交流が進んでいる。 平成27年度・28年度の重点地区のカリキュラムを校務システムに掲載したことによって、平成29年度はそれを参考にしたり、ブロック校長会議などで小中連携への取組が話題になったりするなど、学校現場の意識高揚を図ることができた。 					
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 全中学校区(28地区)で教務主任を中心とした取組を視覚化する機会がもてた。(教務主任者研修会) 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成27年度から教務主任者会のテーマを「学びのつながり」として小中連携を進めてきた。平成29年度で全中学校区のカリキュラムが完成したため、平成30年度からは、コミュニティ・スクール推進委員会の中の「9年間の学びのつながり」という一つの柱として推進していく必要がある。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 各中学校区で作成した9年間の学びのつながりを示したカリキュラム案に基づくカリキュラムマネジメントについては、コミュニティ・スクール推進委員会の取組に位置付けて推進を図る。加えて、カリキュラム案をより地域色を生かし、実効性の高いものにするために、同委員会の主導で毎年度改善を図る。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 教務主任者会との連携により、各校が各地区の小中連携実践プランを共有しながら、持続可能な小中連携実践を推進することができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	近藤	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-1(3)1	ICT(デジタル教科書等)を活用した授業の展開							
種別	拡充	重点テーマ	2 学校教育の更なる充実			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 新しい学びのスタイル推進委員会の開催 第1回(6月) 方針と計画の検討 			(平成30年度計画は記載されていません)				
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回(7月) タブレット・プログラミング教育に関する授業研究 							
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回(11月) タブレット活用の実践事例集の作成 プログラミング教育の方向性 							
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 第4回(2月) 総括と次年度に向けて 							
	8月								
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 第3回情報活用意識調査の実施(7月:モデル4校) 							
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 機器等の整備 校務用パソコンの更新(1,156台)(8月) 							
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 職員室用インターネットパソコンの更新(284台)(8月) 授業用パソコン(ICTカート400台)の追加整備(11月) 							
	12月								
	1月								
	2月								
	3月								
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を中心としたICT機器の活用時間が大幅に増加した。 小中学校で、デジタル教科書を中心とするICT機器を活用した授業数が増加した。 授業でタブレットパソコンを活用することで、子どもたちが学習に意欲的に参加することができた。 子どもたちは、目的に応じたタブレットの操作性を身につけ、情報活用力を高めることができた。 							
根拠・データ	<p>市内ICT機器活用報告(4~12月)より</p> <ul style="list-style-type: none"> デジタル教科書を利用した1か月当たりの平均授業時間数(24年度との比較) 小学校 4.6時間→17.3時間(3.8倍) / 中学校 6.6時間→16.0時間(2.4倍) (小中学校ともに大幅に増加) ICT機器活用時間 小学校 17.0時間(H28)→19.0時間(H29) / 中学校 18.9時間(H28)→22.3時間(H29) 技能教科では書画カメラを利用し、授業での活用が浸透している。 モデル校1校1か月あたりのタブレットパソコンの平均利用時間 (小)37.6時間→36.4時間 (中)34.4時間→42.8時間 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 2クラスに1台のICTカートの整備が完了したが、学校現場では業間が5~10分しかないため、短時間で機器を準備するためには、常設が望ましい。 各学校の活用状況に差が見られ、教員のICT機器の活用力の差が縮まらない。 タブレットを普通教室に持ち出す場合、希望が重複すると、台数が不足している。生徒の活用力は高くなっているが、教員の活用力が伴っていない。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 各校で、授業で効果的に活用するためのICT研修を実施し、個の活用力を高める。 全教員を対象に、eラーニング等を用いてICT機器活用及び情報セキュリティについて意識の向上を図る。 平成30年度タブレット一体型PC導入にあたり、教員の活用術を高める研修計画を立案する。児童生徒が主体的にタブレットを活用した学習へと変換していく。 							
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 2クラスに1台のICTカートの整備が整い、デジタル教科書を活用した授業時間数が大幅に増加した。 モデル校において、子どもたちがタブレットパソコンの操作を身に付け、学習に意欲的に参加し、情報活用力を高めた。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	清水	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-3(1)1	体力向上1校1実践運動の展開					
種別	新規	重点テーマ	11 市民のスポーツ活動への支援			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	・豊田市「子どもの体力向上プログラム」の活用					
	5月	・体力向上推進委員会準備委員会(5月) ・学校体育担当者会議の開催(5月) 豊田市「子どもの体力向上プログラム」の活用と方針説明					
	6月	・体力向上推進委員会の開催 ・第1回(6月)					
	7月	平成29年度の検証へ向け、体力向上プログラムの見直し					
	8月	・第2回(8月) 重点取組項目の取り組み方の具体案の検討					
	9月	・第3回(9月) 重点取組項目の取り組み方の具体案の検討 学校体育担当者会の内容検討					
	10月	豊田市「子どもの体力向上プログラム」総括方法についての検討					
	11月	・第4回(11月) 学校体育担当者会の打合せ事項の確認 ・学校体育担当者会議の開催(12月)					
	12月	1校1実践について、ブロックごとの情報交換会 体力向上プログラムを効果的な活用についての情宣					
	1月	・第5回(1月) 平成29年度の総括と今後の方針の確認 豊田市「子どもの体力向上プログラム」総括と今後の方針の確認					
	2月	・第6回(2月) 今後の方針の確認					
	3月	豊田市「子どもの体力向上プログラム」「1校1実践パンフレット」の配付					
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市「子どもの体力向上プログラム」が効果的に活用されるよう、年間活用スケジュールを示した。 ・体育担当者会議を実施し、1校1実践について、ブロックごとの情報交換会を実施した。 ・体力アップトレーニングメニューを、1校1実践の内容から体力向上推進委員が作成し、「POTETO」に掲載した。 ・各校の体力向上プラン、1校1実践について学校HPに掲載し、地域・保護者に情報発信を行った。 ・1校1実践パンフレットについて、学校番号をつけたり、着目した力を明記したりするなどし、改善を図った上で全校に配付した。 					
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度新体力テストの結果 ・「POTETO」の閲覧回数が増加。また、学校自己評価における体力向上への取組の教員評価値が向上。 ・体育担当者会議の参加者アンケートでは、「周辺学校の取組が分かってよかった。」「参考にして1校1実践を充実させたい。」との声があった。 						
② 課題(詳細・今後の取組方針)	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市「子どもの体力向上プログラム」が効果的に活用されるよう、年間活用スケジュールの周知を図り、各校の取組につなげていく必要がある。 ・情報交換会のあり方を再検討し、1校1実践の内容をより充実させる必要がある。 ・継続を図るための豊田市版「体力アップシート」を全校で活用するため、内容の改善を図る必要がある。 ・各校のニーズに対応できるよう、体力アップトレーニングメニューを充実させていく必要がある。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市「子どもの体力向上プログラム」がさらに効果的に活用されるための方法を検討する。 ・豊田市版「体力アップシート」を全小中学校が活用するための方法を検討する。 ・学校間の情報交換会のあり方を再検討し、実施する。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市「子どもの体力向上プログラム」を活用して、児童生徒の体力状況に応じた1校1実践運動を継続実施できた。 ・体育担当者会議を通じたブロック情報交換会を実施し、各校の特色ある取組を情報発信・共有することができた。 ・体力アップトレーニングメニュー、体力アップシートなど体力向上に役立つ資料の充実を図ることができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岸本	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-3(1)2	体力向上補助指導員の配置拡大							
種別	拡充	重点テーマ	11 市民のスポーツ活動への支援			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	(4月～3月) ・特色ある学校づくり推進事業による体力向上補助指導員の説明会の開催							
	5月								
	6月	(6月～2月) ・体力向上補助指導員との情報交換							
	7月	(随時) ・学生ボランティア制度の確立・運用に向けて、中京大学との情報交換							
	8月								
	9月	(2月～3月) ・次年度の特色ある学校づくり推進事業の希望調査による体力向上補助指導員の配置計画の作成							
	10月	・中京大学との連携(情報交換) ・教育センターの学生ボランティア制度の活用、大学の単位制の活用等の課題整理							
	11月								
	12月								
	1月								
	2月								
	3月								
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の運動に対する意欲が向上した。 ・指導計画の作成について、体力向上補助指導員の活用という視点での見直しを図ることができた。 							
根拠・データ	<p><平成29年度配置></p> <ul style="list-style-type: none"> ・特色ある学校づくり推進事業による配置 25校(延べ11人) 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・配置校の拡大を進めるためには、体力向上補助指導員の確保が必要である。 ・体力向上補助指導員のあり方の、周知徹底を図る必要がある。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学生ボランティア制度の確立・運用に向けて、中京大学との連携に関わる課題を整理する。 							
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・体力向上補助指導員の配置によって、専門性を生かした個別支援の機会が増加し、体育授業の質が向上した。また、児童の運動意欲向上につながった。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	原田	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-4(2)1	いじめ・不登校対策推進委員会の充実					
種別	継続	重点テーマ	2 学校教育の更なる充実			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止対策委員会(3回) 第1回: 5月30日 第2回: 10月17日 第3回: 2月6日 《いじめ防止対策委員会と連携》 いじめ・不登校対策推進委員会(2回) 第1回全体会: 6月9日 第2回全体会: 2月16日 不登校対策部会(6月～12月: 5回) ラポールデイキャンプ、体験活動打合せ 啓発資料の作成 ラポールデイキャンプ: 7月27日 ラポール体験活動: 12月1日 いじめ問題対策部会(6月～1月: 6回) キャッチコピー、ポスターの募集 教師用指導資料「いじめ撲滅を目指して」の改訂 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止のためのキャッチコピーを小中学生や市民にも広く募集し、18,198点もの応募があった。多くの人々がいじめ防止について考えるきっかけとなった。 教師用指導資料「いじめ防止・対応マニュアル」を作成した。平成30年度5月に配布し、校内現職教育や、市内研修会で活用していく予定。 広報紙「まなざし」を配布し、子どもや各家庭に情報提供できた。 ラポールデイキャンプや体験活動を通して、不登校傾向の児童生徒が、人とのかかわり方を学ぶことができた。 						
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 広報紙「まなざし」を配布し、子どもや各家庭に情報提供 ラポールデイキャンプ 参加者24名(子ども14名、保護者10名) ラポール体験活動 参加者20名(子ども13名、保護者7名) 						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に関して、子どもたち自身が意識を高く持ち、自ら考え、行動する取組を進める必要がある。 不登校児童生徒や保護者に対する支援、不登校児童生徒を新たに生まない環境づくりを進める必要がある。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止に関して、子どもたち自身が意識を高く持ち、自ら考え、行動する取組を進めるための、具体的な授業案を作成していく。 不登校問題に対し、体験活動や啓発資料を通して、継続的な支援を行っていく。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> いじめ防止対策委員会を通して、いじめ防止のためのキャッチコピーやポスターの募集を行い、多くの人々がいじめ防止について考えるきっかけをつくることができた。 教師用指導資料「いじめ防止・対応マニュアル」を作成・配布し、校務支援システムにて情報発信できた。 ラポールデイキャンプや体験活動を通して、不登校傾向の児童生徒が、人とのかかわり方を学ぶことができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岸本	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-5(1)1	防災教育推進委員会の設立					
種別	新規	重点テーマ	5 環境・防災の教育と機能強化の推進			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績 (詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	平成28年度末で完了 平成29年度取組なし					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
		効果・成果					
	根拠・データ						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題						
	今後の取組方針						
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	・防災教育ヒント集の内容を一部改訂し、防災教育ヒント集を活用するための授業実践例(H28年度版)を校務システムから情報発信することができた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	近藤	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-5(3)1	小学校でのキャリア教育プログラムの作成							
種別	新規	重点テーマ	2 学校教育の更なる充実			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	・各小学校にキャリア教育全体計画(平成29年度改訂版)とキャリア教育年間計画の作成依頼							
	5月	・平和小学校の実践「地域に学び・語り継ぐ キャリア教育」を紹介							
	6月								
	7月								
	8月								
	9月								
	10月	・各小学校にキャリア教育年間計画の見直し依頼 各学年の児童の発達段階、地域の実態にあった計画への見直し							
	11月								
	12月								
	1月	・平成30年度「夢をはぐくむ、あいち・モノづくり体験」事業の実施計画、検討							
	2月								
	3月								
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校で、キャリア教育全体計画を立て、それをもとにキャリア教育を推進することができた。 平和小学校における実践について他校へ広め、今後のキャリア育の計画を立てる上での参考となった。 							
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 幼・こ・小・中連各階をもつことで連携をはかり、家庭地域の協力を得られるよう学校のキャリア教育計画の広報活動を実施した(根川小学校)。 実際の指導においては、特別活動のみならず、各教科、道徳、総合的な学習の時間とも関連させ、学校の教育活動全体で進めた(古瀬間小学校)。 各教科、道徳、特別活動、総合的な学習の時間において自立心を育てるとともに、友だちと協力して活動する体験を積み重ね、働くことへの意識を高めた(矢並小学校)。 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 幼小中連携や地域で子どもたちを育てていく視点から、学校サポーターの人数を増やしていくこと、及びそれを効果的にコーディネートしていく必要がある。そのために地域学校共働本部との連携をいかに深めていくか。 市民活躍支援課の「ものづくり教育プログラム」についても、専門家や地域の大人とのふれ合いの視点を強調し、よりキャリア教育のねらいに沿ってカリキュラムに取り入れていく必要がある。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> キャリア教育全体計画(平成30年度版)、キャリア教育年間計画の作成、実施 「夢をはぐくむ、あいち・モノづくり体験」事業の実施(県委託事業) 							
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 全小学校で、キャリア教育全体計画を作成し、小中連携を図りながらキャリア教育を推進することができた。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課 学校づくり推進課	担当者	松本	作成年月	平成30年5月					
実施内容	1-5(6)1	校舎を活用した環境学習プログラムの展開										
種別	拡充	重点テーマ	5 環境・防災の教育と機能強化の推進			年度	平成29年度分					
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)							
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 環境教育プログラムの推進(環境政策課との連携) 学校の森、子どもサミット打合せ(運営:豊田市・三重県) 学校の森、子どもサミット 上鷹見小との打合せ 学校の森、子どもサミット 本部との打合せ 学校の森、子どもサミット(全国発表)上鷹見小参加 初任者研修で環境学習について学ぶ 環境学習における意見交流会打合わせ 環境学習における意見交流会(市内小学校10校が参加) ユネスコスクール交流会への参加募集 土橋小学校が、京都市立朱雀第4小学校と交流会開催 ユネスコスクール交流会 根川小学校、土橋小学校:環境教育に関する研究会を開催 土橋小学校:エコガイド授業視察の実施 学校の森、子どもサミット連絡調整 										
	5月											
	6月											
	7月											
	8月											
	9月											
	10月											
	11月											
	12月											
	1月											
	2月											
	3月											
	効果・成果							<ul style="list-style-type: none"> 土橋小学校の校舎を活用した環境学習、エコガイド等について研究会で発表することができ他校にエコ学習の考え方を広げることができた。 学校の森、子どもサミットでは上鷹見小学校が全国に向けて自分たちの環境学習について伝えることができた。 初任者研修と学校の森、子どもサミットを連携させたことで初任者が環境学習について知る機会となった。 				
根拠・データ	研究会の中で、効果を実証するために土橋小学校の発表を取り入れた。											
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 地域の自然等の環境教育を行っている学校は多いが、校舎を活用した環境学習については校舎改修の方針が変わったため関心が薄い。 校舎を活用した環境学習について伝える場を広げていく必要がある。 										
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> トイレ改修はエコ改修の理念を取り入れているので、そこから広めていく。 校舎を使った環境教育DVDの活用をより促進していく。 										
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 土橋小学校の環境学習の研究実践の成果をもとに、エコ学習の考え方を各校に周知・啓発することができた。 学校の森、子どもサミットにおいて、上鷹見小学校の環境学習の成果を全国に周知・啓発することができた。 										

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	星野	作成年月	平成30年5月			
実施内容	1-6(2)1	中堅教員パワーアップ研修の実施								
種別	新規	重点テーマ	2 学校教育の更なる充実			年度	平成29年度分			
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)					
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 第1回校長会で研修受講者の推薦依頼・受講者決定 校外研修 11人 県外研修 2人 			取組計画(平成30年度)					
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 研修会の開催 第1回(8月) 講義・演習 テーマ:豊田市の中核となるミドルリーダーに期待する 								
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 生徒指導と保護者対応 								
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 特別支援教育の現状と対応 道徳の教科化に向けて 学校マネジメント論 								
	8月	<ul style="list-style-type: none"> 受講者の自主研修(各学校) レポート作成 県外研修と報告書の作成 								
	9月									
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 第2回(12月) 県外研修報告 実践発表 								
	11月	<ul style="list-style-type: none"> 講義・演習 テーマ:カリキュラムマネジメント 								
	12月									
	1月									
	2月									
	3月									
		効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 各校の中堅リーダーが参加しており、グループ協議を通じてお互いの情報交換ができた。 講義のテーマ設定を現場が抱える課題に則した題材を選定したことで、受講者から好評を得た。 受講者は、2日間を通してミドルリーダーの立場、重要性を理解し、現場での活躍につながっている。 受講生が自ら課題を設定して視察先を選定し、研修生全体で成果を共有することができた。 							
	根拠・データ	振り返りの結果(2回の平均) 役立つ度 3.90/4点満点 満足度 3.90/4点満点								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 各学校から推薦された受講者が学年主任クラス。リーダーとしての自覚をもって参加しているため、このレベルの人材を集めるように校長会で周知徹底する。 最先端の講義が必要で、講義にあたる指導主事の育成が鍵である。(中央研修へ計画的に参加させる) 								
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 他市の先進的な取組を学び、正しい理論と豊かな実践力を身に付けた豊田市教育の中核を担うミドルリーダーを育成するために研修内容のさらなる充実を図る。 								
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領を意識した最新の内容、マネジメントなどを演習で取り入れることにより、満足度の高い研修を実施できた。 研修受講者が相互の実践を工夫して発表することにより、他の参加者からも刺激を受けたとの感想を得るなど、今後のモチベーションを高める研修を実施できた。 								

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	星野	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(3)1	校長対象の研修会の充実					
種別	継続	重点テーマ	3 学校経営力の向上			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・役職者研修担当者会をe-ラーニングに移行 ・管理職セミナーの実施 第1回(4月)人事課主催:市長講演 第2回(7月)アンガーマネジメント 第3回(11月)職場のうつ その他研修への参加 ※希望者参加 不当要求行為対応研修:法務課主催(8月) ・新任校長研修会の実施 第1回(6月)新しい学校づくり 第2回(8月)学校組織マネジメント ・校長研修会の実施(8月) 学校経営にあたる校長の責務 ・e-ラーニング研修の実施(1月) パワーハラスメント研修 (2月~3月) ・次年度管理職セミナー実施内容の検討・調整 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・管理職セミナーのコンセプトを、平成29年度は「管理職のリーダーシップ」に焦点化して行うことができた。 ・研修プログラムとして、e-ラーニングによる研修を年4回計画的に実施した。 ・ワークショップを取り入れた講座だったこともあり、参加者の意識の高まりが見られ、満足度も高くなった。 ・人材育成プランを意識し、学校組織マネジメント力の向上に特化した内容を実施できた。 					
	根拠・データ	各研修会の参加者満足度調査結果(4点満点中) 校長対象の研修の参加者の満足度は、 3.9(H26) → 3.8(H27) → 3.85(H28) → 3.92(H29) ・第1回新任校長(・教頭)研修会 3.99(H26) → 3.88(H27) → 3.95(H28) → 3.95(H29) ・第2回新任校長(・教頭)研修会兼管理職研修 3.95(H26) → 3.60(H27) → 3.72(H28) → 3.94(H29) ・校長研修会 3.69(H26) → 3.88(H27) → 3.86(H28) → 3.92(H29) ・管理職セミナー 3.89(H26) → 3.83(H27) → 3.90(H28) → 3.84(H29)					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・学校経営力向上の根幹である学校組織マネジメントに直結した研修を増やしたため、これまで行っていた教育法規演習を取り入れることができなかった。 ・自主参加の管理職セミナーについては、平日の夜間実施だけでは参加者が限定される。 ・この研修の成果を、いかに校長が現場に反映されたか、効果測定する指標がない。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学校組織マネジメント力を向上させつつも、法規演習を取り入れられるように研修内容の精査を図る。 ・管理職セミナーについては、次年度はハラスメントやメンタルマネジメントに視点を置いた内容を計画し、年間で意図のあることを行っていきたい。 ・管理職セミナーとそれ以外の管理職研修の連携を図り、相乗効果が図れるような内容を検討していく。 ・次年度から校長研修も教職員データベース上で行えるようにすることで、研修の振り返りによる効果を高めていく。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・集合研修に加えて、e-ラーニングによる研修を行い、効率的な研修を行うことができた。 ・マネジメント、メンタルヘルス等、学校が抱える課題に直結する研修内容を取り入れることができた。 ・講義形式だけでなく、演習形式を工夫することにより、研修参加者の満足度を高めることができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	石川	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(3)2	校長裁量による特色ある学校づくり事業の見直し・改善					
種別	改善	重点テーマ	3 学校経営力の向上	年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・担当者会を実施(4月25日) 各学校から予算書と計画書を集め、協定書の作成 ・教頭研修会で説明会を実施(7月21日) 平成29年度収支決算報告及び実績報告の説明 平成30年度の計画書・予算書の提出を依頼 ・予算書・計画書に基づき予算要望 ・予算要望 ・補助員配置についての検討 ・平成29年度の決算報告を点検 ・平成29年度の収支決算報告書の取りまとめ 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
		効果・成果	平成28年度から、「はつらつ支援事業」と「チャレンジ&ドリーム事業」を統合し、本事業とした。この統合により、校長裁量の範囲が広がり、さらに効果的に特色ある学校づくりを推進することができるようになった。さらに、学校や地域の特徴を生かした地域ぐるみの活動を行いやすくなった。				
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・全校が実施している学校評価より、事業が、教師や児童・生徒の教育活動に効果的であるとともに、事業の計画や成果が広く理解されている。 4=とてもよい 3=まあまあよい 2=あまりよくない 1=よくない 小学校:3.92 中学校:3.71 全校:3.86 保護者 3.26 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	特色ある学校づくり推進事業のテーマが「とよた大好きっ子カリキュラム」や「新しいいきわくわくプラン」のテーマとリンクしていて、テーマに対する計画や補助員の使い方、事業費の使い方が混沌としており、明確でない学校があった。					
	今後の取組方針	事業費が効果的に使われるよう、8月に提出される来年度の計画書を点検する段階で、適切に使われているかの点検を行う。					
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の文化や芸術に関わる活動や交流、自然体験や勤労生産に関わる活動等を学校独自に展開することができた。 ・校長の自由裁量による予算確保によって、特色と活力のある学校づくりを推進することができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	野間	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(4)1	学校問題解決支援窓口(SAT)の対応の機能強化					
種別	拡充	重点テーマ	3 学校経営力の向上			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 学校問題対応マニュアルの確認及び相談への対応(通年) 指導主事に、対応マニュアルを配付(5月) 新任教頭研修にてリスクマネジメント研修を実施 新任校長研修にてリスクマネジメント研修を実施 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 指導主事に対して、対応マニュアルの配付(4月) 年間で9件SAT案件として対応し、8件解決 新任校長研修、新任教頭研修にてリスクマネジメント研修を実施 各学校で、管理職主導で同マニュアル及び非遵行為防止研修冊子(豊田市版)を活用した校内研修を実施 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> いじめ案件の相談も増えているため、子どもの権利相談室との連携をさらに強化する必要がある。また、不当な要求が増えてきている。 教員の世代交代が進み、中堅教員が少数となることから、経験に基づいた十分な助言・支援をする機会の確保が難しくなっている。 具体的な事例に関する研修を各学校で実施し、情報や対応を共有する必要がある。 SATに依頼する内容にも、指導主事が窓口になるものと主幹が窓口になるものに分けられるため、SATの体系を見直す必要がある。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 今年度と同様に役職者研修等でマニュアルを用いた研修を実施し、マニュアルのさらなる活用についても啓発する。 依頼の難易度に応じて担当や対応を選択できるように、分かりやすいフローチャート図を作成し、SATをさらに効果的かつ効率的に活用できるようにする。 平成30年度版のSAT紹介チラシを作成し、年度初めに校内掲示板にて周知し利用促進を図る。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 学校が保護者や住民からの要求に苦慮した際、法的な見解に基づいた知識を得ながら相談や対応をすることができ、校長を始め学校職員が心に余裕を持って事案の解決に向け対応することができた。 法務課と学校教育課が連携し、学校現場への不当要求行為への対応に関する研修を実施できるようになった。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	藤田	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-6(4)2	パルクとよたの相談活動の充実					
種別	拡充	重点テーマ	6 家庭教育力の向上			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	①スクールソーシャルワーカー(以下 SSWr)の周知と訪問支援の充実 ・学校からの早期支援要請に対するSSWrを核とした支援対応(4~3月) ・担当中学校を2か月に1回訪問する。 ・担当小学校を訪問する。					
	5月	・現職研修訪問講師(6~12月) 事例検討会の進め方を通して、SSWrの役割と活用の仕方をわかりやすく伝える。					
	6月	②PDCAに則った適切な支援と関係機関連携の強化(4~3月)					
	7月	・「こもれび」参加者への計画的なケアと移行支援 ・学校からの依頼による相談ケースについて、学校へ進捗状況の確実な報告、指導主事・SSWr・相談員の確実な情報共有					
	8月	③相談員、スクールカウンセラー(以下 SC)、SSWrの資質向上と相談部の機能向上					
	9月	・外部講師によるSSWrへの指導・助言(年間5回) ・少年非行相談員によるSCへの指導・助言の継続実施 ・指導主事とともに、事例検討会における活発な討議(毎月第3週月曜)					
	10月	・現職研修訪問の講師(6~12月 SCは7・8月)					
	11月	・いじめの絡む事案に関する対応についての所内研修(随時)					
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果	①:教育相談主任研修会と現職研修訪問において、SSWrの役割を伝えたり、具体的な動きを示したりすることで、支援の必要な子どもに対して、どのような関与が有効なのかを教職員に伝えることができた。					
	根拠・データ	②③:進捗状況確認会を毎月開催したことで、インテーク以降の経過について、職員全員で確認することができ、個々が受け持つ事例の一つひとつについて学校との連携や解決への見通し等を確認することができた。また、SSWrと青少年相談員、SCの連携するケースもできてきた。外部のスーパーバイザーを講師に招いて、SSWrの研修を実施し、SSWrの役割、他機関との連携について理解を深めた。					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	①:1年目のSSWrが1人、2年目のSSWrが2人、4年目のSSWrが1人と経験の少ないSSWrが多く、アセスメントや連携方法など、力量向上が必要である。					
	今後の取組方針	・担当の中学校を2か月に1回訪問する。また、担当の小学校についても、夏休みの期間等を利用して訪問する。 ・事例検討会、スーパーバイザーを講師に招いてのSSWrの研修会を実施する。					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	・SSWrを1名増員し、4名にすることができた。 ・学校への訪問を積極的に進めたことで、学校との連携を強くすることができた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月	
実施内容	1-7(1)1	地域教育懇談会の再考・再編						
種別	新規	重点テーマ	3 学校経営力の向上	年度	平成29年度分			
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)			
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクール連絡会議への移行に伴う制度の検討、決定 ・校長会議にて地域教育懇談会及びコミュニティ・スクール連絡会議の実施を依頼 ・地域教育懇談会またはコミュニティ・スクール連絡会議実施計画書の提出 ・実施報告書の提出(随時) ・浄水地区でモデル実施される豊田市版コミュニティ・スクール構想におけるコミュニティ・スクール連絡会議の取組状況等について検証 						
	5月							
	6月							
	7月							
	8月							
	9月							
	10月							
	11月							
	12月							
	1月							
	2月							・地域教育懇談会の実施についての集約と効果の検証
	3月							・コミュニティ・スクール連絡会議の効果検証
	効果・成果							<ul style="list-style-type: none"> ・学校と地域で情報交換をする中で、学校や地域が抱えている問題を共有しながら、子どもの健全育成に向け、取り組むことができた。 ・多くの中学生が地域の行事にボランティアとして参加し、地域に貢献することができた。 ・浄水中学校区・益富中学校区(平成28年度)及び保見中学校区(平成29年度)の3中学校区で、地域教育懇談会を再編し、新たに「コミュニティ・スクール連絡会議」を設置して、「目指す子ども像」や、学校間及び学校と地域との具体的な連携方法について協議することができた。
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・市内中学校区(25地区)において地域教育懇談会を実施 ・浄水中学校区、益富中学校区、保見中学校区(3地区)において「コミュニティ・スクール連絡会議」を実施 ・参加者数 1,404名 							
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・コミュニティ・スクールの全市展開に向けて、各地域教育懇談会に対して、制度内容や指定に向けての具体的な方法を示していく必要がある。 ・地域の既存組織とどのように関係性を保ち、コミュニティ・スクールの展開していくのか十分な検討が必要である。 ※ 既存組織:区長会、地域会議、コミュニティ会議 						
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水中学校区におけるモデル実施の成果を踏まえて、他地区への指定拡大を図るとともに、地域の既存組織(区長会、地域会議、コミュニティ会議)との連携のあり方等について、関係組織との協議を進めていく。 						
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・浄水中学校区、益富中学校区、保見中学校区、藤岡中学校区において、地域教育懇談会を再編したコミュニティ・スクール連絡会議を設置して、目指す子ども像の共有、学校間連携、学校・地域連携について協議することができた。 						

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課 学校づくり推進課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-7(3)1	学校支援地域本部(地域学校共働本部)の設置							
種別	新規	重点テーマ	1 地域力を生かした学校支援の推進			年度	平成29年度分		
①取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 岩倉小・幸海小・平井小・保見中・土橋小・明和小・豊松小・御作小学校地域学校共働本部設置承認 本部未設置校への巡回説明・ヒアリング(～9月) 			(取組計画は平成30年度分として記載されず)				
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 寿恵野小学校地域学校共働本部設置承認 							
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 伊保小・前山小学校地域学校共働本部設置承認 							
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 上鷹見小・青木小・足助小・大蔵小・高橋中・市木小学校地域学校共働本部設置承認 							
	8月								
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 中山小・梅坪小学校地域学校共働本部設置承認 浄水中学校区コミュニティ・スクール研究発表会 							
	10月	<ul style="list-style-type: none"> 石畳小・松平中学校地域学校共働本部設置承認 							
	11月								
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 広川台小・野見小学校地域学校共働本部設置承認 浄水中学校区コミュニティ・スクールが文部科学大臣表彰受賞 							
	1月	<ul style="list-style-type: none"> 東山小・小原中・美里中学校地域学校共働本部設置承認 							
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 小原中部小・本城小・道慈小・旭中学校地域学校共働本部設置承認 豊田市地域コーディネーター研修会開催(2月) 地域コーディネーター・保護者・ボランティア・教員へのアンケートとヒアリングの実施による効果検証 上郷中ほか数校で本部の設置準備 							
	3月								
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 岩倉小学校ほか27校で地域学校共働本部が発足し、既存の学校支援地域本部とあわせて計53校に設置が完了し、特色のある学校支援活動や地域学校共働活動の充実が図られた。 							
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 本部関係者アンケートとヒアリング結果(対象:本部設置校教頭、地域コーディネーター、地域ボランティア) 								
②課題(詳細・今後の取組方針)	課題	<ul style="list-style-type: none"> 各地域学校共働本部の地域コーディネーターの育成及びその後継者の育成 学校支援だけでなく、地域住民が主体的に学校と連携・共働する活動の充実 教員の人事異動に影響されない組織的かつ継続的な活動の展開 中学校区での各本部での人材や情報の共有と小・中連携による活動や体験の充実 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> より幅広いより多くの地域住民の参画を得て、地域と学校がより連携・協力して子どもの成長を支える体制づくりを目指す。 コミュニティ・スクール構想を念頭に置いたうえで、中学校区でのまとまりを考慮しつつ、地域学校共働本部を設置する。 平成30年度の新規設置目標は25校程度 							
③最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校共働本部が小中学校計53校に発足し、本部主体による特色のある学校支援活動や地域学校共働活動の充実が図られた。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課 学校づくり推進課	担当者	藤谷	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-7(3)2	土曜・放課後学習の実施							
種別	新規	重点テーマ	1 地域力を生かした学校支援の推進			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	(5~3月) ・土曜学習の実施 平井小学校・土橋小学校							
	5月	・放課後学習の実施 平井小学校・土橋小学校							
	6月	(7~8月) ・高橋交流館で高橋未来塾を実施							
	7月	・							
	8月	・							
	9月	(9~1月) ・高橋交流館で中学3年生を対象とした高橋未来塾を30回実施							
	10月	(10~3月) ・市木小学校で土曜学習を実施 ・市木小学校で放課後学習を実施 ・土橋小学校で体力向上講座を実施							
	11月								
	12月								
	1月	(2月) ・寺部小学校、平井小学校、市木小学校 3校共催の土曜学習発表会の実施							
	2月	・3校における実施状況と効果の検証							
	3月	・他校への展開について検討							
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 平井小学校、土橋小学校、市木小学校に設置された地域学校共働本部を中心とした土曜学習(体力向上、自主学習、各種講座)を継続して実施した。 平成26~28年度に本部が設置された浄水北小学校、浄水小学校、寺部小学校においても土曜学習を実施した。 							
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 土曜学習に参加した児童の満足度(アンケートから) ※土曜学習発表会で落語の発表をした児童の感想 「一生懸命に練習してきた成果を、たくさんの人の前で発表でき、みんなに褒められてうれしかった」 ※土曜学習発表会で児童に雅楽を教えた地域の方の感想 「子どもに雅楽を教えることで、後継者の育成や人材発掘につながった」 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 活動に必要なボランティア人材の確保 土曜学習の実施における施設管理等の学校職員と地域支援室との関わり方についての整理 地域学校共働本部の設置や地域コーディネーター、地域ボランティアの確保等、様々な環境が整って初めて実施ができる。とりわけ地域コーディネーターの役割が重要となるため、地域コーディネーターの力量向上が必要である。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 浄水北小学校、浄水小学校、寺部小学校、土橋小学校、平井小学校、市木小学校の地域学校共働本部を中心とした土曜学習の実施を継続するとともに、効果の検証をし、他校への展開を検討していく。 中学校における土曜学習のあり方を検討し、実施する。 							
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 地域学校共働本部を中心とした土曜学習(体力向上、自主学習、各種講座)を継続実施しつつ拡大することができた。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB01	所属名	学校教育課	担当者	岸本	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-7(3)3	市民力を生かした文化系部活動の充実							
種別	新規	重点テーマ	1 地域力を生かした学校支援の推進			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 市内中学校運動部・文化部設置数、顧問の調査・集計 							
	5月	(6~2月) <ul style="list-style-type: none"> 中学校の取組を交流館等へ紹介 交流館等と中学校文化部との連携行事の実施 							
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ○中学生ものづくりサポート活動の実践 前林中学校 藤岡中学校 							
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ○交流館ふれあいまつり等での活動発表 末野原中学校 益富中学校 							
	8月	<ul style="list-style-type: none"> 前林中学校 逢妻中学校 浄水中学校 							
	9月	【連携行事の一例】 日時 8月4日(金) 場所 前林交流館 学校 前林中学校 科学部、文芸部、家庭科部 コンピュータ部、美術部 内容 ものづくり教室							
	10月								
	11月								
	12月								
	1月								
	2月								
	3月								
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 中学校の文化部と地域との連携を受け、交流館と中学校文化部の連携事業を実施することができた。 加えて、イベント等を通して、子どもたちを対象にサイエンスショーやワークショップを実施した。 							
根拠・データ	生涯学習審議会 答申 「中学校の文化部と地域との連携について」								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 平成26年3月に豊田生涯学習審議会より「中学校の文化部と地域との連携について」答申が出されたところであるが、学校側が実際に取り組むことができる環境づくりを進めていく必要がある。 中学校の取組を広く交流館等に周知していく必要がある。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 地域との連携行事を継続的に実施していくため、中学校の取組を広く交流館等に周知する。 							
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 交流館と中学校文化部が連携して、ものづくりサポート活動、交流館ふれあいまつり等の各種行事を共働で実施することができた。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	福岡	作成年月	平成30年5月		
実施内容	1-8(2)1	環境に配慮した校舎整備の展開							
種別	拡充	重点テーマ	5 環境・防災の教育と機能強化の推進			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	・改修実施校と事業調整実施							
	5月								
	6月								
	7月	・保全改修工事実施(10校) (7月~2月) ・H30 実施校の設計(7校)							
	8月								
	9月	・第8次総合計画前期事業で次年度以降の計画検討							
	10月								
	11月								
	12月								
	1月								
	2月								
	3月	・保全改修工事(10校)完了 ・次年度実施校への事業説明実施 ・補助金申請							
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・児童生徒の安全を確保する上で必要な保全改修工事に、環境配慮項目の工事を加えて実施することで、合理的かつ効果的に改修を実施できた。 ・国の補正予算で補助金が採択されたため、平成30年度事業を前倒して平成29年度補正予算(繰越し)で実施する。 							
根拠・データ	・予定していた10校の工事及び7校の設計が完了								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・財政状況を踏まえ、随時計画を見直す必要がある ・国(文部科学省)が進める長寿命化改修との整合を検討する必要がある ・補助金を最大限に獲得できるように常に国の動向を注視する必要がある 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・市が進める公共建築物の劣化状況を考慮した修繕計画や国の進める長寿命化改修と整合を図りつつ、平成30年代のなるべく早い時期に1期整備を実施していく。 ・保全改修を含めた、学校施設の長寿命化については「豊田市公共施設等総合管理計画」を踏まえた「個別施設計画」を策定する中で具体的な対応を定めていく。 							
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	・40校(小学校27校、中学校13校)で保全改修工事を実施。							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	鈴木	作成年月	平成30年5月			
実施内容	1-8(5)1	自立型太陽光発電システムの設置								
種別	新規	重点テーマ	5 環境・防災の教育と機能強化の推進			年度	平成29年度分			
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)					
	4月									
	5月									
	6月									
	7月									
	8月									
	9月									
	10月									
	11月									
	12月									
	1月									
	2月							・猿投中学校の整備完了(2月)		
	3月									
	効果・成果							・猿投中学校で整備完了(20kW)		
根拠・データ										
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	・補助金を最大限に獲得できるように常に国の動向を確認する必要がある								
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・既存校における太陽光発電システム整備については、豊田市再生可能エネルギー導入指針及び防災施設停電対策整備方針を踏まえ、未来都市推進課、防災対策課と連携して事業を進めていく。 ・新設及び増改築事業の時は、豊田市再生可能エネルギー導入指針を踏まえ整備を進める。 								
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	・7校(小学校5校、中学校2校)に太陽光発電システムを設置。								

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KB03	所属名	学校づくり推進課	担当者	和出	作成年月	平成30年5月
実施内容	1-8(5)2	非構造部材の耐震化					
種別	新規	重点テーマ	5 環境・防災の教育と機能強化の推進			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	H27に事業完了					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
	根拠・データ						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題						
	今後の取組方針						
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・大規模な対策を18校で実施。 ・軽微な修繕を4,091箇所実施。 ・飛散防止フィルム張り替え修繕を97校で実施。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	後藤	作成年月	平成30年5月		
実施内容	2-2(1)1	家庭教育関連情報の集約と提供							
種別	新規	重点テーマ	6 家庭教育力の向上			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	・市内小学校1・5年生に親ノートを配付(4月)							
	5月	・教頭会議で家庭教育講座講師リストの配付(4月) ・各学校に文書にて親ノートを活用するための親育ち交流カフェ実施を依頼							
	6月	・園長会議、青少年健全育成推進協議会、豊田市PTA連絡協議会等の場で、親ノートを活用するための親育ち交流カフェ実施を依頼							
	7月	・							
	8月	・講師リストを活用した家庭教育講座の開催 25回、参加者 2,799名							
	9月	・親ノートを活用した親育ち交流カフェの開催 24回、参加者 1,441名							
	10月	小学校 8回 地域団体 5回 青少年育成団体 4回							
	11月	こども園 1回 その他団体 6回							
	12月								
	1月								
	2月	・親ノート配付の工夫事例や親育ち交流カフェ開催事例を集約							
	3月								
	効果・成果	・小中学生の子どもとの関わり方について専門家のアドバイスや先輩保護者の経験談、市の子育て支援策の情報について、親ノートを通じて保護者に伝えることができた。							
根拠・データ	・PTA や小中学校による講師リストを活用した家庭教育講座の開催 ・親育ち交流カフェの開催回数 ・家庭教育講座、親育ち交流カフェのアンケート								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	・単年度で変更する事業もあるために、年度ごとに継続して照会をかけなければならない煩雑さ ・新規開催箇所の開拓(地域、団体等への働きかけ)と継続実施の依頼 ・家庭教育に関する講師や親育ち交流カフェのファシリテーターの新規開拓							
	今後の取組方針	・親育ち交流カフェや家庭教育講座実施報告書を通して、保護者がどのような情報を求めているのかを調査 ・親ノートの掲載内容について検討 ・新規開催箇所や既開催箇所での円滑支援のための、開催実績を集約した資料の配付 ・保護者の要望に応じた家庭教育講座講師の開拓、ファシリテーターの追加							
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	・「親ノート」を用いて「親育ち交流カフェ」を開催したことにより、家庭教育に関する情報を提供することができた。また、専門家やベテラン保護者をファシリテーターとして招くことで、保護者に対して適切な助言をすることができた。							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	後藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(1)2	啓発資料の研究・開発					
種別	新規	重点テーマ	6 家庭教育力の向上			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 親ノートの配付方法について、学校に事後アンケートを実施(配布の工夫を調査) 各学校に文書にて親ノートを活用するための親育ち交流カフェ実施を依頼 園長会議、青少年健全育成協議会、豊田市PTA連絡協議会等の場で、親ノートを活用するための親育ち交流カフェ実施を依頼 青少年健全育成協議会、豊田市PTA連絡協議会等の研修会の場で親育ち交流カフェを行い、ファシリテーターも要請 親育ち交流カフェの開催、参加者の声をヒヤリング 親ノート配付の工夫事例や親育ち交流カフェ開催事例を集約 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 親ノート配付方法の事後アンケート 親育ち交流カフェアンケート 親育ち交流カフェ実施回数 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 親ノートが保護者の手元に確実に届き、必要なときに手に取ってもらえるさらなる工夫 親育ち交流カフェ実施団体(特に中学校関係)の拡大 時代に合わせた親ノート内容の改定 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 親ノート配付や親育ち交流カフェ開催の事例を集約した資料を作成し、配付 いっそうの親ノート、親育ち交流カフェの広報 時代に合わせた児童生徒の課題や保護者の悩みに合わせた親ノートや親育ち交流カフェの内容改定 					
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 実施後にアンケートを行い、生の声を集約して事後の対応に生かすことで、より効果的で使いやすい資料を提供することができた。また、取組事例を紹介することで、不慣れな方でも実施しやすくなるような条件整備を整えることができた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	後藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(2)1 (仮称)家庭教育手帳親ノートの活用						
種別	新規	重点テーマ	6 家庭教育力の向上			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 学校や単位PTAに家庭教育手帳親ノートの活用を情宣する。 学校やPTAで、保護者に活用を呼びかけやすい機会(懇談会や家庭訪問等)をとらえて配付をお願いする。 市P連・教職員組合主催の教育対話集会で保護者や教師などの参加者に親ノートを配付し活用を呼びかける。 市P連・教職員組合主催の子どもの未来を語る会にて参加者に親ノートを配付し、活用を呼びかける。 市P連主催の情報交換会参加者および、県教委等の来賓に親ノートを配付し、活用を呼びかける。 就学時健診時に親ノートを情宣し、活用を呼びかける。 次年度の発行のために、親ノートの内容を点検し構成する。 各学校に入学説明会や宣伝効果の高い機会をとらえて親ノートを保護者に配付するよう依頼。 各学校に親ノート小1～4年生用を配送 各学校に親ノート小5～中3用を配送 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 学校での適切な機会(入学説明会、家庭訪問など)をとらえた配付 市P連、青推協など対象となる小学校保護者以外に約800冊を配付 親育ち交流カフェ、家庭教育講座参加者に約200冊を配付 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	5年をめどに内容を改定したいため、H31年度に予算を計上したり、組織を立ち上げたりする必要がある。					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 5年をめどに内容を改定する。 認知度は少しずつ上がっているため、親育ち交流カフェや家庭教育講座の機会などの親ノート活用を呼びかける。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 様々な機会を通して「親ノート」の情宣活動を行ってきたことにより、本誌の認知度が高まった。それに伴い、保護者会や「親育ち交流カフェ」などで活用される機会が増えてきた。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	後藤	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-2(3)1 (仮称)親育ち交流カフェの開設						
種別	新規	重点テーマ	6 家庭教育力の向上			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	・学校、PTA、青推協等を実施の依頼と講師料の補助について情宣					
	5月	・青推協研修会にて親育ち交流カフェを実施し、各地域での開催を依頼					
	6月	・市P連・教職員組合での教育対話集会にて交流カフェ形式で意見交換を実施し各単Pでの実施を依頼					
	7月	・豊南青少年育成部会主催で、地域のリーダーがファシリテーターとなって交流カフェを実施					
	8月	・旭地区にて、出前講座として、全員が不登校の家庭を対象に親育ち交流カフェを実施					
	9月	・県事業と相乗りし、市P連情報交換会で親育ち交流カフェを実践し、県教委、西三河教育事務所からも来賓として参加					
	10月	・就学時健診の保護者を対象に、親育ち交流カフェを実践し、親ノートの情報提供をした					
	11月	・市P連・教職員組合での教育対話集会にて交流カフェ形式で意見交換を実施し各単Pでの実施を依頼					
	12月	・朝日丘地区の小中学校PTA関係者が集まって交流カフェを実践					
	1月	・企業が放課後児童クラブ支援員を対象に出前講座として交流カフェを実践					
	2月	・親育ち交流カフェの実践の記事を中心に青推協機関紙を発行					
	3月						
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・28年度までに親育ち交流カフェを行った地域・団体は継続して行っているところが多い。 ・実践が3年目を迎えている地域・団体では、地域ファシリテーター、講師として招へいするファシリテーターのカフェを交互に行うことによって、内容を深める工夫がみられる。 ・不登校児をもつ保護者など、ターゲットとしていたが今まで実践が難しかったカフェを行うことができた。 					
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・29年度中に親育ち交流カフェを24回実施 ・29年度中に親育ち交流カフェに参加した人数が1,441人 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・家庭教育講座(講師を招へいしての講義・講演)よりも親育ち交流カフェのほうが実施に対するハードルが高いとらえられ、家庭教育講座に移行していく傾向がある。 ・開催まで丁寧な支援が必要だが、休日・夜間の打ち合わせ、実施も多くあり、限られた市の職員ではすべてに対応することが難しい。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・PTA関係、青推協関係、市PTA関係等を通じて、親育ち交流カフェの実践を啓発していく。 ・講師として派遣できるファシリテーターを増やし、扱える話題のバリエーションを増やしていく。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・継続して「親育ち交流カフェ」についての情宣を行ってきたことにより、各学校、PTAに対する認知度が高まった。 ・講師に対する講師料も市が全額負担するため、各団体は気軽に利用することができるようになった。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-3(1)1	施設のソフト機能の見直しを含めた青少年センターの再整備					
種別	拡充	重点テーマ	7 青少年に対する支援体制の強化・充実			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・とよた若者応援ネット「プラス」稼動(4～3月) ※個人登録システム+LINE@ ・学習、卓球開放の実施(4～3月) <p><その他事業></p> <ul style="list-style-type: none"> ・大学連携事務局や大学ゼミ等と連携したロビー活用 ・産文センター同居団体等との事業連携の連絡調整 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
		効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センターの円滑な運営と効果的なPR、さらには青少年事業の充実により、利用者が約11万3千人となり、前年度並みとなった。(H27年度比17%増) 				
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年センター利用者数 H27: 96,584人 H28: 115,738人 H29: 111,085人 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の拠点として青少年センターの積極的な活用促進 ・利便性の向上(PCやプロジェクター、スクリーン等情報機器の常設、気軽にプレゼン、ワーキングができるコワーキングスペース) <p>→現在、若者がより集まりやすく活動しやすい施設になることを目的に、拠点スペース「若者ルーム」の運営方法について、学生主体で話し合いを行っている(H30.4月設置予定)</p>					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・より利便性の高い青少年センターの整備、運営 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年の活動拠点として、ロビー活用事業、卓球開放を開催することで、若者の情報発信拠点としての役割を担った。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-3(1)2	青少年育成プログラムの再編					
種別	拡充	重点テーマ	7 青少年に対する支援体制の強化・充実			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	・とよた学生盛りあげ隊活動支援(4~3月)			(平成30年度取組計画は、この表の範囲外です。)		
	5月	・高校生ボランティアスクール実施(5~3月)					
	6月	・学生によるまちづくり提案実施(6~1月)					
	7月	※あそべるとよた4DAYS、市内3ホテルとのランチ&カフェメニュー共同開発において12プログラム実施					
	8月						
	9月	・ラグビーワールドカップ盛り上げボランティア実施(8月トップリーグ、10・11月中京大・愛工科大学祭、11月ラグビーフェスタ、12月ラグビートップリーグ)					
	10月	・杜若高校による総合学習授業支援(バーチャル市役所)(9~12月)					
	11月	・学生とハタラクをつなぐプロジェクト実施(10~2月)					
	12月	・次年度事業検討(大学生対象の事業拡充)					
	1月						
	2月	《その他実施事業一覧》					
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・クリスマスパーティ ・婚活後援事業 ・バレンタインパーティ ・ユースクラブ ・インターンシップ事業 ・大学生連携事業 					
効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・青少年(特に大学生)の活動の拠点として活用され、まちの賑わいや交流促進に寄与した。 ・学生によるまちづくり提案において、学生の企画力や行動力の向上に寄与した。 ・とよた学生盛りあげ隊において、他大学の学生との交流を通じて、学生のコミュニケーション能力の向上に寄与した。 ・学生とハタラク職場をつなぎ、学生が働くことの意義や価値を考えるきっかけをつくった。 ・総合野外センターの各事業において、大学生が企画や運営に携わることで、指導者としての資質向上に寄与した。 						
根拠・データ	青少年育成プログラム参加者数 延べ1,212人(H29年度) (市実施:バーチャル市役所 51人、青少年センター実施:1,107人、総合野外センター実施:54人)						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・参加者募集や活動の効果的な情報発信 ・事業の効率的な参加者確保(大学等包括連携の活用) ・他団体の協力を得ながら事業コンテンツを増やすことが必要 ・高校生対象事業の拡充(高校との連携強化) 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・学生の核となるメンバーと協力関係(とよた学生盛りあげ隊の参加者確保と円滑な運営支援) ・他団体との連携を活用した事業拡充(学生の活動フィールドの充実) ・大学等包括連携協定の更なる活用 ・ラグビーやWE LOVE とよたなど市の施策と連動した事業展開 ・高校と連携した高校生の社会参加促進 					
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	・青少年育成プログラムを通じて、学生が地域とのつながりや他大学の学生との交流が深まることで、行動力、コミュニケーション能力の向上に寄与した。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月
実施内容	2-3(2)1 (仮称)自立支援地域協議会の設置						
種別	新規	重点テーマ	7 青少年に対する支援体制の強化・充実			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 豊田市若者支援地域協議会代表者会議(5月26日) 第1回実務者会議の実施(8月29日) 県子ども・若者支援地域協議会等連絡会議(8月30日) 県子ども・若者支援地域協議会等連絡会議・研修会(1月30日) 第2回実務者会議の実施(2月9日) 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果	各支援機関が連携し、様々な困難を抱えた若者を総合的に支援することができた。					
根拠・データ	各支援機関の相互紹介実績(豊田市若者サポートステーションの実績報告)						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 支援機関同士の連携を深め、切れ目のない支援システムの構築 協議会が形骸化しないように、協議会の運営方法の工夫 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 代表者会議1回、実務者会議2回開催し、引き続き各支援機関同士の連携を深める 実務者会議において、意見交換会を実施し、各支援機関との情報共有を図る。 互いに学び合える若者支援地域協議会実務者会議の開催 中学不登校者等に対する引継ぎ対応(パルクとよたとの連携) 県の機関との連携(特に高校との連携) 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	各支援機関同士が「顔の見える関係」を築くことで、包括的な支援をすることができた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AK01	所属名	次世代育成課	担当者	酒井	作成年月	平成30年5月			
実施内容	2-3(2)2 (仮称)自立支援サポートステーションの開設									
種別	拡充	重点テーマ	7 青少年に対する支援体制の強化・充実			年度	平成29年度分			
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)					
	4月	・相談業務(4~3月)								
	5月	登録者数 194人 相談件数 延べ1,128件								
	6月	・居場所・ジョブトレ体験参加者 延べ1,179人								
	7月	・ワークショップ参加者数 延べ81人								
	8月	・職場見学会(2回) 8人								
	9月	・進路決定者 65人 (うち就職18人、進学11人、他機関28人、その他8人)								
	10月									
	11月									
	12月									
	1月									
	2月									
	3月									
		効果・成果	・ニート、ひきこもりなどの困難を抱えた若者やその保護者の相談を受け、適正なカウンセリング、関係機関の紹介などを行った。その結果、相談者とその家族の不安を軽減し、若者が外出するきっかけづくりや就労に向けた支援を進めることができた。							
	根拠・データ	・登録者数の増加 ・居場所、ジョブトレーニング参加延べ人数の増加								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	・若者サポートステーションの認知度向上 ・若者支援地域協議会の構成団体との連携の強化 ・出口支援・訪問支援の必要性(特に就労につながる支援) ・若者を支えるボランティア支援者の養成、相談員のスキルアップ								
	今後の取組方針	・若者サポートステーションの認知度を高める ・切れ目のない支援のために、中学校・高等学校との連携強化 ・若者サポートステーション職員以外の支援者養成講座を実施し、ボランティア支援者の育成 ・地域若者サポートステーション(安城)との連携(安サポのサテライトとしての事業実施)								
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	・若者サポートステーションを開設したことで、様々な困難を抱えた若者が切れ目のない支援を受けることができる総合相談窓口として周知することができた。								

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	坂東	作成年月	平成30年2月
実施内容	2-4(1)1	学校でのものづくり教育プログラムの拡充					
種別	拡充	重点テーマ	8ものづくり事業の更なる展開			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり教育プログラム実施校募集(59校97件の応募の中から実施50校での実施を決定) ものづくりサポータープログラム研修会(5~1月まで計14回) 全実施予定校においてサポーターも参加した打合せを実施(5月~6月50校) 決定50校でのものづくり教育プログラムの実施(6~2月) 夏季実技研修会(8月・市内小中学校教諭30名参加)(内容:学校教育活動におけるものづくり教育プログラムの効果的な活用の紹介) ものづくりサポーター児童理解研修(8月・26名参加) ものづくりサポーター教え方教室(8月・36名参加)(内容:低学年生活科のプログラムにおける指導法) ものづくりサポーター新人研修会(1月~2月・62名参加)(内容:登録3年目までのサポーターを対象に事前に調査し、希望のあった6プログラムの研修会) 効果検証のためアンケート調査の集計(対象:実施50校担当教諭、期間:各校の実施後随時) 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
根拠・データ	アンケート調査結果(50校中50校回収) <ul style="list-style-type: none"> 総合評価……………大変よかった(47校)、よかった(3校)、ふつう(0校)、あまりよくなかった(0校) 事前打ち合わせについて……………大変よかった(36校)、よかった(13校)、ふつう(1校)、あまりよくなかった(0校) 材料や道具について……………大変よかった(48校)、よかった(2校)、ふつう(0校)、あまりよくなかった(0校) ものづくりサポーターについて…大変よかった(46校)、よかった(4校)、ふつう(0校)、あまりよくなかった(0校) プログラム集の改訂「平成29年度豊田市ものづくり教育プログラム」の発行						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 実施を希望する学校数の増加に対応するため、サポーターの増員が必要である。 各プログラムの実施に向け、ものづくりサポーターの研修会の増加が必要である。 質の高いサポート活動ができるよう、サポーターの手引書を作成する必要がある。 新しい学習指導要領の導入に伴い、プログラムの見直しが必要である。 					
	今後の取組方針	アンケート調査では、概ね良好な結果が得られているが、今後も各学校での実践結果を踏まえて、より学校のニーズに合わせた、ものづくり教育プログラムに改善していく。 新プログラム実施に伴うものづくりサポーター研修を充実するとともに、学校に対して新プログラムを含めたものづくり教育プログラムの効果を広めていく。また、教育プログラムの内容が、新しい学習指導要領や現場の先生のニーズに合わせたものとなるよう改善をすすめる。					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	学校のニーズに合わせたプログラム内容の実施や、研修等を通じたものづくりサポーターの質の向上により、ものづくり教育プログラム実施校が40校から50校へ拡充した。また、実施校の満足度も高いレベルで維持することができ、学校の授業において、広く子どもたちがものづくりに親しむ機会を安定的に提供することができた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	谷口・高倉	作成年月	平成30年2月		
実施内容	2-4(2)1	豊田市らしいものづくり講座の実施							
種別	拡充	重点テーマ	8ものづくり事業の更なる展開			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	<ul style="list-style-type: none"> ・クルマづくり究めるプロジェクト 参加者決定(4月8日) 参加者130名、ボランティア276名 			取組計画(平成30年度)				
	5月	<ul style="list-style-type: none"> 参加決定者説明会(4月) ボランティア・指導員説明会(4月) 							
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 土曜日を中心に月3回程度活動(6~3月)(30回) Honda エコマイレレッジチャレンジ鈴鹿大会出場(5月) 							
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 【挑戦コース】 同全国大会出場(10月)【挑戦コース】 							
	8月	<ul style="list-style-type: none"> クルマづくり究めるプロジェクト実行委員会実施(11回) 事業PR わくわくワールド(11月) 							
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 平成30年度新規参加者説明会(2月) 試走会(3月) 							
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・匠の技に学ぶものづくりプロジェクト実施(7~2月) 宮大工編(7月)(1回)参加者4人 陶芸編(8・11月)(4回)参加者8人 鍛冶屋編(2月)(2回)参加者6人 							
	11月	<ul style="list-style-type: none"> ・豊田市科学技術教育振興会事業実施 							
	12月	<ul style="list-style-type: none"> とよたサイエンスクラブ(8~2月)(11回)中学生43名 科学・ものづくり達人大学(8月)(1回)参加者60名 中学生ものづくりサポート活動(7・8月)(2回) 							
	1月	<ul style="list-style-type: none"> 参加者 中学生91名、小学生・幼児115名 T-tic(8月)(1回)参加者 中学生142名 							
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ものづくり創造拠点開所記念講座(9月)中学生11名 科学・ものづくり講座(11月)参加者41名 							
	3月	<ul style="list-style-type: none"> とよたJrエンジニアズ(11~3月)(6回)参加者6名 サイエンスカーニバル(12月)(1回) 出展中高生155名 来場者1,270名 							
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・ハイテク技術、科学、伝統的ものづくりの各分野での講座を実施し、子どもの科学・ものづくりに対する興味関心を深め、探究心を育むことができた。また、参加者の職業意識の醸成にもつながってきている。 							
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 「クルマづくり究めるプロジェクト」の継続希望者面談におけるヒアリング <ul style="list-style-type: none"> ・入門・研究・挑戦各コースの次年度継続者数 91人/129人(70.5%) ・「将来進みたい道が明確になった」「将来は整備士になりたい」などの声が聞かれた。 「匠の技に学ぶものづくりプロジェクト」参加者アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・講座への満足度について、どの分野でも大変満足が多数 ・「鍛冶屋になってみたいと思った」「職人さんの技はすごいと思った」などの声が聞かれた。 「豊田市科学技術教育振興会事業」参加者アンケート <ul style="list-style-type: none"> ・とよたサイエンスクラブでは、毎回(全11回)80%以上が満足と回答。参加者の80%以上が「また参加したい」 ・「学校の授業や部活動ではできないことを学べた」などの声が聞かれた。 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 「匠の技に学ぶものづくりプロジェクト」 <ul style="list-style-type: none"> ・豊田市らしい伝統的なものづくり講座の開催に向けて、地域の人材の発掘、連携をとる必要がある。 「豊田市科学技術教育振興会事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・高校生対象の事業拡充など、系統的に学ぶ機会の充実を図る必要がある。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 「豊田市科学技術教育振興会事業」 <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり創造拠点の機能を活用し、企業・大学等と連携し内容の充実を図り、より多くの参加者に科学・ものづくりを学ぶ機会を提供する。 							
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 企業等と連携し、豊田市らしい本格的なものづくり体験を継続的に提供することにより、学校現場とは異なるチャンネルにおいて、参加した子どもたちのものづくりや科学技術に対する興味・関心を喚起することができた。また、ものづくり体験を指導した職業人に接することにより、子どもたちの職業意識の向上も図ることができた。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW01	所属名	市民活躍支援課	担当者	浦野・谷口	作成年月	平成30年2月
実施内容	2-4(2)2 放課後児童クラブ等でのものづくりサポーターによるものづくり活動支援						
種別	新規	重点テーマ	8ものづくり事業の更なる展開			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	・中学生ものづくりサポート活動の学校への紹介(7月) 逢妻中・前林中・美里中・豊南中・保見中・井郷中・高岡中・浄水中・藤岡中			(平成30年度計画は記載されていません)		
	5月	・中学生ものづくりサポート活動実施打合せ(随時) 前林中・藤岡中					
	6月	・交流館中学生ものづくり講座実施(7~8月) 前林中・藤岡中					
	7月	・とよたものづくりフェスタへのブース出展(11月) 梅坪台中					
	8月	・放課後児童クラブ、交流館、PTA、子ども会へものづくり団体ガイドブックの配布(10月)					
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生ものづくりサポート活動を豊田市科学技術教育振興会(科技振)の事業として実施したことにより、科学部を中心とした中学校文化系部活動の活躍の場として、科技振の他の事業や中学校の行事等との関連を持たせることができた。 ・中学生が交流館でものづくり講座を実施することにより、地域交流・貢献の機会となった。 					
	根拠・データ	<p>中学生ものづくりサポート活動アンケート調査より</p> <ul style="list-style-type: none"> ・担当中学生の声・・・楽しく部活動に取り組めた。(多数) 子どもたちに教える活動は楽しかった。(多数) ・部活動顧問の声・・・「学校における活動」「地域貢献活動」「異年齢交流活動」を充実させることに役立った。(多数) 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<p>中学生ものづくりサポート活動について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「ものづくり」に限ると活動支援を受ける部活動が制限されるため、活動内容の拡大が必要である。 ものづくりサポート団体紹介事業について ・団体紹介を充実させるため、さらの団体の活動内容の把握に努める必要がある。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・中学生ものづくりサポート活動は、豊田科学技術教育振興会の事業として実施していく。 ・子どもたちのためにもものづくり活動を実施できる団体を募集し「ものづくり団体ガイドブック」を活用しながら、放課後児童クラブや子ども会、PTAなどへ紹介する。 ・ものづくりサポート団体紹介事業を通じて、地域のものづくり団体の活躍の場の提供や地域人材の活用に努める。 ・ものづくり団体紹介事業を充実させ、ものづくり活動が子どもたちにとって身近なものとなるよう、各地域に合ったものづくり活動をアドバイスできる機能を高めていく。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができただか)	<p>中学生ものづくりサポート活動を通じて、科学部を中心とした中学校文化系部活動と地域を仲介したことにより、その後交流館祭等で中学生がものづくり講座を実施するなど、地域と中学校との自発的な連携が図られるようになった。また、ものづくり活動団体紹介事業により、市民団体による子どもたちのものづくり体験の場の拡充に一定の役割を果たすことができた。</p>					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	上村	作成年月	平成30年5月
実施内容	3-3(1)1	地域資源を活用した文化事業の奨励					
種別	新規	重点テーマ	9 文化芸術に係る人材育成と活用			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 公開プレゼンテーション及び審査会、キックオフミーティングの開催 採択事業の実施確認(4/10~12/31) 第1回デカス講座開催(5/20) 第2回デカス講座、採択者交流会開催(6/24) 採択事業の合同リーフレット配布 小渡にて人材育成モデル事業の開催(7/8) 第3回デカス講座(7/22) 次年度応募要項の検討 公式事業報告書の編集作業開始 とよたデカスプロジェクト2018企画案募集1~3月 2018事業説明会の開催(2/4) 2017実績報告会の開催(2/12) 2018審査会、キックオフミーティング開催 公式事業報告書の発行 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果						
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 参加者数 約1,985人 採択者事業参加者へのアンケート調査結果 満足度「大変よかった、よかった」9割以上 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 応募者拡大に向けた事業のプロモーション 企画者の育成と発掘 事業の継続に向けた長期的なサポート体制 					
	今後の取組方針	あいちトリエンナーレ地域展開事業・あいちトリエンナーレ2019の開催や、ラグビーワールドカップの文化事業による盛り上げのため、市民が運営する芸術・文化に関するプロジェクトを推進し、文化事業に関わりながら地域に貢献できる体制や活動の場を構築する。					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	5年間で57事業、延べ15,892人の参加があり、アートを活用したまちづくりを主体的に行うことのできる人材の育成に寄与することができた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW02	所属名	文化振興課	担当者	太田昌男	作成年月	平成30年5月		
実施内容	3-3(2)1	学校への文化活動者派遣事業の実施							
種別	拡充	重点テーマ	9 文化芸術に係る人材育成と活用			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	・実施校の募集							
	5月	・事業実施校説明							
	6月	・実施団体選定、調整							
	7月	・事業開催(6~3月) 70校 4,994人							
	8月								
	9月								
	10月	・プログラム拡充についての検討							
	11月								
	12月								
	1月								
	2月								
	3月	・実施結果検証							
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 新しく導入したプログラムの学芸会指導では、市が行っている「演劇アカデミー」で育成した人材を講師として学校へ派遣し、人材育成と活用の良い循環の仕組みをつくることができた。 学校教育の中では出会えない人や体験を提供でき、授業の効果を向上することに寄与した。 							
根拠・データ	<p>アンケート調査結果</p> <ul style="list-style-type: none"> 「授業が楽しかった」と回答した児童生徒 とても楽しかった：60% 楽しかった：33% 「また体験したい」と回答した児童生徒 97% 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 実施結果より応募数が増えていくことが想定できるため、プログラムの拡充や対応できる文化活動者の新たな開拓が必要。 学校での事業実施については、一定の認知と効果が学校側にも理解されてきたので、今後は文化活動者の新たな派遣先を模索していく必要がある。 							
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> アンケート調査では一定の効果が確認できたため、プログラムの拡充と実施活動者の増加を図りながら、学校以外の福祉施設や交流館等への派遣の可能性について検討していく。 							
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> 学校の授業を通して子ども達が様々な文化芸術を体験することにより、それぞれの楽しさや素晴らしさを実感でき、文化芸術への興味を喚起することで文化芸術活動のすそ野拡大につながった。 							

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	KA03	所属名	文化財課	担当者	山田	作成年月	平成30年2月
実施内容	3-6(2)1	(仮称)ふるさとマイスターの育成と普及・啓発活動の推進					
種別	新規	重点テーマ	10 市民力を生かした郷土愛の育成			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> とよた歴史マイスター第5期募集開始 特別展プロジェクト(H29年3月より継続) 					
	5月						
	6月	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター第5期認定講座実施/8人認定 歴史マイスター第6期募集開始 					
	7月	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター研修(企画展ガイド1回) 					
	8月						
	9月	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター研修(9月特別展ガイド) 					
	10月						
	11月	<ul style="list-style-type: none"> こども歴史検定 検定方法・問題更新(第7回) 歴史マイスター第6期認定講座実施/5人認定 					
	12月	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター研修(12月岐阜市歴史博物館ほかで展示ガイド研修) 					
	1月	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター研修(12月企画展・常設展ガイド) 特別展プロジェクト反省会(12月) 					
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター研修(1月企画展・常設展ガイド) WE LOVE とよたフェスタへの参加 					
	3月	<ul style="list-style-type: none"> 企画展プロジェクト開始 市民の誓い記念イベントへの参加 					
	効果・成果	<ul style="list-style-type: none"> 平成29年度13人を新たに認定し、歴史マイスターは102人となった。 岐阜市歴史博物館などのボランティアガイドの活動を見学する研修を行い、活動の参考とすることができた。 特別展を歴史マイスターと協働で開催し、地域の歴史を市民の言葉で伝えることができた。 					
	根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 歴史マイスター活動実績 のべ847件 こども歴史検定Web版実施人数 226人 					
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 当初想定していた、自身で考えて積極的に活動する歴史マイスターを育成できていない。 地域の歴史を伝える活動をしている歴史マイスターのことを市民があまり知らない。 活動する歴史マイスターが固定化してしまう傾向がある。 とよた子ども検定をWeb版で公開し、検定方法も変更したが、利用者数は伸び悩んだ。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 特別展・企画展を歴史マイスターと協働で開催するなど、継続的に行う活動を取り入れ、歴史マイスターを育成する。 展示ガイド・スクールサポートなど、活動のグループを作り、歴史マイスター同士で意見交換しながら、よりよい活動を目指せるようにする。 多くの人に身近な歴史を広く知ってもらう機会の創出を検討する。 					
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	<p>認定数は当初目標(50人)を大幅に超えた(102人)。活動内容については、市が主体となる郷土学習スクールサポートや特別展開催への参画のみならず、自主活動として取り組んできた内容を企画展として発信していくなど(平成30年度夏期企画展)、歴史マイスター自身が主体となる活動への足掛かりができてきた。</p>					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	安藤	作成年月	平成30年2月
実施内容	4-1(1)1	コーディネーショントレーニング教室の開催					
種別	拡充	重点テーマ	11 市民のスポーツ活動への支援	年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月						
	5月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 保育師対象COT研修会の開催 ・ こども園、小学校／(親子対象) 					
	6月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域指導者対象COT研修会の開催 ・ 教員・地域指導者対象COT研修会の開催 					
	7月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 中京大学出前スポーツ教室の開催 (2会場・計10回) 					
	8月	<ul style="list-style-type: none"> ・ こども園、小学校／(親子対象) 					
	9月						
	10月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地域指導者対象COT研修会の開催 					
	11月						
	12月						
	1月						
	2月	<ul style="list-style-type: none"> ・ キッズダンススクールの開催 					
	3月	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入園説明会にて 元気っ子プログラムの取組啓発及び啓発冊子の配布(こども園・幼稚園) 					
効果・成果	<p>【運動機会の確保】 こども園幼稚園 54 園、小・中学校 53 校でCOTの普及活動を実施。</p> <p>【指導力の向上】 保育師や教師を始めとした地域指導者対象の子ども向けCOT研修を5講座開催し、指導力を向上した。また、高齢者向けのCOT研修を3講座開催し、対象者を広げて新たな指導ができるようになった。</p> <p>【体力意識の改善】 啓発冊子を随時配布し啓発することができた。</p>						
根拠・データ	<p>【指導力の向上】 COT研修に延べ413人が参加</p>						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ COTの指導者育成研修への保育師の参加は毎年安定して多いが教師の参加が少ない状況である。 ・ 各小中学校・地域スポーツクラブ・スポーツ推進委員・保育師の中では知名度は高まっているが、市民におけるCOTの知名度が依然低い。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> ・ 園や学校における各種イベントや授業などでCOTを取り込めるよう、指導者育成研修を継続するとともに、教師が参加しやすい研修会のあり方を検討する。 ・ 市の取組として広く市民の方に知っていただくための効果的なPR方法を検討する方策を考える。 					
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各学校での体育やスポーツ推進委員、各スポーツクラブがCOT教室を継続的に取り組んでくれたおかげで、COTのよさが広まった。 					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	山本	作成年月	平成30年2月
実施内容	4-3(1)1	指導者活用事業補助制度の利用推進					
種別	拡充	重点テーマ	11 市民のスポーツ活動への支援			年度	平成29年度分
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)		
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 補助金概要説明及び補助制度説明 (申請のあった3スポーツクラブ) 逢妻スポーツクラブ、高橋スポーツクラブ、朝日丘スポーツクラブ 補助金中間審査実施(3スポーツクラブ) 逢妻スポーツクラブ、高橋スポーツクラブ、朝日丘スポーツクラブ 					
	5月						
	6月						
	7月						
	8月						
	9月						
	10月						
	11月						
	12月						
	1月						
	2月						
	3月						
	効果・成果	概要説明及び中間審査を実施したスポーツクラブについては、適切に補助金の活用ができています。					
根拠・データ	3クラブへ補助(合計:1,646,000円)						
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	<ul style="list-style-type: none"> 補助金を申請するスポーツクラブが少ない。(12クラブ中3クラブが申請) 申請者が補助金申請に必要な手続きが複雑で揃える資料も多いため、手続きが煩雑になっている。 					
	今後の取組方針	<ul style="list-style-type: none"> 補助金申請のないスポーツクラブへは補助制度の仕組みや活用法について説明し、制度の利用を促す。 指導者への謝礼に対する補助だけでなく、クラブ内で指導者を育成するための補助など、クラブの自立に向けた活動に対する補助メニューを検討する。 					
③ 最終評価	最終評価 (5年間で何ができたか)	子ども達の教室を中心とした指導者を増やすことができた。					

第2次豊田市教育行政計画進捗報告書

所属コード	AW03	所属名	スポーツ課	担当者	杉坂	作成年月	平成30年2月		
実施内容	4-3(2)1	スポーツ推進委員活動の充実							
種別	拡充	重点テーマ	11 市民のスポーツ活動への支援			年度	平成29年度分		
① 取組計画・取組実績(詳細)	対象年度	取組実績(平成29年度)			取組計画(平成30年度)				
	4月	<ul style="list-style-type: none"> 市研修「スポーツ基礎知識」の開催 指導者養成講座ラグビー研修会開催 総会、委嘱状交付式の開催 							
	5月	<ul style="list-style-type: none"> COT教室開催(若林地区①、益富地区) 							
	6月	<ul style="list-style-type: none"> COT体験会開催(美里地区子ども会、東広瀬小学校、花園幼稚園、道慈こども園) COT教室開催(豊南地区) 							
	7月	<ul style="list-style-type: none"> COT体験会開催(小原地区子ども会) 体力測定会実施(美里地区、小原地区) 							
	8月	<ul style="list-style-type: none"> COT教室開催(豊南地区①、西保見小学校) COT体験会開催(上郷中学校、西広瀬小学校) 							
	9月	<ul style="list-style-type: none"> COT教室開催(豊南地区②、益富地区) COT体験会(西広瀬小学校) 体力測定会実施(井郷地区、猿投台地区) 							
	10月	<ul style="list-style-type: none"> JCフレンドリーカップ(ラグビー大会)運営協力 ラグビー体験会開催(豊南地区子ども会) 							
	11月	<ul style="list-style-type: none"> COT体験会開催(古瀬間小学校) COT教室開催(豊南地区③) 							
	12月	<ul style="list-style-type: none"> COT体験会開催(足助もみじこども園、旭地区、崇化館地区、石野地区、美里地区子ども会) 体力測定会実施(竜神地区、上郷地区) 							
	1月	<ul style="list-style-type: none"> COT体験会開催(浄水小学校、竜神地区) COT教室開催(松平地区、豊南地区④、猿投地区、猿投台地区、崇化館地区) 							
	2月	<ul style="list-style-type: none"> 体力測定会実施(前林地区、藤岡地区) COT教室開催(若林地区②) 							
	3月	<ul style="list-style-type: none"> トヨタ自動車ヴェルブリッツラグビー大会運営協力 							
	効果・成果	COT教室及び体験会、体力測定会やラグビー教室を通して、地域のニーズを踏まえた企画運営ができた。							
根拠・データ	<ul style="list-style-type: none"> 7地区で未就学児童を対象としたCOT教室を10教室開催(参加者:計518組) 1地区で小学生を対象としたCOT教室を2教室開催(参加者:計121名) 3こども園、5小中学校においてCOTの紹介 9地区において、体力測定会を実施。(参加者:計463名) 								
② 課題(詳細)・今後の取組方針	課題	各地区におけるCOTや体力測定を開催するまでの方法の知識共有を図る必要がある。							
	今後の取組方針	各地区において行事開催するにあたってのマニュアルを作成し、継続的に開催できるような体制整備を図る。							
③ 最終評価	最終評価(5年間で何ができたか)	スポーツ推進委員の働きかけにより、コミュニティでの体力測定やCOT教室の開催が増加し、市民に対し運動するきっかけの提供や身体を動かす楽しさを伝える機会を多く提供することができた。							